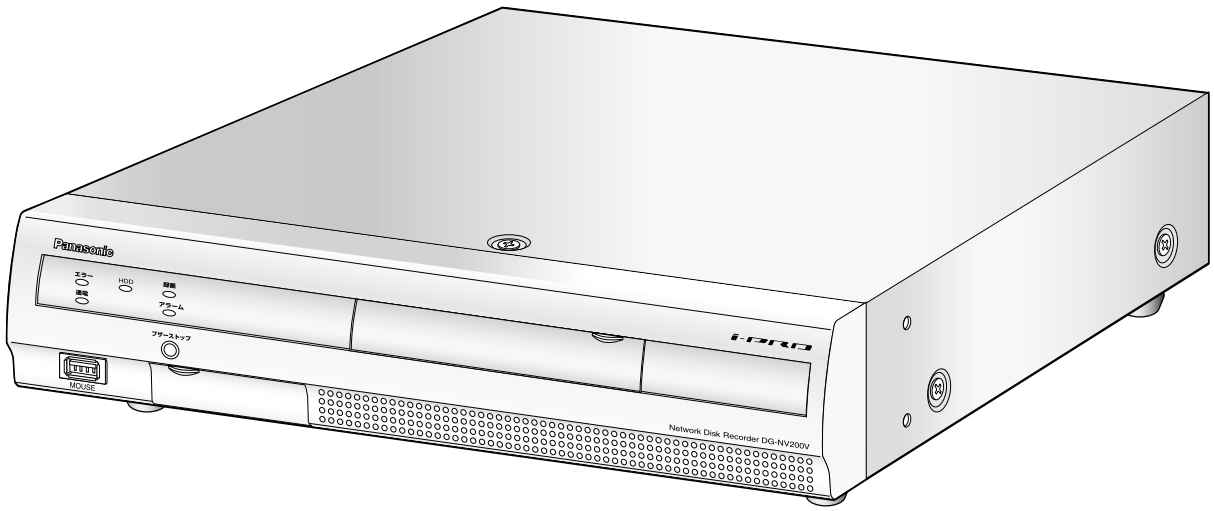
Panasonic

取扱説明書　基本編

工事説明付き

ネットワークディスクレコーダー

品番 DG-NV200/1L
DG-NV200V1M
DG-NV200/2M



（イラストはDG-NV200V1Mです）

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（13 ページ～ 15 ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

はじめに

商品概要

DG-NV200シリーズ（以下、本機）は、最大16台のネットワークカメラ（以下、カメラ）の画像と音声をハードディスク（以下、HDD）に記録することができるネットワークディスクレコーダーです。カメラは、カメラ拡張キット（DG-NVE20：別売り）により、基本の4台から9台、12台、16台と追加することができます。

品番	DVDドライブ	HDD	顔照合機能
DG-NV200/1L	—	500 GB ×1	—
DG-NV200V1M	1（DVD-R、+R）	1 TB ×1	あり
DG-NV200/2M	—	1 TB ×2	あり

本機はHDMI（High-Definition Multimedia Interface）に対応しているモニターを接続することができます。
HDMIケーブル（別売り）を使って接続することにより、録画画像やカメラのライブ画像をより高品質で表示することができます。
また、複数のカメラの画像をモニターに表示する、カメラ画像を切り換えるなど、本機からカメラを操作することもできます。
本書中に記載している別売り品などの情報は、2010年7月現在のものです。最新の情報は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

特長

高精細画像監視

SXVGA画像（1280 x 960）を最大16台まで動画記録することができます。
また、動画圧縮方式：H.264に対応し、高フレームレート記録、長時間記録を実現しています。
Full HD出力（HDMI）に対応し、録画画像やカメラのライブ画像を高精細に表示することができます。

簡単操作・簡単設定

本機にマウス（付属品）を接続し、モニター画面を見ながら簡単に操作できます。
簡単設定を実現した「らくらくスタート」により、パソコン（以降、PC）を使わずにネットワークカメラを自動認識し、ガイダンスに沿って設定することができます。
また、カレンダーやタイムラインを使って録画画像を簡単に検索することができます。

リアルタイム顔照合機能を搭載

事前に登録した人物の顔画像と、ライブ画像内の顔画像をリアルタイム照合し、結果を通知することで、来店者の確認や不審者を発見することができ、犯罪の未然防止を支援します（DG-NV200/1Lは対応しておりません）。

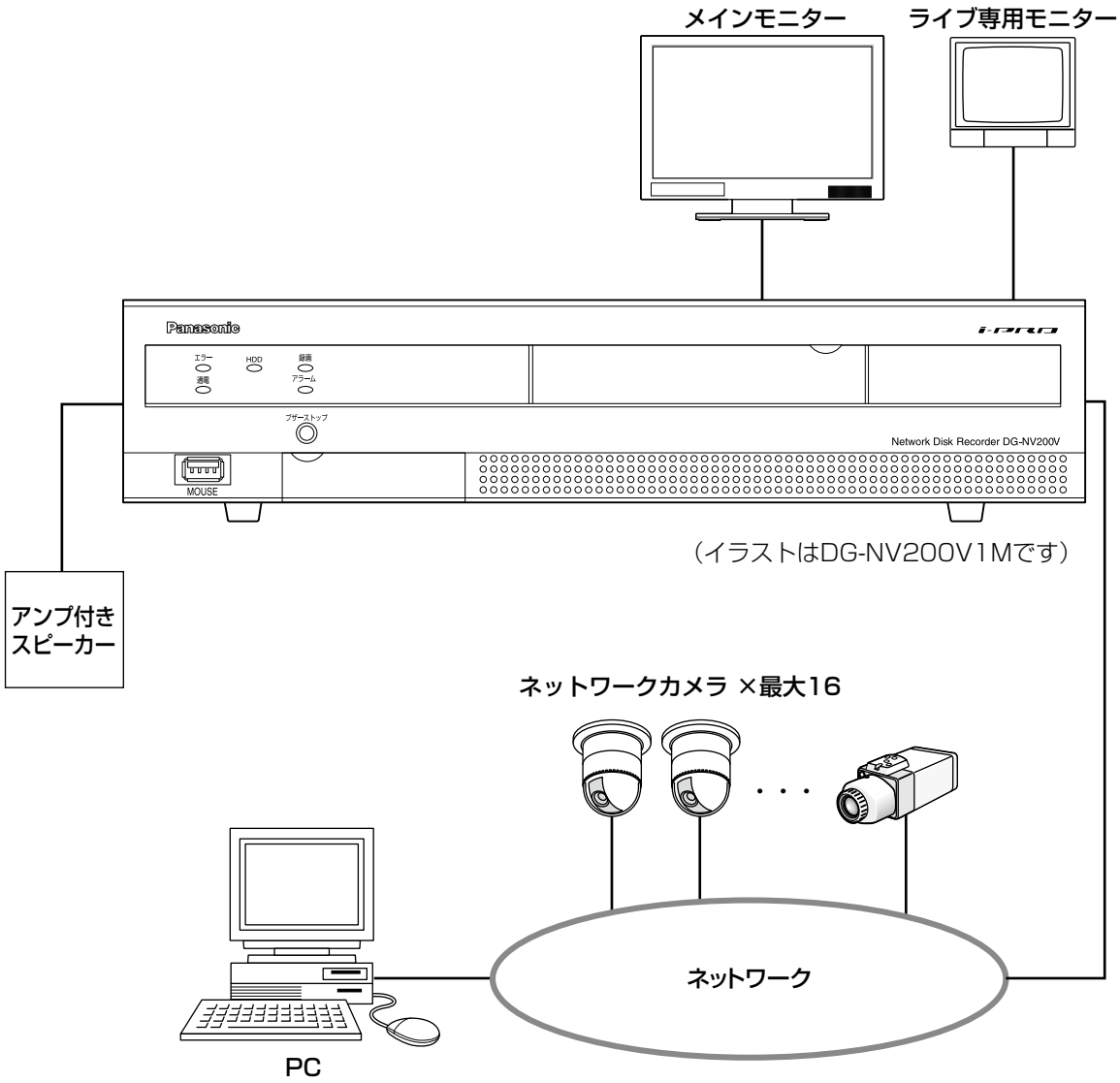
エコロジー対応

弊社製ワイド液晶カラーモニター（WV-LW1900、WV-LW2200：別売り）と接続すると、マウス操作と連動したモニター輝度制御により、モニターの消費電力を通常時の30%～ 60%に削減することができます。

SDHC ／ SDメモリーカードスロットを搭載

録画されたカメラの画像をSDHC ／ SDメモリーカード（別売り）にコピーできます。SDHC ／ SDメモリーカードにコピーされた画像は、専用のビューワーソフト（☞取扱説明書　操作編（PDFファイル））で再生、印刷、保存することができます。
（推奨SDHC ／ SDメモリーカード☞97ページ）

システム構成



付属品をご確認ください

CD-ROM※ 1枚
マウス 1個
取扱説明書　基本編（本書） 1冊
簡単操作ガイド 1冊
保証書 1式
起動情報案内カード 1枚
電源コード 1本

※　CD-ROMには各種取扱説明書（PDFファイル）が納められています。

取扱説明書について

取扱説明書は、取扱説明書　基本編（本書）、取扱説明書　操作編（PDFファイル）、簡単操作ガイドで構成されています。

- ●取扱説明書　基本編（本書）　：必要な機器との接続や設置のしかた、設定方法について説明しています。
- ●取扱説明書　操作編（PDF ファイル）　：本機を使用するにあたっての操作方法について説明しています。本機から直接操作する方法と、ネットワークを経由してPCから操作する方法の2とおりの方法を説明しています。
- ●簡単操作ガイド　：よく使う機能の操作方法について説明しています。

PDF ファイルをお読みになるには、アドビシステムズ社のAdobe® Reader® 日本語版が必要です。PC に Adobe® Reader® 日本語版がインストールされていないときは、アドビシステムズ社のホームページから最新の Adobe® Reader® 日本語版をダウンロードし、インストールしてください。

本書および画面中のNV200とは本機を表しています。また、本書に掲載している画面はカメラ接続台数が16台の場合です。
発生したイベントやエラー情報を受信し表示する専用ソフトウェア（別売り）およびカメラの対応機種、バージョンについては本機付属のCD-ROM 内「readme.txt」をお読みください。

必要なPCの環境

PCで本機を操作するには以下の環境を持つPCを推奨します。

OSとウェブブラウザー	：Microsoft® Windows® 7 Professional 32ビット日本語版※1の場合、Windows® Internet Explorer® 8.0 日本語版※2
	：Microsoft® Windows Vista® Business SP1 32ビット 日本語版の場合、Windows® Internet Explorer® 7.0 日本語版
CPU	：Intel® Core™ 2 Duo 2.66 GHz 以上
メモリー	：1 GB以上
画面	：1024×768 ピクセル以上の解像度、True color 24 ビット以上
ネットワーク機能	：10BASE-T、100BASE-TX、または1000BASE-T　1ポート
サウンド機能	：サウンドカード（音声機能を使用する場合）
その他	：CD-ROM ドライブ（各種取扱説明書（PDFファイル）を閲覧するため）
	：DirectX® 9.0c 以上
	：Adobe® Reader®（各種取扱説明書（PDFファイル）を閲覧するため）

※1　Windows® XP互換モードでは使用できません。
※2　Windows® Internet Explorer® 8.0 64ビット版では使用できません。

重要

- ●必要なPC 環境を満たしていない場合には、画面の表示が遅くなる、ウェブブラウザーが操作できなくなるなどの不具合が発生するおそれがあります。
- ●サウンドカードが搭載されていないPC では、音声を再生することはできません。

メモ

- ●Microsoft® Windows® 7または、Microsoft® Windows Vista®を使用する場合に必要なPCの環境や注意事項など詳しくは、「Windows Vista®、Windows® 7使用時の注意事項」（PDFファイル）をお読みください。

商標および登録商標について

- Adobe、Acrobat ReaderおよびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorer、ActiveX およびDirectX は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- Intel、Intel Core は米国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標または登録商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

略称について

本書では以下の略称を使用しています。
Microsoft® Windows® 7 Professional 32ビット日本語版をWindows 7と表記しています。
Microsoft® Windows Vista® Business SP1 32ビット 日本語版をWindows Vista と表記しています。
Windows® Internet Explorer® 8.0 日本語版、Windows® Internet Explorer® 7.0 日本語版をInternet Explorerと表記しています。
SDHCメモリーカード／ SDメモリーカードをSDメモリーカードまたはSDカードと表記しています。
ネットワークカメラをカメラと表記しています。

GPL ／ LGPLについて

- 本製品にはGNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
- お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLに従い、複製、頒布および改変できます。
- 当該ソフトウェアのソースコードおよびGPL ／ LGPLソフトウェアに含まれるcopyright noticeに関する詳細は、本製品付属CD-ROM内の「readme.txt」をお読みください。
- なお、ソースコードの内容などについてのご質問にはお答えしかねますので、あらかじめご了承ください。

著作権について

GPL ／ LGPLその他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアを除き、本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また、本製品に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

This product incorporates copy protection technology that is protected by U.S. and foreign patents, including patent numbers 5,315,448 and 6,836,549, and other intellectual property rights. The use of Macrovision's copy protection technology in the product must be authorized by Macrovision. Reverse engineering or disassembly is prohibited.

免責について

- この商品は、カメラで監視している画像の録画、再生を目的に作られています。この商品単独で犯罪などを防止するものではありません。
- 弊社は如何なる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
  ①本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
  ②お客様の誤使用や不注意による損害または本商品の破損など
  ③お客様による本商品の分解、修理または改造がされた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
  ④本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、画像が表示・記録などできないことおよび記録した情報が消失したことで被る不便・損害・被害
  ⑤第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
  ⑥お客様による監視画像（記録を含む）が何らかの理由により公となりまたは使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど
  ⑦登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと

ネットワークに関するお願い

本商品はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。
①本商品を経由した情報の漏えいや流出
②悪意を持った第三者による本商品の不正操作
③悪意を持った第三者による本商品の妨害や停止
このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本商品を使用する。
- コンピューターが接続されているシステムで本商品を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。
- 不正な攻撃から守るため、ユーザー名とパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限する。
- 管理者で本商品にアクセスしたあとは、必ずすべてのウェブブラウザーを閉じる。
- 管理者のパスワードは、定期的に変更する。
- 画像データ、認証情報（ユーザー名、パスワード）アラームメール、FTPサーバー情報などをネットワーク上に漏えいさせないため、それらの情報を格納しているサーバーや各種接続機器に対してユーザー認証でアクセスを制限するなどの対策を実施する。

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。※
法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。
※経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

顔照合機能について

DG-NV200V1MおよびDG-NV200/2Mには、事前に登録した顔画像とライブ画像内の顔画像を比較し、似ている人物を検出する顔照合機能が搭載されています。似ている人物が検出されたときに、アラームで通知することができます。

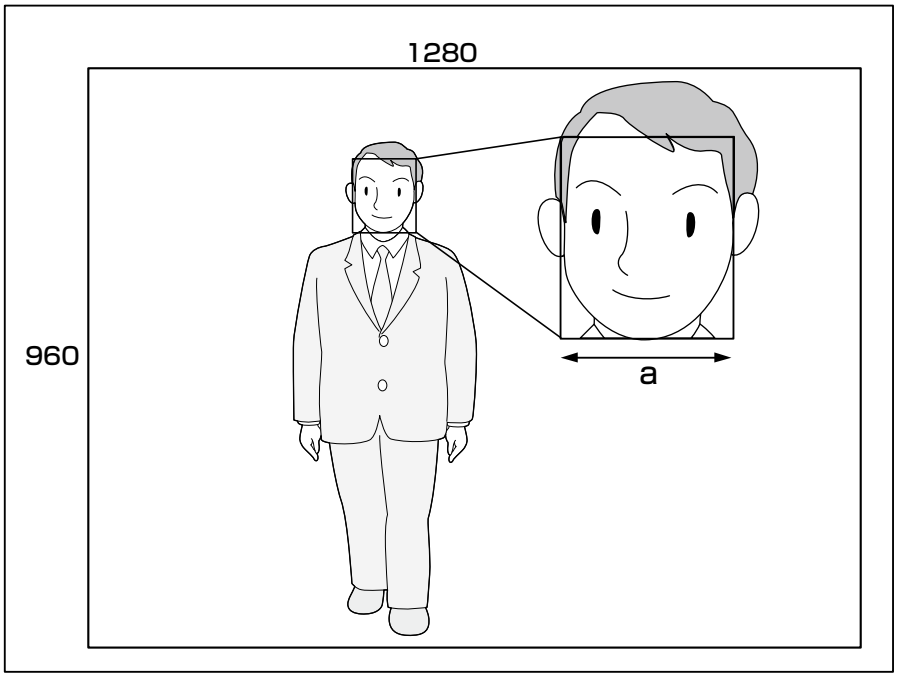
顔照合機能をご使用いただく際には、以下の制約があります。

- カメラ1のみ使用可能です。
- 顔検出機能を搭載したカメラが必要です。
  対応カメラについては、本機付属CD-ROM内の「readme.txt」をお読みください。
  同時に検出できる顔の数はカメラの検出性能によります。
- 顔照合アラームの動作モード（☞58ページ）を「アラーム動作」に設定すると、カメラ1の録画詳細設定（☞54ページ）は、自動的に下記の設定になります。
  圧縮方式　　：H.264
  解像度　　：SXVGA（1280×960）
  フレームレート　：5 ips
  画質　　：SF
  HDD節約モード　：除外
- 録画画像の再生中は、顔照合機能を使用できません。
- 顔照合機能使用中の多画面表示は、最大4画面となります。
- 顔照合の性能は、カメラの検出性能およびレコーダーの照合性能に依存します。画像内に同時に多くの人物が登場する場合などに、照合に時間がかかる、一部の顔を照合できないなどの現象がおこることがあります。
- 顔画像の登録は、本機の再生画像からしかできません。そのため、録画していない時間帯にカメラに写った人物は登録できませんので、24時間録画する設定にすることをお勧めします。

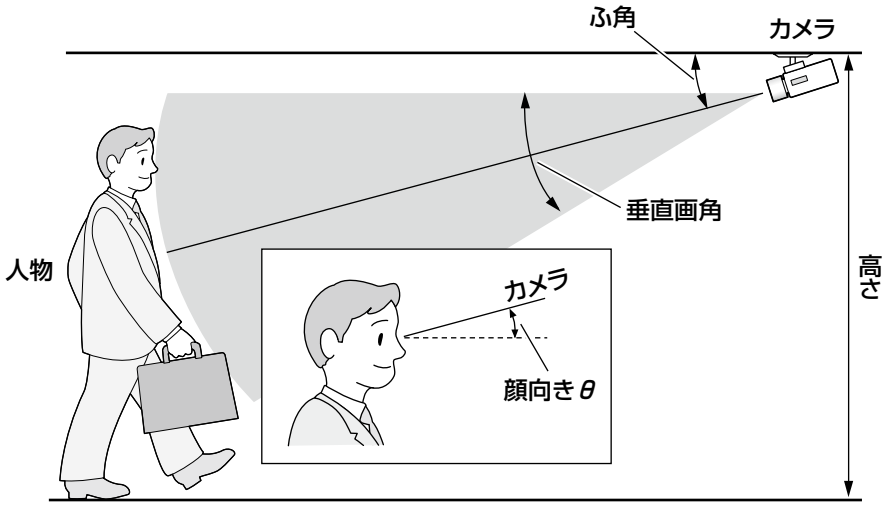
カメラの設置・設定について

顔照合の精度が維持されるよう、カメラの設置や設定について、以下の点に留意してください。

- 顔画像の顔幅（図のa）が125ピクセル以上となるようにカメラを設置してください。
  例）解像度（1280×960）の場合、顔幅は、画面全体の横幅の1/10以上



●カメラに対する顔向き（図のθ）が15°以下になるように、カメラの高さ、ふ角、垂直画角を調整してください。



カメラの設定例（身長170 cmの人物の場合）

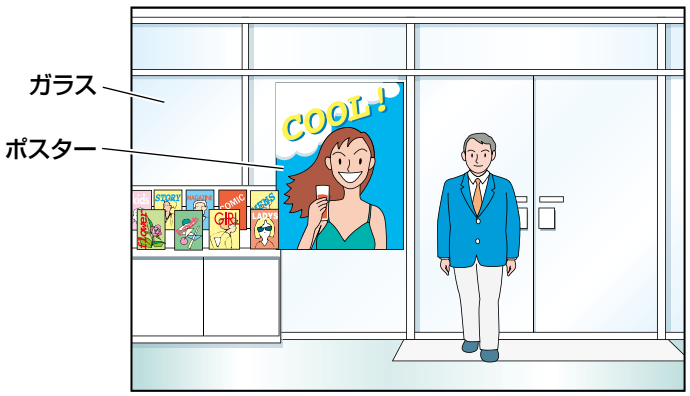
高さ	ふ角	垂直画角（ズーム率）	カメラと人物との距離
2.3 m	10°	12°（6倍）	3.3 m～8.5 m
2.3 m	15°	18°（4倍）	3.0 m～5.5 m

●顔照合機能を使用する設定にすると、カメラの設定は自動的に下記の設定になります。詳細は接続するカメラの取扱説明書をお読みください。

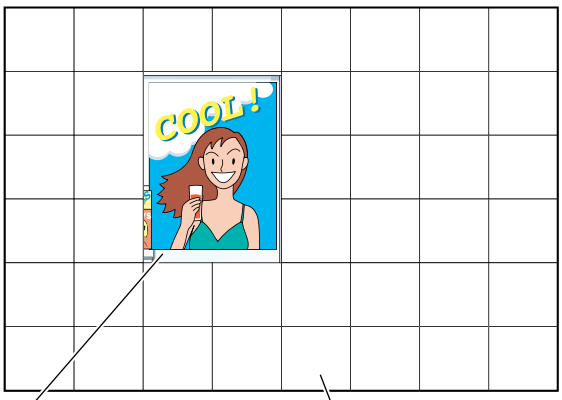
動画配信形式	H.264
解像度	1280×960
フレームレート	5 ips
1クライアントあたりのビットレート	4096 kbps（目安）
リフレッシュ間隔	5 s
スーパーダイナミック	Off
暗部補正	Off
逆光補正（BLC）	Off
シャッタースピード（光量制御モード）	1/100固定
ゲイン	On（High）
白黒切換	Off
デジタル・ノイズ・リダクション	Low
顔検出	On

●カメラの逆光補正のマスクエリア設定で、昼夜で輝度の変化の大きいエリアにマスクをかけることにより、顔がより認識しやすい画像を撮影することができます。
室外からの強い光源の影響を受けやすい場所などでは、下図のように設定することで、影響を少なくすることができます。

〈入り口付近の画像例〉



〈左の画像のマスクエリア設定画面例〉



顔照合に適さない場合

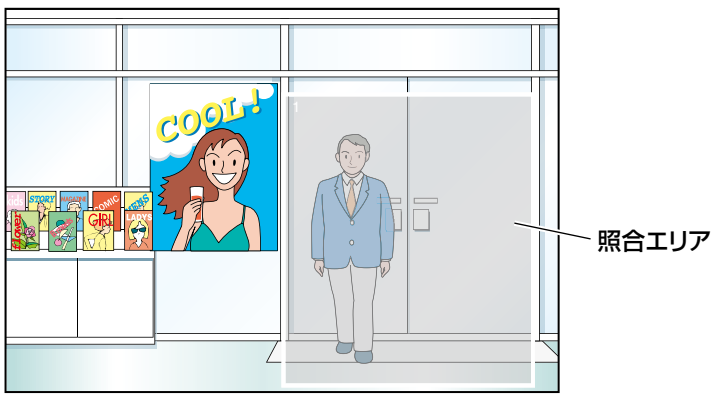
照合の精度は、カメラの設置・設定、調整、周囲環境、被写体により変動します。そのため、以下のような場合は、顔照合されないことがあります。

●屋外など、照明が均一に当たらない場所の場合
●顔が隠れている場合（マスク、サングラス、ヘルメットなど）
●顔が正面を向いていない場合
●被写体の動きが速い場合
●屋外からの外光の影響が大きい場合（車のヘッドライトや西日、朝日など）

照合精度を上げるには

●顔照合の対象顔画像は、同一の設置環境のカメラで録画した画像から登録してください。
●昼夜どちらでも、顔がむらなくかつ明るく写るようにカメラを設定してください。
●予想される被写体の動作経路に合うようなカメラの向きに設置してください。
●ポスターなどに掲載されている顔が対象とならないよう照合エリア設定（☞61ページ）をしてください。

〈照合エリア設定例〉



もくじ

はじめに

商品概要 2
特長 2
システム構成 3
付属品をご確認ください 3
取扱説明書について 4
必要なPCの環境 4
商標および登録商標について 5
略称について 5
GPL ／ LGPLについて 5
著作権について 5
免責について 6
ネットワークに関するお願い 6
個人情報の保護について 6
顔照合機能について 7
安全上のご注意 13
取り扱い上のお願い 16
- 使用上のお願い 16
- 設置上のお願い 18

各部の名前とはたらき 20
- 前面パネル 20
- 後面パネル 22

本機のユーザー管理について 23

設置

運用までの流れ 24
ラックへの取り付け 25
接続する 26
- カメラを接続する 26
- モニターを接続する 27
- PCと接続する 28

端子について 29
- アラーム／コントロール端子の使いかた 29
- アラーム／コントロール端子の時間と極性 31

起動 セットアップ

起動する 32
電源を入れる 32
電源を切る 33
ライセンス（解除キー番号）を登録する 34
基本的な操作のしかた 36

基本設定

設定画面について 38
必要最小限の設定を行う［らくらくスタート］...39
基本設定を行う［基本設定］.....42
基本設定の各ページを表示する 42
日時や言語に関する設定を行う［日時・Language］.....42
カメラに関する設定を行う［カメラ］.....45
録画やイベントに関する設定を行う［録画・イベント］...52

詳細設定

モニターの設定を行う［モニター］.....63
メインモニターの設定を行う［メインモニター］.....63
ライブ専用モニターの設定を行う［ライブ専用モニター］...64
モニターに関するその他の設定を行う［高度な設定］.....65
ネットワーク接続に関する設定を行う［ネットワーク］...66
ネットワークの基本設定を行う［基本］.....66
メール通知に関する設定を行う［メール］.....68
アラームの独自通知設定を行う［独自アラーム］.....69
ネットワーク時刻合わせやSNMPに関する設定を行う［NTP/SNMP］...70
ユーザー管理に関する設定を行う［ユーザー管理］...71
ユーザー管理の基本設定を行う［基本］.....71
ユーザー情報を登録／変更／削除する［ユーザー登録］...73
管理者情報を変更する［管理者設定］.....75
メンテナンスに関する設定を行う［メンテナンス］...76
バージョンなどシステム情報を確認する［システム情報］...76
ディスク情報を確認する［HDD情報］.....76
システムに関する設定や操作を行う［システム管理］.....77
本機やカメラのライセンスを登録する［ライセンス登録］...80
HDDを管理する［HDD管理］.....82
HDD管理ページの表示のしかた 82

詳細設定

HDDの情報を確認する［HDD情報］.....83
HDDを初期化する［HDDのフォーマット］.....83
HDDの取り外しと再生専用HDDの組み込みについて.....84

その他

設定項目一覧（設定メニュー）.....85
エラー履歴・ネットワークログについて 92
エラー履歴について 92
ネットワークログについて 93
故障かな!?.....94
仕様 97
保証とアフターサービス.....98

安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

工事は販売店に依頼する

工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

●必ず販売店に依頼してください。

分解しない、改造しない

火災や感電の原因となります。

●修理や点検は、販売店に依頼してください。

異物を入れない

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

●直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる

煙が出る、においがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるけが、器物損壊の原因となります。

●放置せずに直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。

機器の上や周囲に水などの入った容器を置かない

水などが中に入った場合、火災や感電の原因となります。

●直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。

●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

⚠警告

不安定な場所に置かない

禁止

落下や転倒によるけがや事故の原因となります。

雷のときは工事、配線をしない

禁止

火災や感電の原因となります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因となります。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど）

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

●コードやプラグの修理は販売店に相談してください。

アースを確実に取り付ける

本機の電源プラグはアース端子付き2しんプラグです。アースは確実に行って使用してください。
アースを取り付けないと、故障や漏電による感電の原因となります。

●販売店に相談してください。
（アース工事費は本製品の価格には含まれていません）

電源を入れたまま工事、配線をしない

禁止

火災や感電の原因となります。

電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く

コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない

禁止

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

振動や強い衝撃を与えない

禁止

火災や感電の原因となります。

湿気やほこりの多い場所に設置しない

禁止

火災や感電の原因となります。

⚠注意

通風孔をふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。

リチウム電池は同一型名または同等品と交換する

異なる型の電池を使用すると、発熱、破裂、発火の原因となります。

- 交換は必ず販売店に依頼してください。

ひび割れや変形補修したディスクは使用しない

内部で飛び散って故障やけがの原因となります。

DVD ドライブの内部をのぞきこまない

内部のレーザー光源を直視すると、視力障害を起こすおそれがあります。

- 点検、調整、修理は、販売店に依頼してください。

DVD ドライブのトレイに手を入れない

挟まれて、けがの原因となることがあります。

取り扱い上のお願い

⚠警告 ⚠注意 に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

使用上のお願い

使用電源

AC100 V 50 Hz/60 Hzです。消費電力の大きな機器（コピー機、空調機器など）と同じコンセントから電源をとらないでください。また、水滴や水しぶきのかからない場所で使用してください。
※付属の電源コードは本機専用です。

使用温度範囲

本機の使用温度範囲は+5 ℃～+45 ℃です。この温度範囲以外で使用すると内部の部品に悪影響を与えたり、誤作動の原因となります。
※HDDは温度が高くなると特性劣化し寿命に影響を与えます。+25 ℃程度でのご使用をお勧めします。

電源について

本機には電源スイッチがありません。本機を電源から遮断するときは電源コードを抜いてください。設置条件により容易に電源コードを外せないときは、本機の電源コードを遮断能力のある分電盤のサーキットブレーカーを経由したACコンセントまたは電源制御ユニットなどのコンセントに接続してください。

内蔵バックアップ電池

- 初めて使用するときは、48時間以上の連続通電をして、内蔵のバックアップ電池（リチウム電池）を充電してください。電池の充電が不十分な場合、停電のときに内部時計の時刻がずれたり、停電前の動作状態に正しく戻れない場合があります。
- 内蔵バックアップ電池の寿命は約5年です（使用条件によって短くなります）。5年を目安に交換してください（ただし、この期間はあくまでも交換の目安であり、部品の寿命を保証するものではありません）。寿命を過ぎると、電源を切った際に時刻設定の内容などが保存されません。
- 内蔵バックアップ電池を交換する際は、お買い上げの販売店に相談してください。

HDDについて

- HDDは精密機器です。衝撃を加えないよう丁寧な取り扱いをしてください。振動・衝撃はHDD故障の原因になります。
- HDDに記録された情報内容は、万一、消失しても故障や障害の原因にかかわらず、弊社は補償いたしかねます。
- 電源を入れたときや電源を切った直後（約30秒間）は、HDDが動作中です。移動や設置作業は絶対にしないでください。
- HDDの寿命は使用環境により異なりますが、消耗劣化する部品です。通電時間が20000時間を超えると、書き込みエラーなどが発生しやすくなり、30000時間を超えると、ヘッドやモーターの劣化などにより寿命となります。（+25 ℃で使用時）
- 大切なデータが壊れないように、機器の周辺温度を+25 ℃程度に保ち、18000時間を目安に交換することをお勧めします（ただし、この時間は目安であり、寿命を保証するものではありません）。
- HDDに異常が発生した場合は、すみやかにお買い上げの販売店にご連絡ください。また、HDDの購入、交換は販売店にご相談ください。

SDHC ／ SDメモリーカードについて

- 未フォーマットのSDHC ／ SDメモリーカードを使用する場合は、本機でSDHC ／ SDメモリーカードをフォーマットしてから使用してください。フォーマットすると、記録されていた内容は消去されます。未フォーマットのSDHC ／ SDメモリーカードや本機以外でフォーマットしたSDHC ／ SDメモリーカードを使用すると、正常に動作しないことや、性能低下することがあります。フォーマットのしかたは、取扱説明書　操作編（PDFファイル）をお読みください。
- 一部のSDHC ／ SDメモリーカードは本機で使用すると、正常に動作しないことや、性能が低下することがあります。推奨SDHC ／ SDメモリーカード（☞97ページ）の使用をお勧めします。
- SDHC ／ SDメモリーカードの挿入、取り出しの方法は21ページをお読みください。

結露について

結露が発生すると故障の原因となりますのでご注意ください。
以下のような場合は、目安として電源を入れるまで2時間程度放置してください。
- 湿度の高いところ
- 暖房した直後の部屋
- 冷房されているところと、温度や湿度の高いところを移動したとき

使用するモニターについて

モニター上に長時間同じ画像を表示させると、モニターに損傷を与えることがあります。

長時間使用しない場合

機能に支障をきたす場合がありますので、1週間に1回程度、電源を入れて録画・再生し、画像を確認してください。

お手入れについて

- 電源を切り、乾いた柔らかい布でふいてください。ほこりが取れにくいときは、水で薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみこませ、固く絞ってから軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で、洗剤成分を完全にふき取ってください。
- シンナーやベンジンなど、揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

機器を譲渡・廃棄される場合

本機とともに使用する記憶媒体に記録された情報は、「個人情報」に該当する場合があります。本機が廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡る場合は、その取り扱いに十分注意し、お客様の責任において廃棄、譲渡、修理を行ってください。

表示について

本機の識別および電源、その他の表示は機器上面をご覧ください。

MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseについて

本製品はMPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに関し、以下の行為にかかる個人使用を除いてはライセンスされておりません。

(i)画像情報をMPEG-4ビジュアル規格に準拠して（「MPEG-4ビデオ」）エンコードすること。

(ii)個人使用として記録されたMPEG-4ビデオおよび／またはMPEG LAからライセンスを受けているプロバイダーから入手したMPEG-4ビデオを再生すること。詳細については http://www.mpegla.com をご参照ください。

AVC Patent Portfolio Licenseについて

本製品はAVC Patent Portfolio Licenseに基づき、以下の行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。

(i)画像情報をH.264ビデオ規格に準拠して（「H.264ビデオ」）エンコードすること。

(ii)個人使用として記録されたH.264ビデオおよび／またはライセンスを受けているプロバイダーから入手したH.264ビデオを再生すること。詳細については、http://www.mpegla.comをご参照ください。

本機の再起動について

下記の場合、本機は録画を継続するために、自動的に再起動を行います。

- 本機のソフトウェアが装置内部の異常を検出し、再起動が必要と判断した場合

DVDについて（DG-NV200V1Mのみ）

- 市販のDVDやレンタルDVDは使用できません。また、本機で記録したデータは市販のDVDプレーヤーでは再生できません。
- トレイを出したまま放置しないでください。
- トレイに指定のディスク以外のものを装着しないでください。
- 無理にトレイを開けないでください。
- 磁石など磁気を持つものを近づけないでください。磁気の影響で、動作が不安定になることがあります。
- ラジオやテレビの近くで使用しないでください。受信障害を引き起こすことがあります。

DVDのお手入れと取り扱いについて（DG-NV200V1Mのみ）

- 長時間使用すると、ディスクにほこりなどが付着して、正常に読み書きできなくなるおそれがあります。使用環境や使用回数によって異なりますが、専用のクリーニングキット（別売り）を用いて、お手入れすることをお勧めします。
  ブルーレイ／DVDディスククリーナー：RP-CL750
  レンズはレンズ用ブロアーなどでほこりを除去してください。
- ディスクの記録面が指紋やほこりで汚れたときは、乾いた柔らかい布で軽くふいてください（ディスクは内周から外周方向にふいてください）。汚れがひどい場合は、柔らかい布に水をしみこませ、固く絞ってから軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で水気をふき取ってください。
- アルコールやシンナーなどはディスクの表面を侵すことがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- トレイ部の汚れがひどいときは、ディスクのクリーニングとあわせてトレイ部のクリーニングも行ってください。トレイ部の汚れは、電源を切り、乾いた柔らかい布でふいてください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ディスクの記録面（印刷されていない面）に触れないように持って、出し入れしてください。
- 紙やシール、ラベルを貼ったり、文字を鉛筆やボールペンなどで書いたりしないでください。
- 正しい取り扱いをしないとデータの書き込みが正常に行われない、すでに記録されているデータが損なわれる、ドライブが破損する、などの障害が発生する場合があります。

設置上のお願い

設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。
本機は屋内専用です。

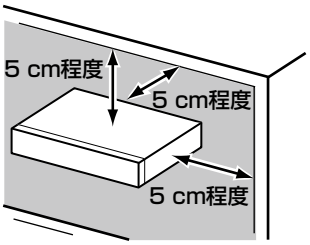
以下の場所には設置しないでください

- ●直射日光の当たる場所
- ●振動の多い場所や衝撃が加わる場所
- ●スピーカーやテレビ、磁石など、強い磁力を発生するものの近く
- ●結露しやすい場所、温度差の激しい場所、水気（湿気）の多い場所
- ●ちゅう房など蒸気や油分の多い場所
- ●傾斜のある場所
- ●ほこりがたまりやすい場所
- ●水滴や水しぶきがかかる場所

本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しないでください

横置き（水平）に設置してください

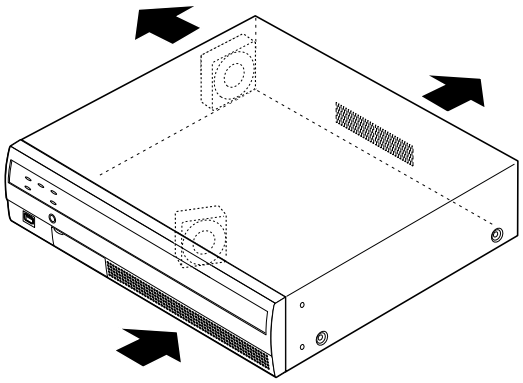
縦置きや傾けて設置しないでください。段積みする際は、上下の間隔を5 cm程度あけてください。



放熱について

内部に熱がこもると、故障の原因となりますので、次のことに注意してください。

- ●放熱ファンの吹き出し口近くや通風口を壁やラック、布などでふさがないでください。ほこりなどで通風口がふさがれないように、定期的にお手入れしてください。
- ●放熱ファンは消耗品です。約30000時間を目安に交換してください。交換は販売店に依頼してください。
- ●機器の側面、上面、後面は壁面から5 cm程度あけてください。また、前面にある通風口から空気を吸い込み、内部のHDDを冷却していますので、この通風口をふさがないでください。



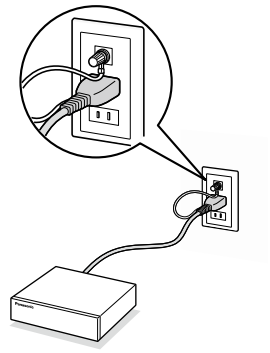
※放熱ファンの数は機種によって異なります。

雑音源は避けてください

電灯線など雑音源にケーブルを近づけると、画像が乱れる場合があります。そのときは雑音源からできるだけ離すように配線する、または本機の位置を変えてください。

アース（接地）について

ご使用前に、アースが正しく確実に取り付けられているか確認してください。アース端子付きコンセントを使用される場合は、接地抵抗値（100 Ω以下）をご確認ください。



電源について

アースは、必ず電源プラグを主電源につなぐ前に接続してください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを主電源から切り離してください。

電源コードの取り付けかた

電源コードは、必ず遮断装置を経由した次のいずれかの方法で接続してください。

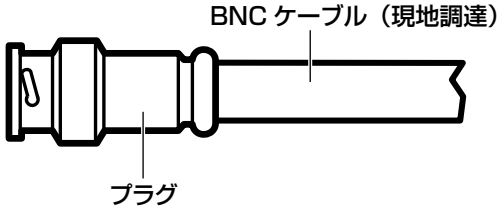
- 電源制御ユニットを経由して接続する
- 電源コンセントの近くに設置し、電源プラグを経由して接続する
- 3.0 mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは、保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること

BNCケーブル接続時

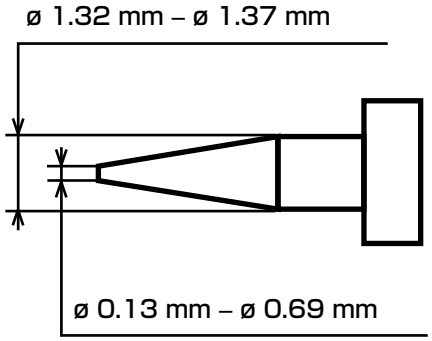
機器の設置時、本機後面のBNC端子にBNCケーブル（現地調達）を使って接続する場合、指定の規格合格品を使用してください。

適合プラグ　JIS：C5412

※規格番号末尾は改定されている場合があります。



推奨適合プラグのピン形状

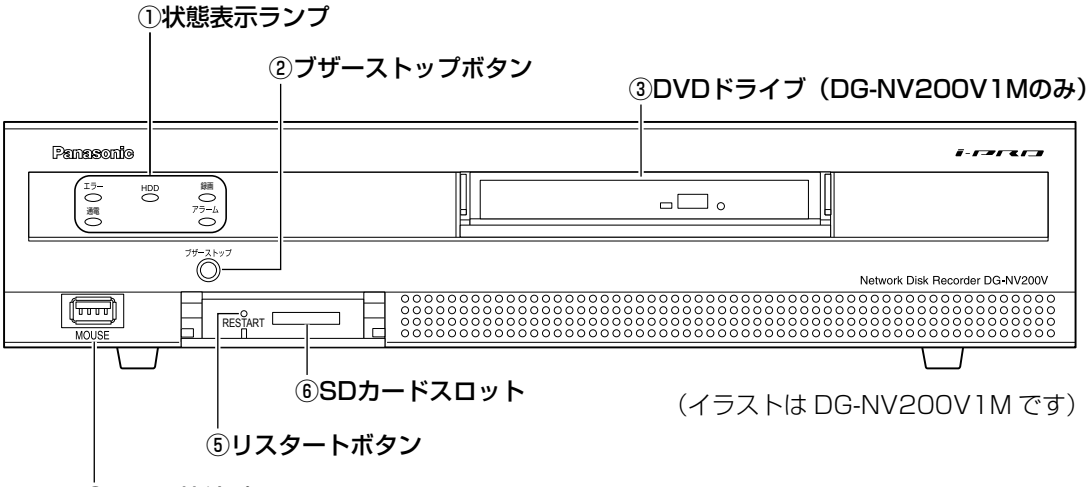


重要

- 指定外のプラグを使用した場合、接触不良などの不具合が発生する可能性がありますので、適合プラグを使用してください。本体側のコネクターを破損するおそれがあります。

各部の名前とはたらき

前面パネル



（イラストは DG-NV200V1M です）

※マウス接続ポートはコネクターを差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクターの向きを確認してください。

①状態表示ランプ

エラー：本機に異常が発生したときなど、本機の運用に支障があるときに点滅します。
　点滅（赤色）：システム異常
　点滅（橙色）：温度異常、放熱ファン停止など
通電　：電源が入っているときに点灯します。
HDD［HDD］または［HDD1］／［HDD2］
　：HDDのアクセス状態と故障状態を表示します。
　点滅（緑色）：HDDにアクセス中
　点灯（赤色）：HDDに故障（エラー）が発生
　消灯　　：HDDにアクセスなし
録画　：録画中点灯（橙色）します。
アラーム
　：アラームが発生すると点滅し、自動復帰すると点灯します。［アラーム復帰］ボタン（☞取扱説明書　操作編（PDFファイル））をクリックすると、消灯します。

②ブザーストップボタン

アラーム発生時やエラー発生時に鳴動したブザーを停止するときに使用します。アラーム、エラーについては、取扱説明書　操作編（PDF ファイル）をお読みください。

③DVDドライブ

DVDに録画画像を保存できます（☞21ページ）。

④マウス接続ポート［MOUSE］

付属のマウスを接続します。

⑤リスタートボタン［RESTART］

本機を再起動します。クリップなど先の細いものを差し込んで押してください。

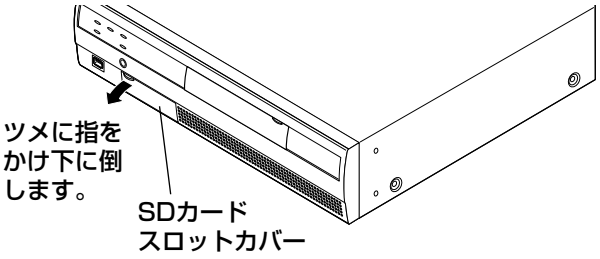
⑥SDカードスロット

SDカード（別売り）に録画画像を保存できます（☞21ページ）。

SDカード（別売り）を挿入する

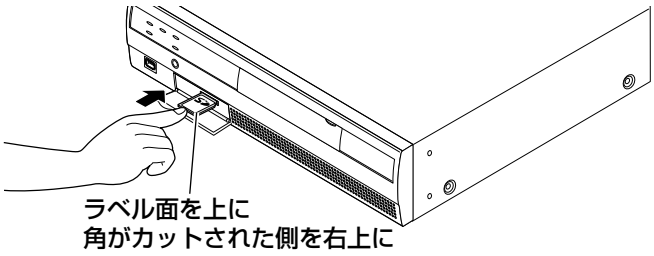
STEP1

SDカードスロットカバーを開けます。



STEP2

SDカードを奥までまっすぐ押し込みます。「カチッ」と音がすることを確認します。



STEP3

SDカードスロットカバーを閉じます。

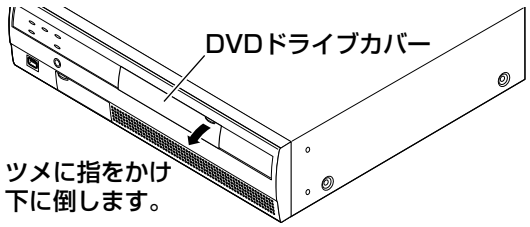
メモ

- SDカードを取り出す場合、カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し込み、まっすぐ引き出します。

DVD（別売り）を入れる（DG-NV200V1Mのみ）

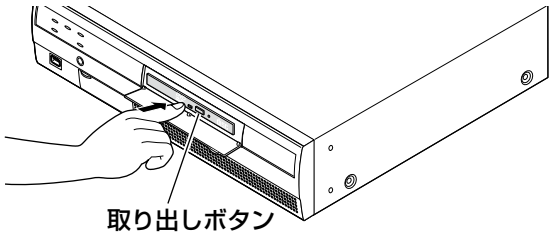
STEP1

DVDドライブカバーを開けます。



STEP2

本機の電源が入っている状態で、DVDドライブ中央の取り出しボタンを押し、ゆっくりとトレイを引き出します。

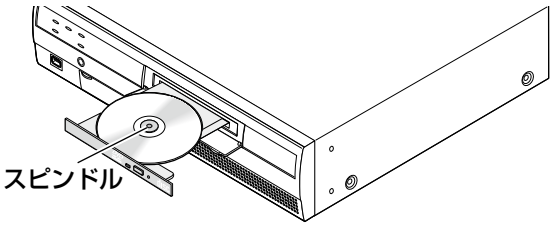


メモ

- DVDへ録画データをコピー後は、取り出し操作をしてください。（☞取扱説明書　操作編（PDFファイル））
  取り出し操作をしないと、取り出しボタンを押してもトレイが開きません。

STEP3

ディスクのタイトル面を上にして、ディスク中央の穴をトレイ中心のスピンドルに合わせ、軽く押し込みます。「カチッ」と音がして、ディスクがトレイにはまることを確認します。



STEP4

トレイを奥まで押し込みます。「カチッ」と音がして、トレイが固定されることを確認します。

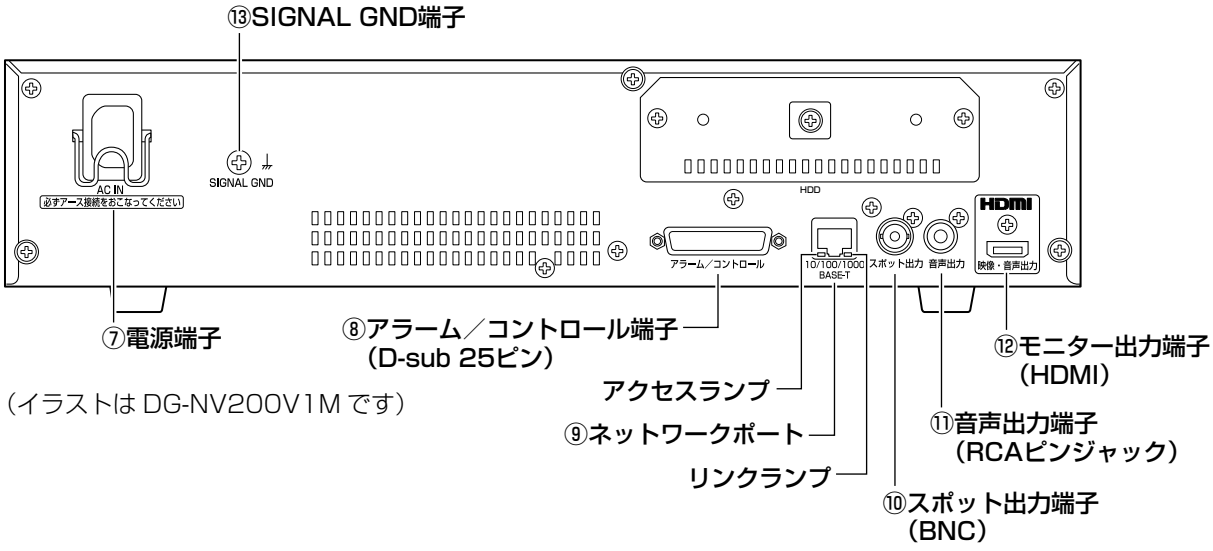
STEP5

DVDドライブカバーを閉めます。

重要

- ディスクトレイを開閉する場合は、トレイの上から力をかけないでください。
- DVDドライブを使用しないときは、ディスクトレイは閉じておいてください。
- ディスクをトレイから取り出す場合は、スピンドルを押さえてディスクを外してください。無理にディスクをトレイから外そうとするとディスクやDVDドライブが壊れるおそれがあります。

後面パネル



（イラストは DG-NV200V1M です）

⑦電源端子［AC IN］
付属の電源コードを接続します。電源プラグはアース端子付き2しんプラグです。

⑧アラーム/コントロール端子（D-sub25ピン）［アラーム／コントロール］
センサーや防犯ドアスイッチなどアラーム信号を出力する装置、ブザーやランプなどの警報装置や外部機器で本機を操作する場合、本機を操作するための制御スイッチなどを接続します。

⑨ネットワークポート［10/100/1000 BASE-T］
10BASE-T、100BASE-TXまたは、1000BASE-Tネットワークに接続し、本機とネットワークカメラやPCなどを接続します。アクセス中はアクセスランプ(緑色）が点滅します。リンク中はリンクランプ（橙色）が点灯します。

⑩スポット出力端子（BNC）［スポット出力］
モニター（ライブ専用モニター）を接続します。カメラ画像を1画面で出力します。

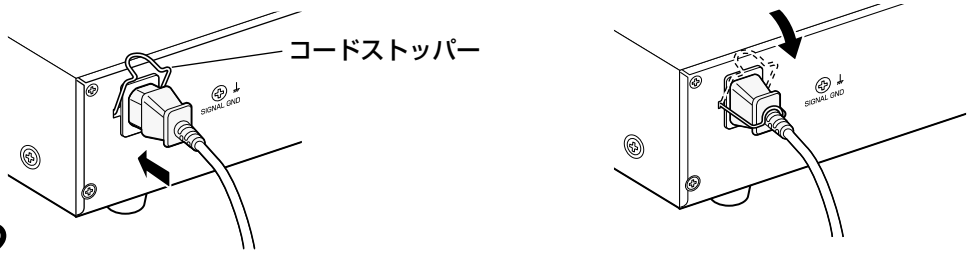
⑪音声出力端子（RCAピンジャック）［音声出力］
アンプ付きスピーカーなどを接続します。ライブ音声や再生音声を出力します。

⑫モニター出力端子(HDMI)［映像・音声出力］
HDMI対応モニター（メインモニター）を接続します。

⑬SIGNAL GND端子［SIGNAL GND］
本機のSIGNAL GND端子とシステムの他の機器のSIGNAL GND端子を接続して、アースを取ってください。アースを取らないと発振する、ノイズが出るなどの不具合の原因となる場合があります。

コードストッパーの使いかた

コードストッパーを引っ掛けて、電源コードを固定します。



本機のユーザー管理について

本機を直接操作するユーザーや、LAN などのネットワークを経由して本機にアクセスするPC（ホスト）は、あらかじめ本機にユーザー登録しておく必要があります。ユーザーは16ユーザーまで登録できます。
ユーザー情報として以下の情報が登録できます。

項目	内容
ユーザー名	本機にログインするユーザー名です。ログイン画面で入力します。
パスワード	本機を使用するユーザーのパスワードです。ログイン画面で入力します。
レベル	操作できる機能範囲により、ユーザーは以下のレベルに分けられます。 管理者／マネージャー／オペレーター／ビューワー／ログアウト時 管理者はすべての設定や操作を行えます。その他のレベルで操作できる機能は、あらかじめ選択することができます。（☞72ページ）
レベルの優先度	操作の優先度です。ユーザーの優先度は各レベルにそれぞれ0（高優先）～４（低優先）が固定で割り当てられています。 管理者　0　最高 マネージャー　1　高 オペレーター　2 ビューワー　3 ログアウト時　4　低 同じレベルのユーザーが同じ操作をした場合は、後からの操作に従い動作します。
スタートモニター	ログイン直後に表示するメインモニター／ PC画面のライブ画像の表示画面を設定します。

ネットワークを経由してPCから操作する場合

ネットワークを経由してPCから本機を操作します。最大2ホスト（PC）から同時にアクセスすることができます。2ホスト（PC）がすでにログインしているときに、新たに別のホスト（PC）がログインしようとすると、優先度の低いユーザーがログアウトします。また、同一優先度の場合は、先にログインしていたユーザーがログアウトします。

また、ネットワークを経由してPCから本機へアクセスする場合、設定メニュー［ユーザー管理］－［基本］タブの「ユーザー認証」の設定（☞72ページ）によって、認証方法が異なります。

ユーザー認証の設定	ログインするユーザー／ホスト	備考
Off	管理者ユーザーで本機にログインします	
On	ユーザー登録されているユーザーでログインできます	ログイン画面が表示されます

運用までの流れ

1 ライセンス（解除キー番号）を取得する
☞起動情報案内カード

1 本機に付属の起動情報案内カードに記載されている方法に従って、本機の解除キー番号を取得してください。接続カメラ台数を増やす場合は、カメラ拡張キット（DG-NVE20：別売り）の起動情報案内カードにより、カメラ拡張の解除キー番号を取得してください。

↓

2 ラックへの取り付け
☞ 25 ページ

2 本機をラックへ取り付けます。
ラックに取り付けない場合は、**3**へ進みます。

↓

3 接続する
☞ 26 ページ

3 本機を各機器に接続します。

↓

4 起動する
☞ 32 ページ

4 本機の電源を入れます。

↓

5 ライセンス（解除キー番号）を登録する
☞ 34 ページ

5 本機の解除キー番号を登録します。必要に応じて、カメラ拡張の解除キー番号を登録します。

重要

- 必ず本機の解除キー番号の登録をしてください。すべての機能をご使用になるには、解除キー番号の登録が必要です。

↓

6 簡単設定を行う
☞ 39 ページ

6「らくらくスタート」で日付と時刻、カメラの登録を行います。他の設定を初期設定から変える必要がなければ、運用を開始できます。

↓

7 設定
☞ 42 ～ 84 ページ

7 必要に応じて各機能の詳細設定をします。

↓

運用開始

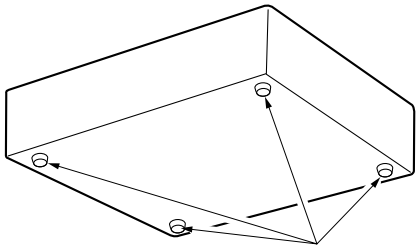
ラックへの取り付け

本機を取り付けるラックは、次のいずれかをご使用ください。
- ●スタンダードラック　　：WU-RS80（弊社製、収納ユニット数27 U）
- ●ロングラック　　：WU-RL85（弊社製、収納ユニット数39 U）
- ●EIA規格相当品（他社製）：EIA19型、奥行き450 mm以上のもの

メモ
- ●ラックに取り付ける場合は別売りのラックマウント金具、ラックマウント金具取付ねじが必要です（下図参照）。
- ●他社製ラックに取り付ける場合は、ラック取付ねじ（YBSNG003：別売り）またはM5×12ねじ（4本）が必要です。

STEP1

底面のゴム足（4個）を外します。
ドライバーで、ゴム足を固定しているねじを外します。

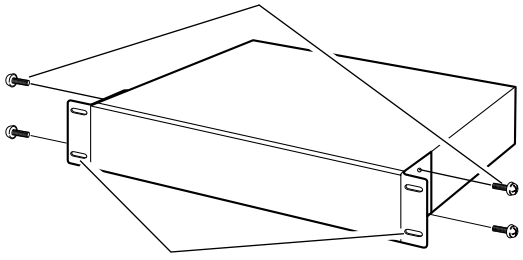


ゴム足を外す

STEP2

本機の両側面に、ラックマウント金具
（V5PC0065A4：別売り）を取り付けます。
ラックマウント金具取付ねじ（4本）で確実に固定します。

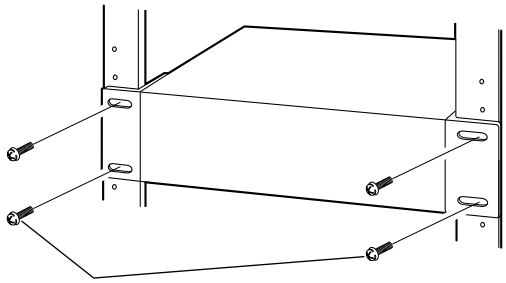
ラックマウント金具取付ねじ（M4×10 現地調達）



ラックマウント金具（別売り）

STEP3

本機をラックに取り付けます。
ラック取付ねじ（4本）で確実に固定します。



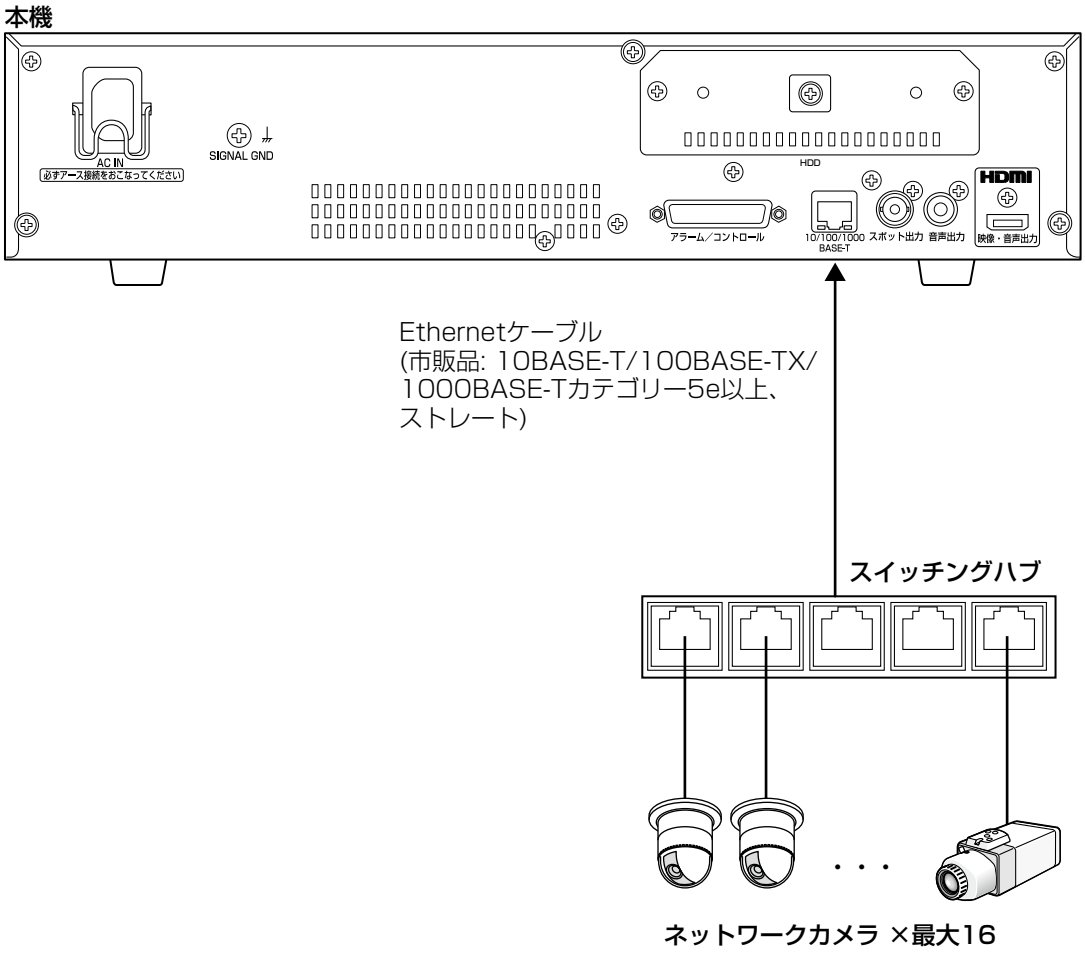
ラック取付ねじ
弊社製ラックの場合：呼び径5タッピング（ラックに付属）
他社製ラックの場合：YBSNG003（別売り）、
またはM5×12（現地調達）

重要
- ●本機の使用温度範囲は＋5 ℃～＋45 ℃です。
  ※HDDは温度が高くなると特性劣化し寿命に影響を与えます。＋25 ℃程度でのご使用をお勧めします。
- ●使用温度範囲内でご使用いただくために、ラック設置時は以下の対策を行ってください。
  - • ファンなどを取り付けてラック内温度を下げる
  - • 本機の上下に1U（44 mm）以上の間隔をあける
  - • ラック前面に扉をつけない、四方をふさがない

接続する

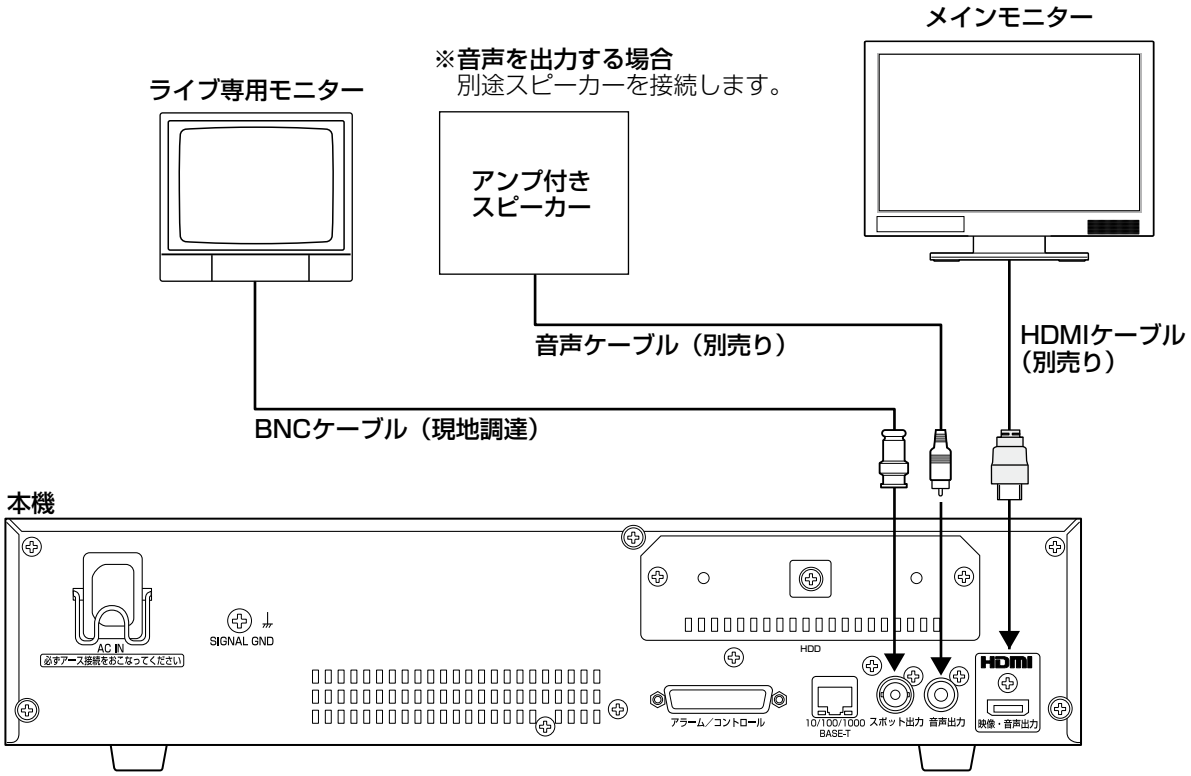
カメラを接続する

最大16台のカメラをスイッチングハブ経由で接続します。
本機とスイッチングハブはEthernetケーブル（ストレート）で接続します。



モニターを接続する

ライブ画像のほか、再生画像や設定メニューを表示するメインモニターは、HDMIケーブル（別売り）でHDMI（映像・音声出力）端子に接続します。
ライブ画像のみ表示するライブ専用モニターは、BNCケーブル（現地調達）でスポット出力端子に接続します。

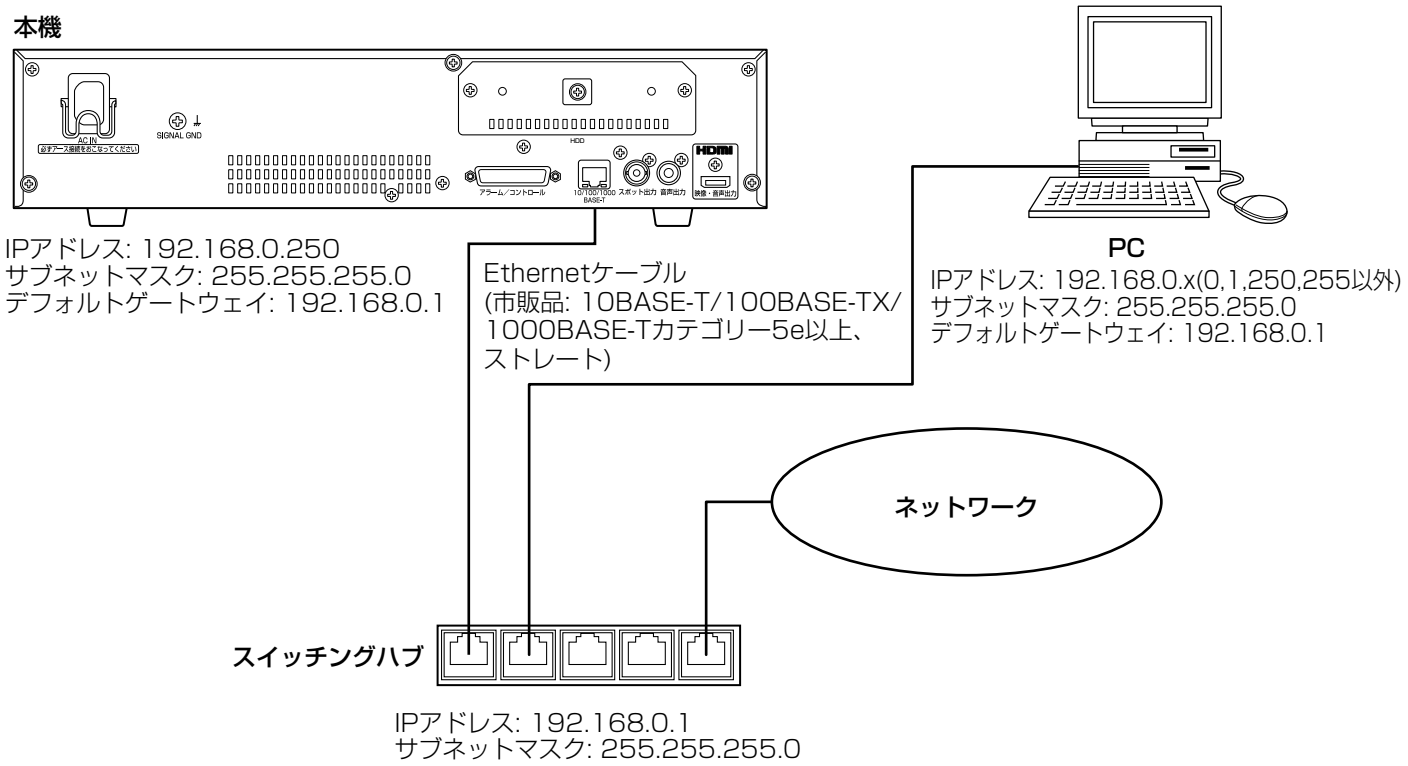


メモ

- HDMIケーブルは「ハイスピードHDMI®ケーブル」を使用してください。
- 画質の劣化防止や安定した動作のため、HDMIケーブルは10 m以下のものを使用してください。
- HDMIケーブルを使用した場合、接続したモニターから音声を出力することができます。

PCと接続する

本機とPCをスイッチングハブ経由で接続します。



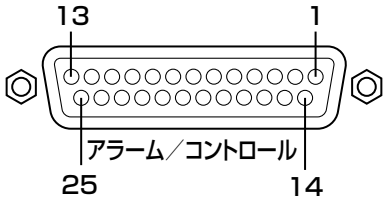
端子について

アラーム／コントロール端子の使いかた

センサーなどのアラーム信号を出力する装置の接続や、ブザー、ランプなどの警報装置を外部に設置するときに使用します。使用するコネクターは、ピン配列に合わせて製作してください。

ピン配列

ピン配列は他の弊社製レコーダーと異なります。必ず下記に従って接続してください。

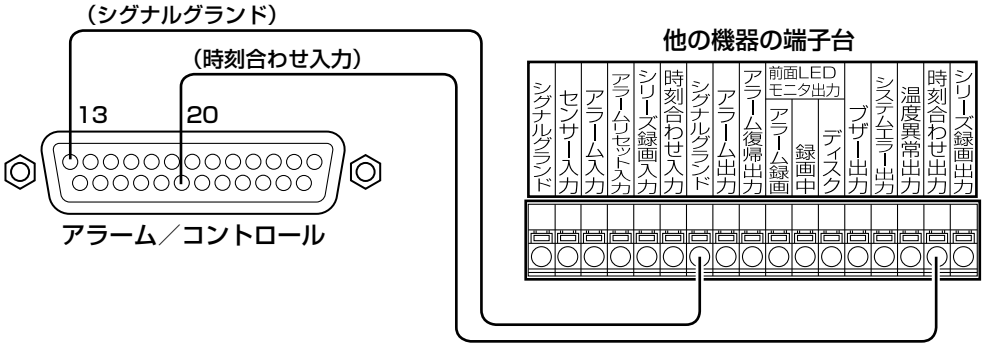


ピン番号	名称	動作内容	備考
1	アラーム入力1	設定に従ったイベント動作を行う	無電圧メーク接点入力／ 5 Vプルアップ／−100 mA
2	アラーム入力2		
3	アラーム入力3		
4	アラーム入力4		
5	アラーム入力5		
6	アラーム入力6		
7	アラーム入力7		
8	アラーム入力8		
9	アラーム入力9		
10	ネットワーク 異常出力	Ethernetのリンクはずれのときに出力する	オープンコレクタ出力 最大DC24 V、−100 mA
11	アラーム復帰入力	本機のアラーム表示を解除する	無電圧メーク接点入力／ 5 Vプルアップ／−100 mA
12	使用しない		
13	シグナルグランド		
14	シグナルグランド		
15	顔照合出力	顔照合アラーム発生時に出力する	オープンコレクタ出力 DC24 V、−100 mA
16	HDD異常出力	HDDの異常を検出したときに信号を出力する	
17	カメラ異常出力	カメラの異常を検出したときに信号を出力する	
18	機器異常出力	本機の異常を検出したときに信号を出力する	
19	録画異常出力	本機の録画異常を検出したときに信号を出力する	
20	時刻合わせ入力	信号を入力すると、本機の時刻を正時（00分00秒）に合わせる	無電圧メーク接点入力／ 5 Vプルアップ／−100 mA
21	アラーム出力	イベント発生時にアラーム信号を出力する（顔照合アラームを除く）	オープンコレクタ出力 最大DC24 V、−100 mA
22	使用しない		
23	使用しない		
24	使用しない		
25	+5 V出力	+5 V出力	最大200 mA

自動時刻合わせ機能の接続

時刻合わせ入力端子（ピン番号20）に他の機器からの信号が入力されると、時間差が29分以下の場合は、時刻合わせをすることができます。
正時（毎時00分）の29分前から正時の29分後までの間に信号が入力された場合は、本機の時刻を正時（00分00秒）に合わせます。
例：

- 午後2時50分00秒に信号が入力　→　午後3時00分00秒に設定
- 午後3時28分45秒に信号が入力　→　午後3時00分00秒に設定
- 午後3時29分30秒に信号が入力　→　時刻合わせは実行されません。

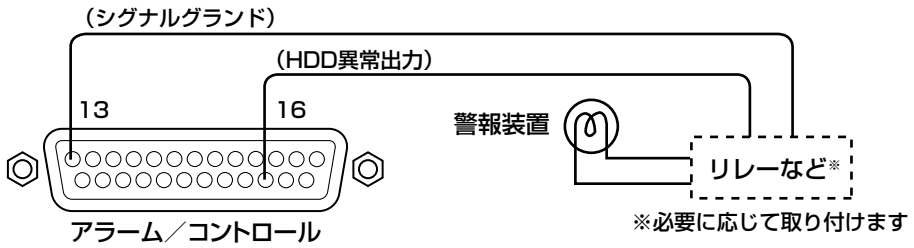


メモ

- 時刻合わせ入力端子による時刻合わせを行う場合は、「自動時刻合わせ」の設定を「On」にします。（☞44ページ）

制御出力の接続

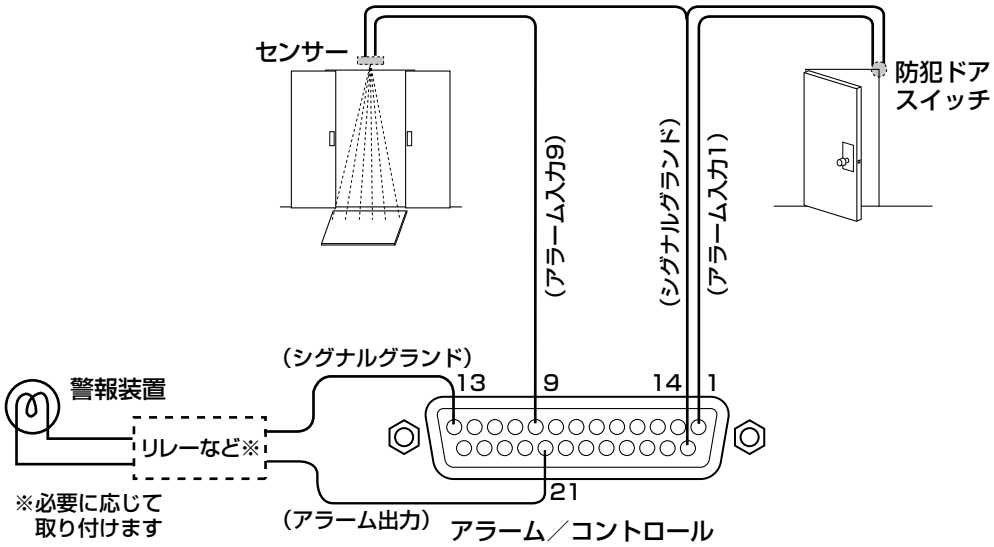
ピン番号10および15 ～ 19の端子に、ブザーやランプなどの警報装置を接続すると、信号出力時にブザーを鳴らしたり、ランプを点灯したりして動作状態を知らせることができます。
HDD異常出力（ピン番号16）の接続例は以下のとおりです。



アラーム接続

アラーム入力端子1 ～ 9（ピン番号1 ～ 9）に信号が入力されると、設定内容に従って録画動作やアラーム動作を行います。

また、ブザーやランプなどの警報装置を外部に設置するときは、アラーム出力端子（ピン番号21）に接続します。



アラーム／コントロール端子の時間と極性

端子	アクティブ時間	備考
アラーム入力	100 ms以上	N.O.時：Lアクティブ N.C.時：Hアクティブ
ネットワーク異常出力	エラー発生～障害出力時間※ まで	Lアクティブ
アラーム復帰入力	100 ms以上	Lアクティブ
顔照合出力	設定メニューでの設定時間	Lアクティブ
HDD異常出力	エラー発生～障害出力時間※ まで	Lアクティブ
カメラ異常出力	エラー発生～障害出力時間※ またはカメラ復帰まで	Lアクティブ
機器異常出力	エラー発生～障害出力時間※ まで	Lアクティブ
録画異常出力	エラー発生～障害出力時間※ まで	Lアクティブ
時刻合わせ入力	入力：100 ms以上	Lアクティブ
アラーム出力	設定メニューでの設定時間	Lアクティブ

※　障害出力時間については設定メニューの［詳細設定］－［メンテナンス］で設定します。（☞78ページ）

メモ

- Lアクティブ（Low active、ロー・アクティブ）時は、信号の電圧レベルがLowレベルのときに論理が有効となります。
- Hアクティブ（High active、ハイ・アクティブ）時は、信号の電圧レベルがHighレベルのときに論理が有効となります。

起動する

電源を入れる

本機の電源を入れます。また、本機を初めて使用するときは、本機のライセンスを登録します。（☞34ページ）

STEP1

本機の後面パネルの電源端子に付属の電源コードを接続し、電源プラグをAC100 V 50 Hz/60 Hzの電源コンセントに差し込みます。必ずAC100 V 50 Hz/60 Hzの電源を使用してください。

→［通電］ランプが点灯し、システムチェック（本体・HDD）が開始され、メインモニターに起動中画面が表示されます。

重要

- 起動処理中は絶対に電源を切らないでください。

メモ

- 本機のライセンスが未登録の場合、システムチェックが終了すると、メインモニターに解除キー番号の登録を促す画面が表示されます。

STEP2

本機のライセンスが未登録の場合は、34ページの手順に従って、解除キー番号を登録してください。

メモ

- 本機起動後に操作したとき、ログイン画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。操作方法については、取扱説明書　操作編（PDFファイル）をお読みください。
- 一度本機の解除キー番号を登録すると、次回の起動時からは、解除キー番号の登録を促す画面は表示されません。

電源を切る

本機の電源を切ります。録画中と再生中の場合、次の手順で電源を切ってください。

録画中

STEP1

設定メニューの［録画・イベント］ー［高度な設定］タブの「録画動作」を「Off」に設定し、すべての録画を停止します。（☞62ページ）

STEP2

［HDD］ランプが消灯していることを確認してから、電源プラグを電源コンセントから抜きます。
→［通電］ランプが消灯します。

メモ

- 次に電源を入れたときに、録画開始の操作（「録画動作」を「On」に設定）を忘れずに行ってください。

再生中

STEP1

再生を停止します。
（☞取扱説明書　操作編（PDFファイル））

STEP2

［HDD］ランプが消灯していることを確認してから、電源プラグを電源コンセントから抜きます。
→［通電］ランプが消灯します。

重要

- 長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 機能に支障をきたす場合がありますので、1週間に1回程度、電源を入れて録画・再生し、画像を確認してください。

ライセンス(解除キー番号)を登録する

本機を初めて使用するとき、または、カメラを追加するときは、本機にライセンス（解除キー番号）を登録をする必要があります。

重要

- 以下の場合、必ず［再起動］ボタンをクリックし、本機を再起動させてください。本機が再起動しないと各ライセンスが有効になりません。
  - 本機の解除キー番号を登録したとき
  - カメラ拡張のライセンスを追加したとき
- 追加したカメラは、「らくらくスタート」（☞39ページ）でカメラ登録してください。また、各設定値は初期設定となりますので、必要に応じて各種設定を行ってください。

STEP1

本機に付属の起動情報案内カードに従って、本機の解除キー番号を取得します。
カメラを追加する場合は、カメラ拡張キット（DG-NVE20：別売り）により、同じくカメラ拡張の解除キー番号を取得します。
詳しくは、各起動情報案内カードをお読みください。

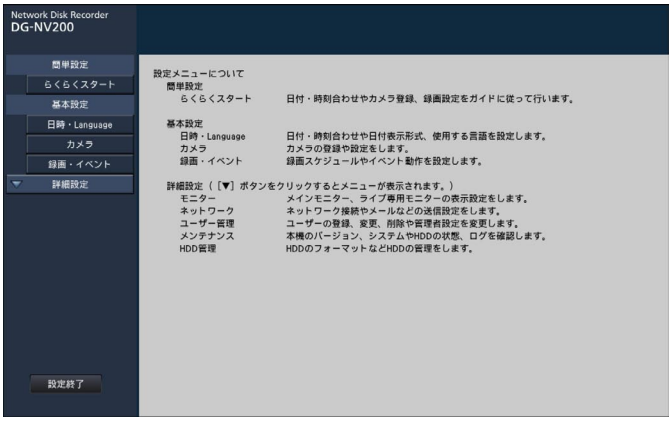
STEP2

本機を起動します。（☞32ページ）
→システムチェックが終了すると、メインモニターに操作画面が表示されます。ライセンスを未登録の場合は、登録を促す画面が表示されます。

STEP3

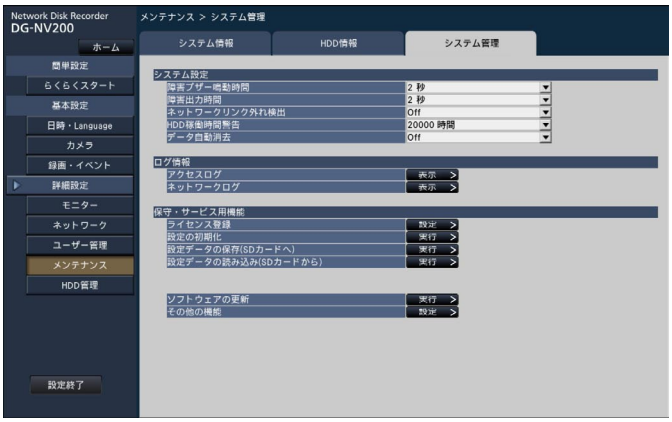
［設定］ボタンをクリックします。

→設定画面が表示されます。



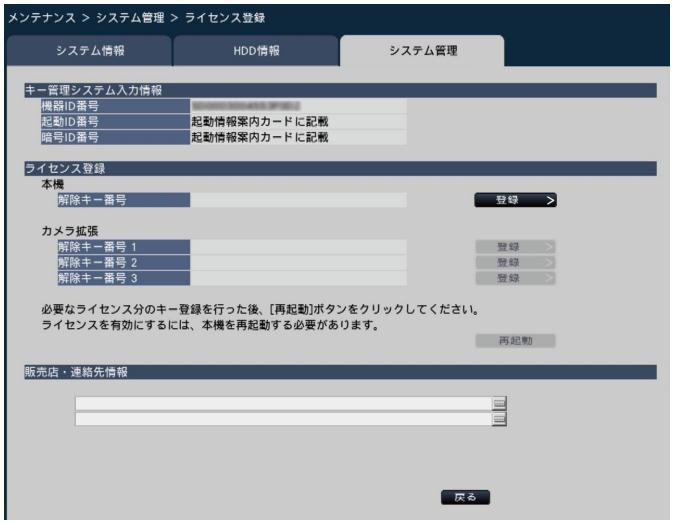
STEP4

設定メニュー［詳細設定］の［メンテナンス］―［システム管理］タブの順にクリックします。
→［システム管理］画面が表示されます。



STEP5

「ライセンス登録」の［設定>］ボタンをクリックします。
→ライセンス登録画面が表示されます。



STEP6

「本機」－「解除キー番号」の［登録>］ボタンをクリックします。
→解除キー番号を入力する画面が表示されます。

STEP7

ソフトキーボードを使って、本機の解除キー番号を入力し、［登録］ボタンをクリックします。

→ライセンス登録画面に戻ります。

メモ

- エラー画面が表示された場合は、再度入力欄に有効な解除キー番号を入力してください。

STEP8

カメラ台数を増やす場合は、STEP1で取得したカメラ拡張の解除キー番号をSTEP5のライセンス登録画面にある「カメラ拡張」－「解除キー番号1 ～ 3」に入力します。入力方法は、STEP6、STEP7と同じです。

メモ

- 本機のライセンス、カメラ拡張のライセンスの順で登録してください。逆順での登録はできません。

STEP9

ライセンス登録画面の［再起動］ボタンをクリックします。
→本機が再起動し、各ライセンスが有効になります。

基本的な操作のしかた

本機の操作は、本機前面のマウス接続ポートに、接続したマウス（付属品）から行います。
本機の設定以外の操作は、PCのウェブブラウザーからも行うことができます。ウェブブラウザーの操作については、取扱説明書　操作編（PDFファイル）をお読みください。

STEP1

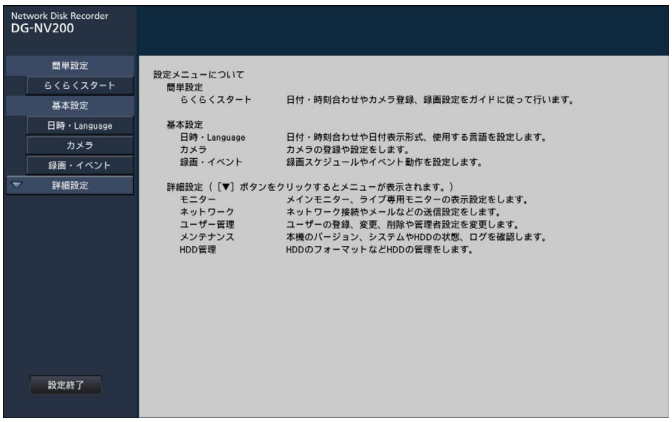
本機前面のマウス接続ポートに付属のマウスを接続します。
→メインモニターにマウスカーソルが表示されます。

STEP2

画面上のボタンやタブを左クリックして操作します。
（以降、本書では左クリックをクリックと表記します）
［▲］／［▼］ボタンまたは［▼］ボタンのある入力欄にカーソルがある場合は、マウスホイールで値を変更できます。
10秒間何も操作しないと、マウスカーソルが非表示になります。マウスを動かすと再び表示されます。

STEP3

［設定］ボタンをクリックします。
→設定メニューのトップ画面が表示されます。



ソフトキーボードの操作について

設定項目の文字入力はソフトキーボードで行います。各設定画面にある入力欄右の アイコンをクリックすると、ソフトキーボードが表示され、画面上の文字キーをクリックすることで、文字を入力できます。

ソフトキーボード画面

［全消去］ボタン
文字入力欄に入力されている文字列をすべて消去します。

［←］／［→］ボタン
文字入力欄のカーソルを左右に移動します。

［消去］ボタン
文字入力欄のカーソルのある文字を消去します。

［A ／ a］ボタン
英数字表示のとき大文字／小文字を切り換えます。日本語表示のときは［あ／ア］ボタンとなり、ひらがな／カタカナを切り換えます。

［切換］ボタン
表示文字キーを切り換えます。
英数字→日本語1→日本語2→英数字、と表示されるキーが切り換わります。
日本語1は五十音を入力するとき、日本語2は、濁音、半濁音、小文字母音を入力するときに使用します。

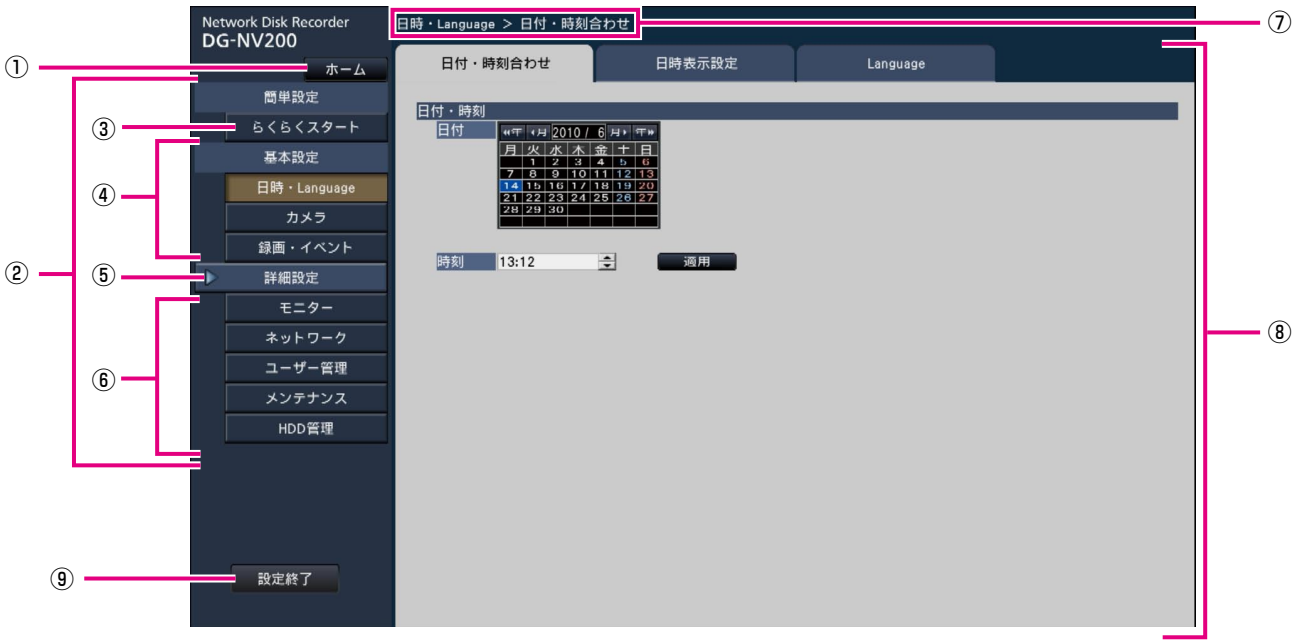
［確定］ボタン
入力した文字列を確定し、ソフトキーボード画面を閉じます。

メモ
- ログイン画面やライセンス登録画面なども、基本的な操作方法は同様です。
- 文字入力を確定せずに画面を閉じるには、［×］ボタンをクリックしてください。

設定画面について

本機を操作する場合、あらかじめ、設定メニューで各項目を設定しておく必要があります。
設定には、必要最低限の内容のみ設定し他の項目は初期設定のまま運用する「らくらくスタート」と、さまざまな運用方法に合わせてカスタマイズする「基本設定」および「詳細設定」があります。

ここでは設定画面の代表的な例を用いて、設定画面の概要と操作方法を説明します。
設定画面は、メインモニターに表示される操作画面右上の［設定］ボタン（☞36ページ）をクリックすると表示されます。
設定画面の左側には、設定メニューが表示されます。



①［ホーム］ボタン
どの設定ページからでも、設定のトップ画面（☞36ページ）に戻ります。

②設定メニューパネル
各設定メニューボタンを表示します。

③［らくらくスタート］ボタン
日時やカメラ登録など、運用開始に最低限必要な設定をウィザード形式で設定できます。

④基本設定－各種設定メニューボタン
基本設定の各設定ページを表示します。

⑤［詳細設定］ボタン
詳細設定の各種設定メニューボタンを表示します。再度クリックすると、各種設定メニューボタンが非表示となります。

⑥詳細設定－各種設定メニューボタン
詳細設定の各設定ページを表示します。

⑦画面階層表示
表示されている設定ページ名称を階層表示します。タブ名称も含まれます。

⑧設定ページ
各設定メニューのページを表示します。複数タブで構成されているページは、タブをクリックしてページを切り換えます。

⑨［設定終了］ボタン
設定した内容を本機に反映し、設定画面を閉じて運用画面に戻ります。

本書では、一部を除き、設定画面の表示例として、画面階層表示と設定ページを使用します。

重要
- 設定内容を変更すると、本機にログインしているすべてのユーザーが強制的にログアウトします。

必要最小限の設定を行う［らくらくスタート］

設定メニュー［簡単設定］－［らくらくスタート］では、日付設定やカメラの登録、録画の設定など、本機を使用するために必要な最小限の設定を行います。
まず、らくらくスタートで設定を行い、さらに詳細な設定を行いたい場合は、各設定メニューで設定を行います。

らくらくスタートでできること

- ●本機の日付と時刻の設定
- ●カメラの登録
- ●カメラの入れ換え
- ●録画のフレームレート、画質の設定

※上記以外は、カメラの設定および本機の初期設定のままで運用されます。

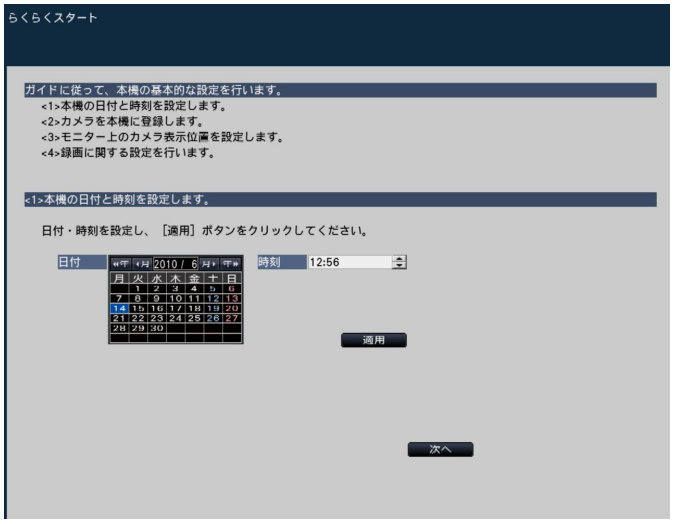
STEP1

設定メニューのトップ画面で［らくらくスタート］ボタンをクリックします。
設定画面の表示のしかたは「基本的な操作のしかた」（☞36ページ）をお読みください。

→日付・時刻を設定する画面が表示されます。

STEP2

日付・時刻を設定します。



［日付］

現在の日付を設定します。カレンダーから年月日を選択します。

［<<年］［年>>］ボタン　：年を切り換えます。
［<月］［月>］ボタン　　：月を切り換えます。

［時刻］

現在の時刻を設定します。

STEP3

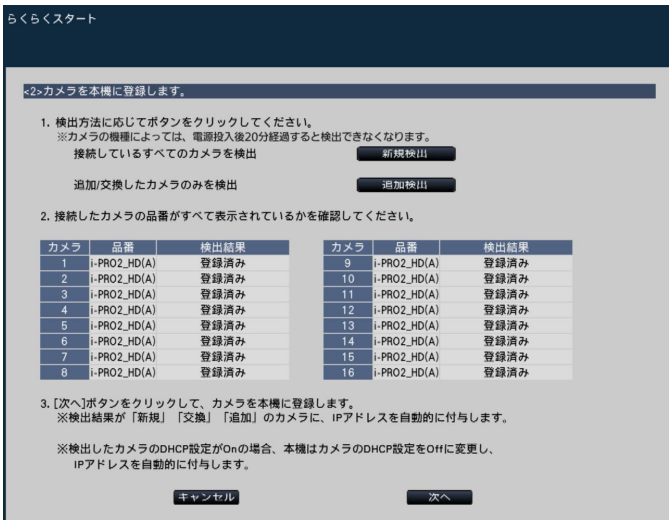
日付、時刻を設定したら、［適用］ボタンをクリックします。
→00秒に設定されます。

STEP4

［次へ］ボタンをクリックします。
→カメラの登録画面が表示されます。

STEP5

カメラを本機に登録します。



メモ

●事前にカメラをネットワークに接続してください。カメラのライセンス登録台数より多く接続していても、ライセンス数分だけ検出します。不要なカメラは接続を外しておいてください。

［新規検出］ボタン

接続しているすべてのカメラを検出します。
画面上にカメラの品番および検出結果が表示されます。
接続したカメラの品番がすべて表示されているかを確認してください。

［追加検出］ボタン

追加や交換したカメラのみを検出します。
画面上にカメラの品番および検出結果が表示されます。
追加や交換したカメラの品番がすべて表示されているかを確認してください。

重要

●すでに運用しているカメラがある場合、「新規検出」を行うと、接続しているすべてのカメラに新たにIPアドレスを付与するのでご注意ください。

●運用開始後に追加したカメラは、初期設定で登録されます。すでに登録済みのカメラの設定と合わせるには、あらためて追加したカメラの設定を行ってください。

［カメラ］

最大で16台まで接続できます。ライセンス登録（☞34ページ）により、9、12、16台の構成が可能です。

［品番］

弊社製ネットワークカメラを使用している場合、そのカメラの品番が表示されます。

［検出結果］

新規　：初めて本機にカメラを接続した場合に表示されます。
交換　：本機に接続していたカメラを交換した場合に表示されます。
追加　：本機にカメラを追加して接続した場合に表示されます。
登録済み　：すでに登録済みのカメラの場合に表示されます。
消失　：登録済みのカメラが検出されなかった場合に表示されます。
空欄　：カメラが検出されていません。

STEP6

［次へ］ボタンをクリックします。
→新規・交換・追加を行ったカメラに対し、IPアドレスが自動的に付与され、運用画面にカメラ画像が表示されます。

メモ

●カメラの登録を行うと、本機にログインしているほかのユーザーは強制的にログアウトします。

●カメラの登録中は、本機の録画はすべて停止します。

●らくらくスタートでのカメラ登録は、ルーターを経由した異なるサブネットマスクのカメラでは行えません。

●セキュリティ強化のため、カメラの機種によっては、電源投入後20分経過すると検出できなくなります。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。

●検出したカメラのDHCP設定が「On」の場合、本機はカメラのDHCP設定を強制的に「Off」に変更し、IPアドレスを自動付与します。

●［キャンセル］ボタンをクリックすると、カメラの検出結果を反映せずに、らくらくスタートの初期画面（日付・時刻を設定する画面）に戻ります。

STEP7

登録したカメラ番号を変更したい場合、カメラ番号を入れ換えることができます。

画面上には、登録したカメラが、左上から右に1、2、･･･16の順で表示されます（カメラ構成が4台の場合は4分割画面、9台の場合は9分割画面、12台の場合は16分割画面となります）。

入れ換えたいカメラ画像をマウスでドラッグし、移動したい位置でドロップすると、カメラ番号が入れ換わります。
カメラタイトルも入れ換える場合は、「カメラタイトルも入れ換える」にチェックを入れてください。

[カメラの状態]
カメラ品番と各カメラの状態が一覧表示されます。

画像表示中	：登録したIPアドレスまたは登録済みのIPアドレスで画像を表示しています。
アドレス変更中	：IPアドレスを変更したカメラから画像を取得中です。
検出不可	：カメラの画像が取得できません。
認証エラー	：画像表示の認証に失敗しました。

重要
- 「検出不可」が表示された場合は、カメラの接続を確認し、カメラ登録をやり直してください。
- 「認証エラー」が表示された場合は、カメラの取扱説明書をお読みの上、カメラを初期化してからカメラ登録をやり直してください。
- 登録したカメラが正常に検出されない、またはカメラの設定を変更したい場合は、[基本設定] ー [カメラ] の [カメラ登録] タブ（☞45ページ）で「登録情報の変更」を行ってください。

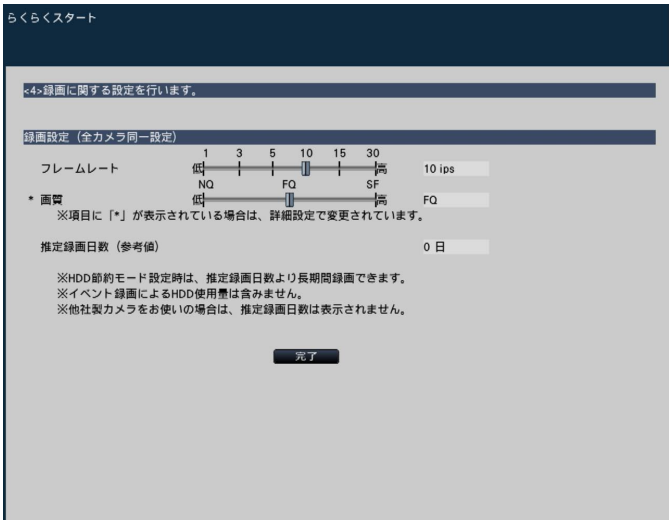
[更新] ボタン
入れ換え後のカメラの最新画像を取得します。

[終了] ボタン
設定を終了して、設定メニューのトップ画面に戻ります。

[次へ] ボタン
録画に関する設定に進みます。

STEP8

録画に関する設定を行います。らくらくスタートでの設定は、すべてのカメラで同一の設定となります。



[フレームレート]
録画のフレームレートを選択します。
1 ips / 3 ips / 5 ips / 10 ips / 15 ips / 30 ips
初期設定：10 ips

[画質]
録画画像の画質を選択します。

NQ（Normal）	：標準画質
FQ（Fine）	：高画質
SF（Super Fine）	：最高画質

初期設定：FQ

[推定録画日数（参考値）]
HDDに録画可能な日数を計算し、表示します。

メモ
- 推定録画日数は、月曜日から録画を開始した場合を想定して計算します。
- HDD節約モード設定時は、推定録画日数より長期間の録画ができます（☞52ページ）。
- イベント録画によるHDD使用量は含みません。
- 他社製カメラをご使用の場合は、推定録画日数は表示されません。

STEP9

[完了] ボタンをクリックします。
→設定を保存し、設定メニューのトップ画面に戻ります。

基本設定を行う［基本設定］

基本設定では、日時表示に関する設定や録画動作など、基本的な設定を行います。
基本設定は、日時・Languageページ、カメラページ、録画・イベントページで構成されています。

基本設定の各ページを表示する

設定メニューで各ボタンをクリックします。

［日時・Language］ボタン：日時・Language（言語）ページを表示します。日時の設定やサマータイム設定などを行います。
［カメラ］ボタン　　：カメラページを表示します。ネットワークカメラの登録や設定を行います。
［録画・イベント］ボタン　：録画・イベントページを表示します。録画のスケジュールやカメラの設定、顔照合に関する設定を行います。

日時や言語に関する設定を行う［日時・Language］

日時・Languageページは、［日付・時刻合わせ］タブ、［日時表示設定］タブ、［Language］タブで、構成されています。

［日付・時刻合わせ］タブ

現在の日付と時刻を設定します。設定方法は、「必要最小限の設定を行う」［らくらくスタート］（☞39ページ）をお読みください。

[日時表示設定] タブ

日時の表示形式やタイムゾーン、サマータイムの設定、時刻合わせ方法などを設定します。

■表示形式

日付と時刻の表示形式を設定します。

[日付]

日付の表示形式を選択します。(表示例：2010年4月1日の場合)

yyyy/mm/dd　：2010/04/01
Mmm/dd/yyyy　：Apr/01/2010
dd/Mmm/yyyy　：01/Apr/2010
mm/dd/yyyy　：04/01/2010
dd/mm/yyyy　：01/04/2010

初期設定：yyyy/mm/dd

[時刻]

時刻の表示形式を選択します。(表示例：午後3時00分00秒の場合)

24時間：15：00：00
12時間：03：00：00PM

初期設定：24時間

■タイムゾーン

タイムゾーンとサマータイムを設定します。

[タイムゾーン選択]

使用している地域に応じたタイムゾーンを選択します。日本で使用する場合は、「GMT+9:00」から変更する必要はありません。

GMT-12:00 ～ GMT+13:00

初期設定：GMT+9:00

[サマータイム]

サマータイムの切り換え方法を選択します。日本で使用する場合は、「Out」から変更する必要はありません。

Out　：サマータイム解除
Auto：「サマータイム切換」の設定内容に従って、自動でサマータイムに切り換えます。

初期設定：Out

[サマータイム切換]

サマータイムの開始／終了日時を設定します。

[設定>] ボタンをクリックすると、サマータイム切換ページが表示されます。

開始（In）と終了（Out）の日時を入力します。 アイコンをクリックするとカレンダー画面が表示されます。設定方法は「らくらくスタート」(☞39ページ)をお読みください。

サマータイム切換は10件まで登録できます。

また、設定したサマータイム切換日時を削除するには、「削除番号選択」で削除したい設定番号を選択し、[削除]ボタンをクリックします。
［戻る］ボタンをクリックすると元のページに戻ります。

重要
- 開始（In）と終了（Out）の間隔を1時間以内に設定することはできません。

[自動時刻合わせ]
自動時刻合わせの方法を選択します。
Off ：自動時刻合わせをしません。
On ：本機後面のアラーム／コントロール端子から入力された信号により時刻を合わせます。信号が入力されると正時（毎時00分）からの時間差が29分以内の場合、00分00秒に設定します。
初期設定：Off

[Language] タブ

メインモニター、およびPCのウェブブラウザーに表示する言語を選択します。日本語表示で使用する場合は、「日本語」から変更する必要はありません。

[Language]
日本語／ English ／ Français ／ Español ／ Deutsch ／ Italiano ／ Русский
初期設定：日本語

カメラに関する設定を行う［カメラ］

カメラページは、［カメラ登録］タブ、［カメラ設定］タブで構成されています。

［カメラ登録］タブ

カメラのネットワーク設定（IPアドレスやポート番号）、メインモニターでの表示位置の変更などを行います。
初回設定時は、「らくらくスタート」で検出・設定したカメラの情報が表示されます。

［登録情報の変更］

「品番」、「IPアドレス」、「圧縮方式」を変更します。
［設定>］ボタンをクリックすると、登録情報の変更画面が表示され、設定を変更できます。（☞46ページ）
また、カメラとの通信で何らかの障害が発生している場合、「障害情報」に以下のように表示されます。

接続エラー　：カメラと通信していません。
認証エラー　：カメラのユーザー認証に失敗しました。
カメラエラー：カメラからの応答が正しくありません。

メモ

- 障害情報が表示された場合は、カメラとの接続、カメラの設定（☞カメラの取扱説明書）を確認してください。解決しない場合は、「らくらくスタート」で再度カメラ登録を行ってください。（☞39ページ）

［カメラ入れ換え］

カメラ番号を入れ換えることができます。［設定>］ボタンをクリックすると、カメラ入れ換え画面が表示され、設定を変更できます（☞47ページ）。

登録情報を変更する［登録情報の変更］

［カメラ登録］タブで「登録情報の変更」の［設定>］ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。
設定変更後［OK］ボタンをクリックすると、設定が保存され［カメラ登録］タブに戻ります。

［カメラ］
最大で16台まで接続できます。カメラ拡張のライセンス登録により、基本の4台から9台、12台、16台への拡張が可能です。

［品番］
登録済みのネットワークカメラの品番が表示されます。（空欄：カメラ未登録）
［▼］ボタンをクリックすると、カメラ区分から選択することができます。カメラ区分については、本機付属のCD-ROM内の「readme.txt」をお読みください。
通常は変更する必要はありません。

［IPアドレス］
登録済みのIPアドレスが表示されます。［▲］／［▼］ボタンをクリックしてアドレスを変更できます。

［圧縮方式］
画像の圧縮方式を選択します。
H.264 ／ MPEG-4 ／ MJPEG ／なし
初期設定：なし

メモ
- 圧縮方式を「H.264」以外に設定すると、ライブ画配信や録画のフレームレート設定が「5 ips」に自動的に変更されます。（☞53ページ）
- 圧縮方式を「MPEG-4」に変更すると、「解像度」が「VGA」に自動的に変更されます。（☞55ページ）
- 圧縮方式を変更すると、カメラの機種によってはカメラが再起動することがあります。カメラ再起動中は通信エラーとして検出されますが、故障ではありません。

［ユーザー名］
カメラにアクセスし、ログインするためのユーザー名をソフトキーボード（☞37ページ）から入力します（半角英数字32文字以内）。アクセスレベルが「管理者」のユーザー名を登録してください。
初期設定：なし

［パスワード］
登録した「ユーザー名」のパスワードをソフトキーボード（☞37ページ）から入力します。（半角英数字32文字以内）
初期設定：なし

［ポート番号］
カメラが使用するポート番号を1 ～ 65535の範囲で設定します。
初期設定：80

［削除番号選択］
登録情報の削除や接続していたカメラを外すときは、カメラ番号を選択し、［削除］ボタンをクリックするか、該当するカメラのIPアドレスを「000.000.000.000」に設定します。

メモ
- ポート番号は右詰めで入力してください。（例：ポート番号が80の場合、00080と設定）。ここでは、設定値の左の「0」は表記していません。

カメラ番号を入れ換える［カメラ入れ換え］

［カメラ登録］タブで「カメラ入れ換え」の［設定>］ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。

画面上には、登録したカメラが、左上から右に1、2、・・・16の順で表示されます（カメラ構成が4台の場合は4分割画面、9台の場合は9分割画面、12台の場合は16分割画面となります）。
入れ換えたいカメラ画像をマウスでドラッグし、移動したい位置でドロップすると、カメラ番号が入れ換わります。
カメラタイトルも入れ換える場合は、「カメラタイトルも入れ換える」にチェックを入れてください。
「カメラの状態」については、41ページをお読みください。

［更新］ボタン
入れ換え後のカメラの最新画像を取得します。

［戻る］ボタン
設定を保存して［カメラ登録］タブに戻ります。

［カメラ設定］タブ

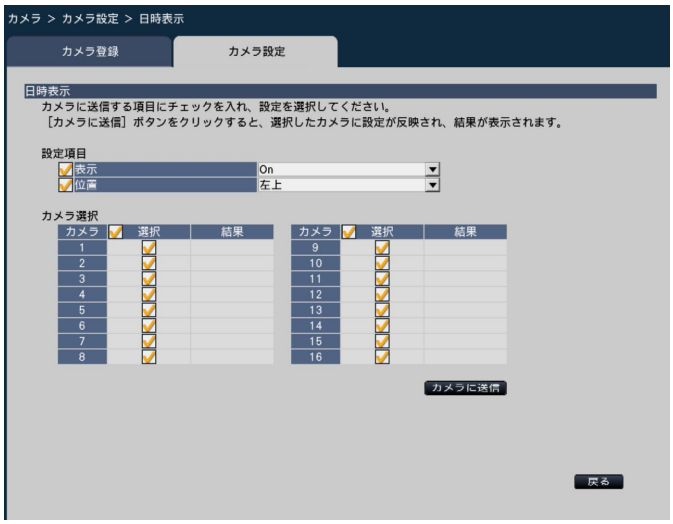
カメラ画像内の日時表示や文字表示、リフレッシュ間隔、動作検知アラームの設定をカメラに送信します。
それぞれの設定項目の［設定>］ボタンをクリックして、設定画面を表示します。

メモ

- 本機から設定できるのは弊社製の一部のカメラです。対応カメラについては、本機付属のCD-ROM内の「readme.txt」をお読みください。
- カメラの現在の設定内容を本機で確認することはできません。

日時表示を設定する［日時表示］

カメラごとに日時の表示位置を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。
［カメラ設定］タブで「日時表示」の［設定>］ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



■設定項目

［表示］
日時表示するかどうかを選択します。表示する設定にした場合は、カメラ画像内に日時が表示されるほか、録画画像にも日時が録画されます。
この設定をカメラに送信する場合は、チェックを入れ、項目を選択します。
　On　：日時表示する
　Off　：日時表示しない
初期設定：On

［位置］
画像上の日時の表示位置を選択します。
この設定をカメラに送信する場合は、チェックを入れ、表示位置を選択します。
　左上／左下／右上／右下
初期設定：左上

メモ
- 「画像内文字表示」（☞49ページ）の表示位置は、ここで設定する「日時表示」の「位置」と同じになります。

■カメラ選択
日時表示の設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

［カメラに送信］ボタン
日時表示の設定をカメラに送信します。
送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

［戻る］ボタン
設定が終了したら、クリックします。［カメラ設定］タブに戻ります。

画像内の文字表示を設定する［画像内文字表示］

カメラごとに表示させる文字と表示位置を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。
［カメラ設定］タブで「画像内文字表示」の［設定>］ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。

■設定項目

［表示］
カメラ画像内にタイトル文字を表示するかどうかを選択します。表示する設定にした場合は、カメラ画像内に文字が表示されるほか、録画画像にも文字が録画されます。
この設定をカメラに送信する場合は、チェックを入れ、項目を選択します。
　On　：文字表示する
　Off　：文字表示しない
初期設定：On

［画像内文字］
画像内文字情報をカメラに送信する場合は、チェックを入れ、画像内に表示する文字を編集します。［編集>］ボタンをクリックすると、以下の文字編集の画面が表示されます。

● **［画像内文字］**
画像内で表示する文字列をソフトキーボード（☞37ページ）から入力します（半角全角とも16文字まで）。
入力可能文字　：０～９（半角）、Ａ～Ｚ（半角、大文字）、全角カナ、半角記号（! " # $ % & ' ( )* + , - . / : ; = ?）

● **［カメラタイトル］**
モニターページの［メインモニター］タブで登録したカメラタイトルが表示されます（☞63ページ）。

● **［コピー］ボタン**
モニターページの［メインモニター］タブで登録したカメラタイトルを画像内文字として使用することができます。クリックすると、カメラタイトルが「画像内文字」にコピーされます。

● **［戻る］ボタン**
設定が終了したら、クリックします。画面が閉じます。

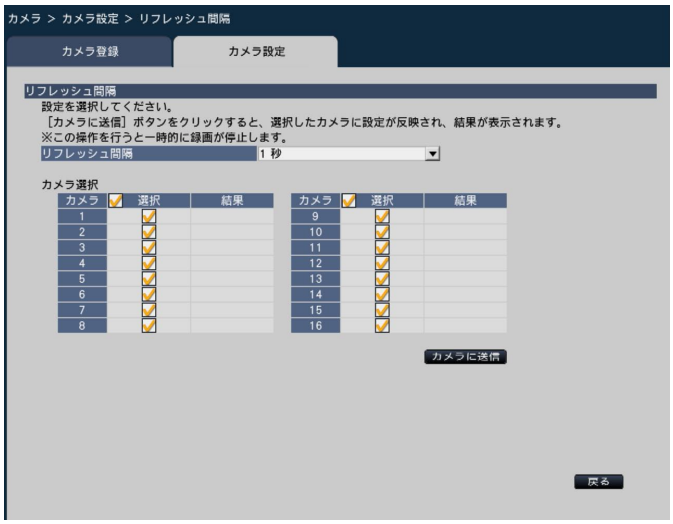
■カメラ選択
文字表示の設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

［カメラに送信］ボタン
画像内文字の設定をカメラに送信します。
送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

［戻る］ボタン
設定が終了したら、クリックします。［カメラ設定］タブに戻ります。

リフレッシュ間隔を設定する［リフレッシュ間隔］

カメラごとに画像のリフレッシュ間隔を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。
［カメラ設定］タブで「リフレッシュ間隔」の［設定>］ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



［リフレッシュ間隔］
画像表示の更新間隔を選択します。ネットワーク環境でエラーが多い場合は、リフレッシュ間隔を短くすると画像の乱れが少なくなります。ただし、画像の更新速度が低下することがあります。
0.2秒／ 0.5秒／ 1秒／ 2秒／ 3秒
初期設定：1秒

重要
- カメラのリフレッシュ間隔を変更する設定をカメラに送信すると、カメラからの画像配信が一時的に停止し、その間は録画されません。

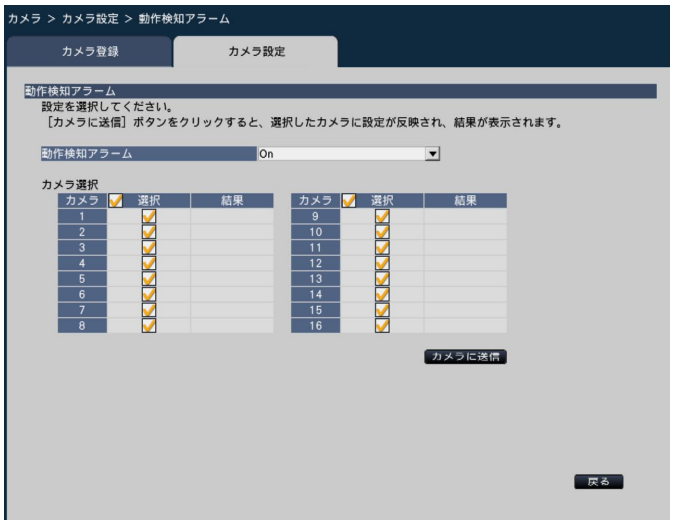
■カメラ選択
リフレッシュ間隔の設定を送信するカメラを選択します。設定を送信するカメラにチェックを入れます。

［カメラに送信］ボタン
リフレッシュ間隔の設定をカメラに送信します。
送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

［戻る］ボタン
設定が終了したら、クリックします。［カメラ設定］タブに戻ります。

動作検知アラームを設定する［動作検知アラーム］

カメラごとに動作検知アラーム機能を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。
［カメラ設定］タブで「動作検知アラーム」の［設定>］ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



［動作検知アラーム］
画像内の変化（動作）が検知されるとアラームを出力する動作検知（VMD：Video Motion Detection）アラーム機能を使用するかしないかを選択します。動作検知アラームについては、お使いのカメラの取扱説明書をお読みください。
　On　：アラームを検出する
　Off　：アラームを検出しない
初期設定：On

■カメラ選択
動作検知アラームの設定を送信するカメラを選択します。設定を送信するカメラにチェックを入れます。

［カメラに送信］ボタン
動作検知アラームの設定をカメラに送信します。
送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

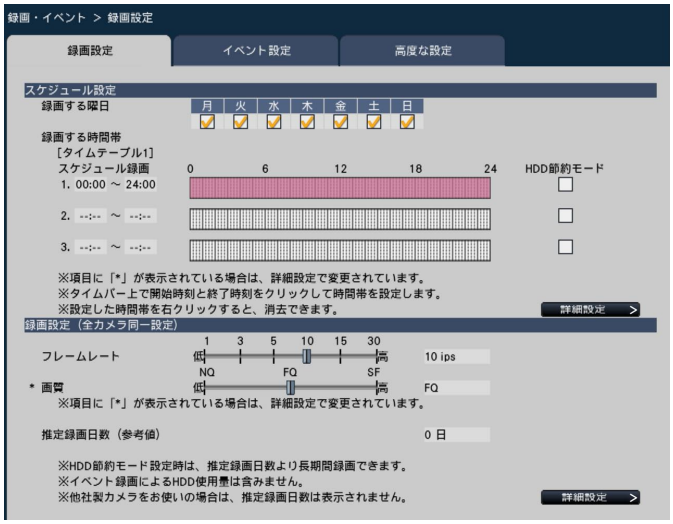
［戻る］ボタン
設定が終了したら、クリックします。［カメラ設定］タブに戻ります。

録画やイベントに関する設定を行う［録画・イベント］

録画・イベントページは、［録画設定］タブ、［イベント設定］タブ、［高度な設定］タブで、構成されています。

録画の設定を行う［録画設定］タブ

スケジュールによる録画を設定します。録画する曜日や時間帯、録画のフレームレートや画質を設定します。



■スケジュール設定

事前に設定したスケジュールに従い録画を行います。曜日と時間帯を設定します。

［録画する曜日］

録画したい曜日を選択します。録画する曜日にはチェックを入れます。

［録画する時間帯］

「タイムテーブル1」に3つのスケジュール録画（時間帯）を設定できます。タイムバーは1目盛り15分で、24時間を表しています。

STEP1

タイムバー上で録画開始時刻をクリックします。
→開始時刻が表示され、開始時刻から15分間分のタイムバーが赤くなります。

STEP2

タイムバー上で録画終了時刻をクリックします。
→終了時刻が表示され、開始時刻から終了時刻までのタイムバーが赤くなります。

メモ

- 録画時間帯は、タイムバー上で開始時刻から終了時刻までをマウスでドラッグして設定することもできます。
- 設定した時間帯を取り消すには、その時間帯を右クリックします。
- 3つの時間帯の間で、時間が重なる設定はできません。他のタイムバー上ですでに設定された時刻を設定しようとすると、重なる時間の直前または直後の時刻が設定されます。

［HDD節約モード］

フレームレートを下げてHDDの使用量を抑えることができます。HDDを節約したい場合は、チェックを入れます。設定すると、圧縮方式がH.264/MPEG-4の場合、リフレッシュ間隔の画像のみを録画し、MJPEGの場合、フレームレートが1 ipsで録画されます。時間帯ごとに、設定することができます。

［詳細設定>］ボタン

スケジュール詳細設定ページを表示します。3つのスケジュール録画に加え、3つのイベント録画を設定できます。（☞53ページ）

■録画設定

録画のフレームレート、画質を設定します。すべてのカメラが同一の設定になります。

[フレームレート]

録画のフレームレートを選択します。

1ips ／ 3 ips ／ 5 ips ／ 10 ips ／ 15 ips ／ 30 ips

初期設定：10 ips

重要

- 圧縮方式がMPEG-4の場合は、設定値は目安です。
- 圧縮方式がMJPEGの場合は、10 ips ／ 15 ips ／ 30 ipsは選択できません。また、初期設定は「5 ips」となります。

[画質]

録画の画質を選択します。

NQ（Normal）　：標準画質
FQ（Fine）　：高画質
SF（Super Fine）：最高画質

初期設定：FQ

[推定録画日数（参考値)]

HDDに録画可能な日数を計算し、表示します。

メモ

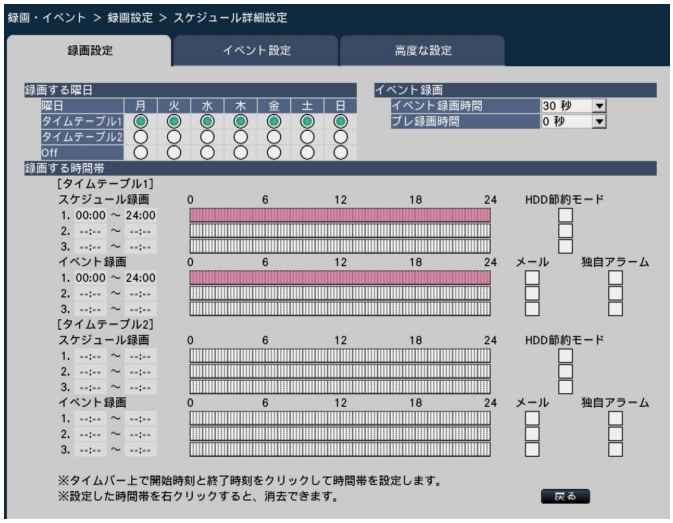
- 推定録画日数は、月曜日から録画を開始した場合を想定して計算します。
- 「HDD節約モード」を設定しているときは、推定録画日数より長期間録画できます。
- イベント録画によるHDD使用量は含みません。
- 他社製カメラをお使いの場合は、推定録画日数は表示されません。
- 設定項目の前に「＊」が表示されている場合は、その項目が録画詳細設定ページで変更されていることを表します。

[詳細設定>] ボタン

録画詳細設定ページ（カメラ別）を表示します。カメラごとに録画設定を行うことができます。（☞54ページ）

スケジュール録画の詳細を設定する

スケジュール録画のほか、イベント録画をタイムテーブル1と2にそれぞれ最大3つまで設定できます。
「スケジュール設定」で［詳細設定>］ボタンをクリックすると、スケジュール詳細設定ページが表示されます。



■録画する曜日

曜日ごとにどのタイムテーブルに従って動作するかを選択します。「●」は選択状態、「○」は非選択状態を表します。

タイムテーブル1：タイムテーブル1に従い録画します。
タイムテーブル2：タイムテーブル2に従い録画します。
Off　：スケジュール録画もイベント録画も行いません。

■イベント録画
アラーム発生時のイベント録画時間とアラーム発生前のプレ録画時間を設定します。

［イベント録画時間］
アラーム発生時の録画時間を設定します。
2秒／ 5秒／ 10秒／ 20秒／ 30秒／ 1分／ 2分／ 3分／ 5分／ 10分／ 15分
Manual ：アラーム信号が入力されている間だけ録画を行います。（最低8秒間）
Ext. ：アラーム動作を解除するまで録画し続けます。
初期設定：30秒

［プレ録画時間］
アラーム発生前にプレ録画時間を設定します。
0秒／ 5秒／ 10秒／ 15秒
初期設定：0秒

メモ
- 設定した時間より長い時間録画されることがあります。
- 「0秒」に設定するとプレ録画されません。
- 音声付きで録画する設定の場合、プレ録画の先頭に音声が録音されないことがあります。

■録画する時間帯
タイムテーブル1と2でそれぞれスケジュール録画とイベント録画を3つずつ設定できます。同じタイムテーブル内では、スケジュール録画よりイベント録画が優先されます。

［スケジュール録画］（☞52ページ）

［HDD節約モード］（☞52ページ）

［イベント録画］
アラーム発生により録画を行う時間帯を設定します。設定していない時間帯には、アラームが発生しても録画を行いません。タイムバーの設定方法については52ページをお読みください。

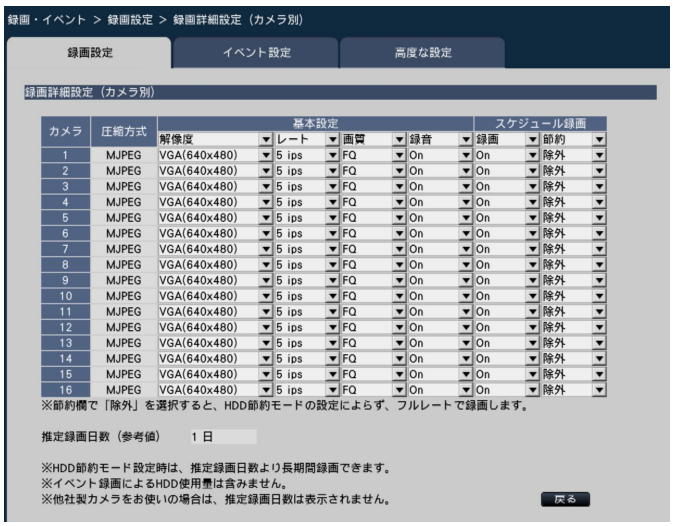
［メール］
イベント発生時、アラームメールを送信する場合はチェックを入れます。

［独自アラーム］
イベント発生時、独自アラームプロトコルを使って、発生したイベントの情報をPCへ自動的に通知する場合はチェックを入れます。

［戻る］ボタン
設定を終了したらクリックします。［録画設定］タブに戻ります。

録画設定をカメラごとに設定する（録画詳細設定）

カメラごとに、解像度やフレームレート、画質などを設定できます。
「録画設定」で［詳細設定>］ボタンをクリックすると、録画詳細設定ページが表示されます。



[圧縮方式]
カメラ登録時に設定した圧縮方式が表示されます。

[解像度]
録画する画像の解像度を選択します。
QVGA（320×240）／VGA（640×480）／SXVGA（1280×960）
初期設定：VGA（640×480）

重要
- 圧縮方式が「MPEG-4」の場合は、SXVGA（1280×960）は選択できません。

メモ
- 解像度を変更すると、カメラの機種によってはカメラが再起動することがあります。カメラ再起動中は通信エラーとして検出されますが、故障ではありません。

[レート]（フレームレート）（☞53ページ）

[画質]（☞53ページ）

[録音]
録画と同時に音声を録音するかを選択します。
On　：録音します。
Off　：録音しません。
初期設定：Off

[録画]
スケジュール録画の設定に従うかどうかを選択します。
On　：スケジュール録画の設定に従い録画します。
Off　：スケジュール録画の設定では録画を行いません。
初期設定：On

[節約]
HDD節約モードの設定に従うかどうかを選択します。
適用：HDD節約モードの設定に従います。
除外：HDD節約モードの設定に関係なく、設定されたフレームレートで録画します。
初期設定：適用

[推定録画日数]（☞53ページ）

[戻る] ボタン
設定を終了したらクリックします。[録画設定] タブに戻ります。

イベントの設定を行う［イベント設定］タブ
アラーム出力時間やブザーの鳴動時間など、イベントに関する設定を行います。

■アラーム動作

アラーム出力時間や自動復帰時間などを設定します。

［出力時間］

アラーム発生時に本機の後面端子から出力するアラーム信号の出力時間を選択します。「0秒」に設定するとアラーム信号を出力しません。

0秒／ 2秒／ 5秒／ 10秒／ 20秒／ 30秒／ 1分／

Ext. ：アラーム動作を解除するまでアラーム出力し続けます。アラーム動作の解除方法については、取扱説明書　操作編（PDFファイル）をお読みください。

Rec.：イベント録画中、アラーム信号を出力し続けます。

初期設定：2秒

［ブザー鳴動時間］

アラーム発生時の本機のブザー鳴動時間を設定します。「0秒」に設定するとブザーは鳴りません。

0秒／ 2秒／ 5秒／ 10秒／ 20秒／ 30秒／ 1分

Ext. ：アラーム動作を解除するまでブザー鳴動し続けます。アラーム動作の解除方法については、取扱説明書　操作編（PDFファイル）をお読みください。

Rec.：イベント録画中、ブザー鳴動し続けます。

初期設定：2秒

［自動復帰時間］

アラーム動作を自動的に復帰させる時間を選択します。

2秒／ 5秒／ 10秒／ 20秒／ 30秒／ 1分／ 3分／ 5分

Ext. ：アラーム動作を解除するまでアラーム出力し続けます。アラーム動作の解除方法については、取扱説明書　操作編（PDFファイル）をお読みください。

初期設定：Ext.

メモ

●「アラーム出力時間」「ブザー鳴動時間」が「自動復帰時間」より長く設定されている場合は、「自動復帰時間」の設定に従います。

［メッセージ表示］

アラーム発生時にネットワーク経由でPC画面上にメッセージを表示するかどうかを選択します。

On　：メッセージを表示します。

Off　：メッセージを表示しません。

初期設定：On

■イベント別詳細設定

各アラーム（端子アラーム、カメラサイトアラーム、コマンドアラーム、顔照合アラーム *）の詳細設定を行います。各項目の［詳細設定>］ボタンをクリックすると、詳細設定ページが表示されます。

* 顔照合機能搭載モデルのみ。

端子アラームの設定を行う［端子アラーム詳細設定］

本機のアラーム入力端子に防犯ドアセンサーなどの外部機器からアラーム信号が入力されたときの録画の設定を行います。

本機後面のアラーム入力端子ごとに、録画に必要な設定を行います。

■端子アラーム詳細設定

[動作モード]

アラーム信号が入力されたときの動作を選択します。

録画＋アラーム動作 ：すべてのイベント動作を設定に従って行います。

録画のみ ：録画とイベントログへの記録、カメラのプリセット動作のみ行います。

Off ：イベントログへの記録のみ行います。

初期設定：録画＋アラーム動作

[端子別設定]

端子番号1 ～ 9について、各設定を行います。

[録画カメラ]

録画するカメラを選択します。「Off」に設定すると録画を行いません。

初期設定：端子番号と同じ番号のカメラ

[プリセット]

アラーム信号入力時に動作させるカメラプリセットポジション（001 ～ 256）を選択します。「---」に設定するとプリセットポジション移動を行いません。

[端子出力]

アラーム信号入力時に、本機後面のアラーム出力端子からアラーム信号を出力するかどうかを選択します。

On ：アラーム信号を出力する

Off ：アラーム信号を出力しない

初期設定：On

[端子入力]

端子ごとにアラーム信号の入力方法を選択します。

N.O.（Normally Open）

：ショート時に信号が入力されます。

N.C.（Normally Close）

：オープン時に信号が入力されます。

初期設定：N.O.

[戻る] ボタン

設定を終了したらクリックします。[イベント設定] タブに戻ります。

メモ

- カメラのプリセットポジションについては、取扱説明書 操作編（PDFファイル）をお読みください。

カメラサイトアラームの設定を行う［カメラサイトアラーム詳細設定］

カメラの独自アラーム信号を受信して動作するカメラサイトアラーム入力時の動作を設定します。

「カメラサイトアラーム詳細設定」の「動作モード」、「カメラ別設定」の「録画カメラ」「プリセット」「端子出力」については、「端子アラームの設定を行う［端子アラーム詳細設定］」（☞56ページ）をお読みください。

[戻る] ボタン

設定を終了したらクリックします。[イベント設定] タブに戻ります。

コマンドアラームの設定を行う［コマンドアラーム詳細設定］

ネットワークを経由して、PCなどからコマンドを受信して動作するコマンドアラーム入力時の動作について設定します。

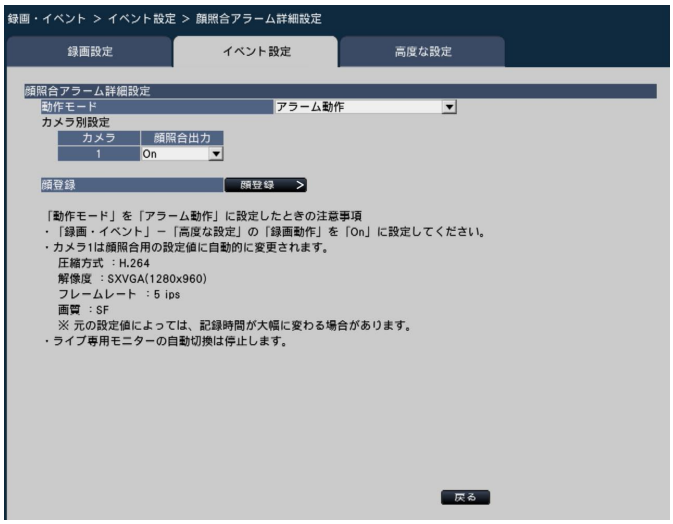
「コマンドアラーム詳細設定」の「動作モード」、「カメラ別設定」の「録画カメラ」「プリセット」「端子出力」については、「端子アラームの設定を行う［端子アラーム詳細設定］」（☞56ページ）をお読みください。

［戻る］ボタン

設定を終了したらクリックします。［イベント設定］タブに戻ります。

顔照合アラームの設定を行う［顔照合アラーム詳細設定］

あらかじめ登録した顔画像をカメラのライブ画像内から検出すると動作する顔照合アラームについて設定します（顔照合機能搭載モデルのみ）。顔照合機能の詳細や使用上の注意については、「顔照合機能について」（☞7ページ）をお読みください。また、顔照合アラームについては、取扱説明書　操作編（PDFファイル）をお読みください。



■顔照合アラーム詳細設定

［動作モード］

顔照合アラームが入力されたときの動作を選択します。

Off　　：顔照合アラーム機能を無効にします。
アラーム動作：顔照合アラーム動作を行います。
初期設定：Off

メモ

- 「アラーム動作」を選択すると、カメラ1の画質や圧縮方式の設定が以下の設定に自動的に切り換わります。元の設定値によっては、録画時間が大幅に変わる場合があります。
  圧縮方式　　：H.264
  解像度　　：SXVGA（1280×960）
  フレームレート：5 ips
  画質　　：SF
  HDD節約モード：除外
- 顔照合機能を動作させるには、顔照合開始の操作を行ってください。（☞取扱説明書　操作編（PDFファイル））
- 顔照合アラームの動作モードを「アラーム動作」に設定していると、ライブ専用モニターのシーケンス表示は停止します。

［カメラ別設定］
顔照合ができるのは、カメラ1のみ（固定）です。顔照合機能を使用するには、カメラ1は顔検出機能を搭載しているカメラを設置する必要があります。

［顔照合出力］
顔照合アラーム検出時に、本機後面の顔照合出力端子からアラーム信号を出力するかどうかを選択します。
On　：アラーム信号を出力する
Off　：アラーム信号を出力しない
初期設定：On

［顔登録］ボタン
顔照合登録画面を表示します。顔照合を行う顔画像を登録します（☞以下）。動作モードを「アラーム動作」に設定すると、登録可能になります。

［戻る］ボタン
設定を終了したらクリックします。［イベント設定］タブに戻ります。

顔画像を登録する［顔照合登録］

顔画像を新規に登録したり、すでに登録済みの顔画像を確認したり、名称をつけることができます。

- **［新規追加>］ボタン**
  顔画像を新たに登録します（☞60ページ）。
- **［照合感度］**
  顔照合する際の照合感度を設定します。
  1（低）／2／3／4／5（高）
  初期設定：3
- **顔画像表示エリア**
  登録した顔画像を表示します。
- **［登場日時］**
  顔画像が登場した日時を表示します。

●［名称］
ソフトキーボード（☞37ページ）を使用して、顔画像の名称を入力します（半角全角とも12文字まで）。

●［照合］
照合をするかどうかを選択します。同時に照合できるのは、最大8画像までです。
　する　：照合します。
　しない：照合しません。
初期設定：しない

●［最適画自動探索］ボタン
前後3秒分の画像データから、照合に最も適した顔画像を自動探索します。詳しくは「顔画像を自動探索する［最適画自動探索］」（☞61ページ）をお読みください。

●［削除］
チェックを入れると削除の対象となります。

●［更新］ボタン
変更した顔画像や名称、照合動作の設定を登録するほか、削除を実行します。

●［元に戻す］ボタン
顔画像や名称、照合動作などの変更をキャンセルし、前回［更新］ボタンをクリックしたときの状態に戻します。一度更新すると更新前の状態には戻せません。また、削除した顔画像は元に戻りません。

●［照合エリア設定>］ボタン
照合エリア設定画面が表示されます。（☞61ページ）

●［設定画面に戻る］ボタン
顔照合アラーム詳細設定ページに戻ります。

顔画像を新規登録する［新規追加］

登録できる顔画像は最大16までです。すでに16まで登録済みの場合は、登録済みの顔画像を削除してから新規追加してください。

STEP1

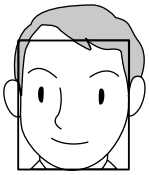
顔照合登録画面の［新規追加>］ボタンをクリックします。先に自動探索した顔画像や変更した名称などを更新していない場合は、［更新］ボタンをクリックしてから新規追加してください。
→顔照合登録画面が表示されます。

STEP2

再生操作パネルで顔画像登録したい顔画像が録画されたデータを再生します。再生方法については、取扱説明書　操作編（PDFファイル）をお読みください。
→画像表示部に再生画像が表示されます。

STEP3

登録したい顔画像が表示されたところで、再生を一時停止します。
→画像内で検出された顔部分に顔枠と顔サイズ（横×縦）が表示されます。


135×160

メモ
●顔画像は、顔幅（顔枠の横幅）が125ピクセル以上で登録してください。

STEP4

表示されている顔画像を登録してよければ、顔枠をダブルクリックします。

→顔照合登録画面に戻り、選択した顔画像が顔画像表示エリアに表示されます。

メモ

- 顔画像を採用せずに顔照合登録画面に戻る場合は、［戻る］ボタンをクリックします。

STEP5

必要に応じて照合動作の設定や、ソフトキーボード（☞37ページ）を使って名称を入力し、［更新］ボタンをクリックします。

顔画像を自動探索する［最適画自動探索］

登録した顔画像の登場日時の前後3秒間の中で、顔照合に適した顔画像を自動的に探索します。

STEP1

顔照合登録画面の［最適画自動探索］ボタン（☞60ページ）をクリックします。

→画面中央に「自動探索中」と表示され、探索が終了すると、探索完了画面が表示されます。顔画像表示エリアに探索した顔画像が表示されます。

メモ

- 画像の状態によっては、探索に約2分程度かかる場合があります。

STEP2

登録してよければ、［更新］ボタンをクリックします。

メモ

- 最適画自動探索では、画像表示部に画像は表示されません。

照合エリアを設定する［照合エリア設定］

ライブ画像を表示しながら、顔画像を照合したいエリアを最大4つまで設定できます。初期設定ではカメラ画像全体が照合対象になっています。照合エリアを設定することにより誤動作を減らすことができます。

STEP1

顔照合登録画面の［照合エリア設定>］ボタン（☞60ページ）をクリックします。

→照合エリアを設定する画面が表示されます。画像表示部には、カメラで顔検出された個所が緑色の枠で表示されています。（枠の更新は1秒ごと）

STEP2

設定する照合エリアの［エリア設定］ボタンをクリックします。照合エリアは多角形の領域を設定できるよう、最大４つまで登録できます。

STEP3

画像上でエリアとなる四角形の左上と右下にあたる位置をクリックします。

→設定したエリアがグレー表示になり、照合エリアとして登録されます。

緑色の枠が一部でも照合エリアに重なれば、顔照合の対象となります。

メモ

- 照合エリアは、画像表示部を16×16分割した状態に合わせて設定されるため、左上と右下で指定した位置とずれることがあります。
- 登録したエリアを削除するには、削除する照合エリアの［エリア削除］ボタンをクリックします。

STEP4

設定を終了するには、［戻る］ボタンをクリックします。
→顔照合登録画面に戻ります。

録画・イベントの高度な設定を行う［高度な設定］タブ

ここでは、録画に関する特殊な設定を行います。録画動作、アラームマスク時間、サイトアラーム受信ポート番号を設定します。

［録画動作］

すべての録画動作を停止するかどうかを設定します。主に、電源を切る前にHDDへのアクセスを停止させるために「Off」に設定します。

On　：録画動作を行います。
Off　：すべての録画動作を停止します。

初期設定：On

重要

- 「Off」に設定した場合は、運用再開時には必ず設定を「On」に戻してください。

［アラームマスク時間］

同じカメラで同じ種類のイベント（端子アラーム、カメラサイトアラーム、コマンドアラーム、顔照合アラーム）が連続して発生しても、イベント動作を行わないようにする期間を設定します。

2秒／ 3秒／ 5秒／ 10秒

初期設定：2秒

［サイトアラーム受信ポート番号］

カメラのサイトアラームを受信するポート番号を選択します。

初期設定：1818

メモ

- ポート番号は右詰めで入力してください。（例：ポート番号が80の場合、00080と設定）。ここでは、設定値の左の「0」は表記していません。

モニターの設定を行う [モニター]

設定メニュー［詳細設定］のモニターページでは、本機に接続しているメインモニターやライブ専用モニター、ネットワークを経由して接続しているPC画面の表示に関する設定を行います。
多画面表示の設定や、ライブ画像のシーケンス表示など画像の切り換えに関する設定もこのモニターページで行います。
モニターページは、［メインモニター］タブ、［ライブ専用モニター］タブ、［高度な設定］タブで構成されています。

メインモニターの設定を行う ［メインモニター］

カメラタイトルの表示位置など、メインモニターの表示に関する設定を行います。

■カメラタイトル

[表示]
カメラタイトルをメインモニターに表示するかどうかを設定します。
　On　：カメラタイトルを表示します。
　Off　：カメラタイトルを表示しません。
初期設定：On

[位置]
画像上のカメラタイトルの表示位置を選択します。
　左上／左下／右上／右下
初期設定：右上

[カメラタイトル]
カメラごとに表示するカメラタイトルをソフトキーボードから（☞37ページ）入力します。

メモ
- カメラに設定する日時表示（☞48ページ）や画像内文字表示（☞49ページ）と同時に使用する場合は、表示が重ならないように位置の設定をしてください。
- ここで設定するカメラタイトルは、録画画像には録画されません。

ライブ専用モニターの設定を行う［ライブ専用モニター］

ライブ専用モニターに表示するカメラ画像の選択や、画像の切り換えの間隔などを設定します。

■ライブシーケンス

カメラ画像のシーケンス動作（画像の切り換え）を設定します。

［切換間隔］

カメラ画像を切り換える間隔を設定します。

10秒／ 15秒／ 30秒

初期設定：10秒

［カメラ選択］

シーケンス表示するカメラを選択します。

表示するカメラにチェックを入れます。選択されたカメラ画像が番号順に表示されます。

［シークレットビュー］

シークレットビュー機能は、メインモニターで1画面表示しているカメラ画像をライブ専用モニターで黒画表示する機能です。シークレットビューを使用するかどうかを設定します。

On　：シークレットビューを使用します

Off　：シークレットビューを使用しません。

初期設定：Off

メモ

- メインモニターで画像が切り換えられると、ライブ専用モニターの画像が一瞬黒画になることがあります。
- 顔照合アラームの動作モード（☞58ページ）を「アラーム動作」に設定していると、シーケンス表示は停止します。

モニターに関するその他の設定を行う [高度な設定]

ECOモニター機能やモニターの音声出力設定などを行います。
ECOモニター機能は、通常時はメインモニターの輝度を下げたり、バックライトを消灯したりしておき、アラーム発生時などに輝度を上げるよう設定し、省電力でのモニター運用を実現するための機能です。

■ECOモニター機能

メインモニターのモニター輝度やバックライトのECO機能設定をします（ライブ専用モニターでは、ECO機能は使用できません）。
ECO機能が動作するのは、下記の条件のときです。

- マウス操作や本機前面パネルのボタン操作が行われていない
- アラームやエラーのリセットが行われていない
- その他、本機へのアクセスがない

※接続するモニター側のECOモード設定や状態にかかわらず、本機からの制御が優先されます。

[輝度を低減]

ECO機能の動作条件が満たされているとき、メインモニターの輝度を低減するかどうかを設定します。
低減する場合は、動作条件が満たされてから実際に輝度を低減するまでの時間を設定します。
Off ／ 1分後／ 3分後／ 5分後／ 10分後
初期設定：Off（輝度を低減しません）

[バックライト消灯]

ECO機能の動作条件が満たされているとき、メインモニターのバックライトを消灯するかどうかを設定します。
消灯する場合は、動作条件が満たされてから実際に消灯するまでの時間を設定します。
Off ／ 15分後／ 30分後／ 1時間後／ 3時間後
初期設定：Off（バックライトを消灯しません）

また、輝度やバックライトは、マウス操作や本体前面ボタン操作を行うと復帰します（PCのウェブブラウザーからの操作では復帰しません）。それ以外には下記のタイミングで復帰させることができます。

- [アラーム発生時に輝度を戻す] にチェックを入れると、アラーム発生時に輝度やバックライトを復帰させます。
- [障害発生時に輝度を戻す] にチェックを入れると、エラー発生時に輝度やバックライトを復帰させます。

[音声出力カメラ選択]

本機から出力する音声を固定します。固定する場合は出力する音声のカメラを選択します。
表示カメラ　　：固定しません（表示しているカメラの音声を出力）
カメラ1 ～カメラ16：固定します（選択カメラの音声を常時出力）
初期設定：表示カメラ

ネットワーク接続に関する設定を行う［ネットワーク］

設定メニュー［詳細設定］のネットワークページでは、本機のネットワークに関する設定を行います。
ネットワークページは［基本］タブ、［メール］タブ、［独自アラーム］タブ、［NTP/SNMP］タブで構成されています。

ネットワークの基本設定を行う ［基本］

ネットワーク接続に関する基本的な設定を行います。

メモ

- アドレスの各オクテットやポート番号は、右詰めで入力してください。（例：ポート番号が80の場合、00080と設定）。ここでは、設定値の左の「0」は表記していません。

■ネットワーク設定

本機のネットワーク設定を行います。

［IPアドレス］

本機のIPアドレスが表示されます。
［▲］ボタン／［▼］ボタンをクリックすると、アドレスを変更できます。
初期設定：192.168.0.250

［サブネットマスク］

本機を接続するネットワークの規則に従ってサブネットマスクを選択します。入力方法はIPアドレスと同じです。
初期設定：255.255.255.0

［デフォルトゲートウェイ］

本機を接続するネットワークの規則に従ってデフォルトゲートウェイのアドレスを選択します。入力方法はIPアドレスと同じです。
初期設定：192.168.0.1

［通信速度］

データの通信速度を選択します。

Auto	：自動設定します。
100M-Full	：100 Mbps全二重
100M-Half	：100 Mbps半二重
10M-Full	：10 Mbps全二重
10M-Half	：10 Mbps半二重

初期設定：Auto

重要

- 通信速度を変更して設定を終了すると、本機は再起動します。

■DNS設定

DNS（Domain Name System）に関する設定を行います。

[DNS]

DNSを使用するかどうかを設定します。

Off　　：DNSを使用しません。

Manual ：DNSを使用し、ホスト名から対応するIPアドレスを検索できるようにします。

初期設定：Off

[プライマリーサーバーアドレス]

[セカンダリーサーバーアドレス]

DNSを使用する場合、プライマリー DNSサーバーとセカンダリー DNSサーバーのIPアドレスを選択します。入力方法はIPアドレスと同じです。

初期設定：0.0.0.0

[ドメイン名]

本機のドメイン名を入力します。ドメイン名の先頭文字は英字にしてください。

入力は半角英数字（ハイフン(-)、ピリオド(.) を含む）3文字以上63文字以内にしてください。

初期設定：localdomain

■その他の設定

HTTPポート番号、FTPポート番号を設定するには、[詳細設定>] ボタンをクリックしてください。

詳細設定画面が表示されます。

[HTTPポート番号]

本機が画像を配信するときに使用するHTTPポート番号を設定します。

通常は変更する必要はありません。

1 ～ 65535

初期設定：80

メモ

- ネットワーク設定によっては、HTTPポート番号を変更した際、通信ができなくなる設定になっている場合があります。この場合、各ネットワークの管理者にお問い合わせください。
- 以下の番号とFTPポート番号に設定されている番号はHTTPポート番号に設定できません。
  20、21、23、25、42、53、67、68、69、79、105、110、123、161、162、546、547、995、10001、10002、10003、10004、10005、10006、10007

[FTPポート番号]

本機のFTPポート番号を設定します。

通常は変更する必要はありません。

1 ～ 65535

初期設定：21

メモ

- 以下の番号とHTTPポート番号に設定されている番号をFTPポート番号に設定することはできません。
  20、23、25、42、53、67、68、69、79、80、105、110、123、161、162、546、547、995、10001、10002、10003、10004、10005、10006、10007

[戻る] ボタン

設定を終了したら、クリックしてください。

メール通知に関する設定を行う［メール］

アラームメール通知、障害メール通知（☞取扱説明書　操作編（PDFファイル））機能を使用するための設定を行います。

［SMTPサーバーアドレス］
電子メールを送信するSMTPサーバーのIPアドレスまたはSMTPサーバー名を入力します。SMTPサーバー名は、設定メニュー［詳細設定］－［ネットワーク］－［基本］タブの「DNS」を「Manual」にしたときのみ使用できます。入力は半角英数字（ハイフン(-)、ピリオド(.)含む）255文字以内にしてください。

［SMTPポート番号］
SMTPサーバーのポート番号を入力します。
　1 ～ 65535
初期設定：25

［POPサーバーアドレス］
POP before SMTP認証で使用するPOPサーバーのIPアドレスまたはPOPサーバー名を入力します。POPサーバー名は、設定メニュー［詳細設定］－［ネットワーク］－［基本］タブの「DNS」を「Manual」にしたときのみ使用できます。入力は半角英数字（ハイフン(-)、ピリオド(.)含む）255文字以内にしてください。

［認証方法］
メールを送信するときの認証方法を選択します。
　なし／ POP before SMTP ／ SMTP
初期設定：なし

［認証方法－ユーザー名］
認証に使用するユーザー名を入力します。入力はメモに記載の半角英数字／記号（&を除く）32文字以内にしてください。

［認証方法－パスワード］
上記「ユーザー名」に対応し認証に使用するパスワードを設定します。入力はメモに記載の半角英数字／記号(&を除く)32文字以内にしてください。画面上は「＊」または「●」で表示されます。

メモ
●入力できる文字について
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ! # $ % & ‘ ( ) * + , - . / : ; ＜ ＝ ＞ ? @ [¥] ^ _ ` { ¦ } ~

［送信元メールアドレス］
送信元メールアドレスを入力します。入力したアドレスがメール受信者のFrom（差出人）欄に表示されます。入力は半角英数字（ハイフン(-)、ピリオド(.)、@、_ を含む）127文字以内にしてください。
初期設定：NWDR

［送信先メールアドレス－通知先1 ～通知先4］
アラームメール、障害メール（☞取扱説明書　操作編（PDFファイル））の送信先メールアドレスを設定します。入力は半角英数字（ハイフン(-)、ピリオド(.)、@、_を含む）255文字以内にしてください。
また、送信したいメール種別（障害／アラーム）にチェックを入れます。
送信先は4件まで設定できます。

アラームの独自通知設定を行う［独自アラーム］

イベントやエラー発生時、その情報をPCに通知するための設定を行います。
発生したイベントやエラー情報を受信し表示するには通知先のPCに専用ソフトウェア（別売り）がインストールされている必要があります。
専用ソフトウェアについては、本機付属のCD-ROM内の「readme.txt」をお読みください。

［ポート番号（本機→PC)］
送信先のPCのポート番号を入力します。
通常は初期設定から変更する必要はありません。
初期設定：1818

［リトライ回数］
PCに送信できなかった場合にリトライする回数を設定します。
　0～8（回）（1回単位で設定可）
初期設定：2

メモ
- PCに送信できないことがある場合は、リトライ回数を増やして設定してください。

［送信先アドレス－通知先1 ～通知先8］
送信先のPCのアドレスを設定します。通知先1 ～ 8にIPアドレスまたはホスト名を入力します。ホスト名は、設定メニュー［詳細設定］－［ネットワーク］－［基本］タブの「DNS」を「Auto」にしたときのみ使用できます。
送信先として8件まで設定できます。
入力は半角英数字（ハイフン(-)、ピリオド(.) を含む）255文字以内にしてください。

ネットワーク時刻合わせやSNMPに関する設定を行う［NTP/SNMP］

NTP（Network Time Protocol）サーバーとSNMP設定を行います。

■NTP設定

［NTP自動時刻合わせ］

NTPサーバーを基準に時刻合わせするかどうかを設定します。

On：自動時刻合わせをします。

Off：自動時刻合わせをしません。

初期設定：Off

［NTPサーバーアドレス］

NTPサーバーを使って時刻合わせを行う場合、NTPサーバーのアドレスまたはNTPサーバー名を入力します。

NTPサーバー名は、設定メニュー［詳細設定］－［ネットワーク］－［基本］タブの「DNS」を「Manual」にしたときのみ使用できます。

入力は半角英数字（ハイフン(-)、ピリオド(.)含む）255文字以内にしてください。

重要

- 本機をカメラに対するNTPサーバーとして動作させることができます。その場合、カメラ側のポート番号は「123」を設定してください。カメラの設定については、接続するカメラの取扱説明書をお読みください。

■SNMP設定

SNMPマネージャーと接続して、本機の状態を確認する場合などに設定します。

各項目の入力文字は、「入力できる文字について」（☞68ページ）の半角英数字と記号です。

［コミュニティー名］

SNMP認証に使用する名前を入力します（32文字以内）。

［機器名］

本機をSNMPシステムで管理するための名前を入力します（255文字以内）。

例：No1

［機器の物理的位置］

本機の設置場所を入力します（255文字以内）。

例：2F

［連絡先］

本機管理者の連絡先（メールアドレスなど）を入力します（255文字以内）。

ユーザー管理に関する設定を行う[ユーザー管理]

設定メニュー［詳細設定］のユーザー管理ページでは、本機を操作する際のユーザー認証の有無や管理者情報の登録、操作レベルの設定などを行います。
ユーザー管理ページは［基本］タブ、［ユーザー登録］タブ、［管理者設定］タブで構成されています。

ユーザー管理の基本設定を行う［基本］

本機をマウス操作する際のログイン設定や、ネットワーク操作のユーザー認証、ユーザーレベル各種の設定を行います。

■本体操作
本機に電源を入れたときなどに、自動的にログインを行うための設定を行います。

［オートログイン］
自動的にログインするかどうかを設定します。
On ： 自動的にログインします。
Off ： 自動的にログインしません。ログアウト状態から本機の操作を行う際は、ログイン操作が必要になります。
初期設定：On

［オートログインユーザー］
「オートログイン」を「On」にした場合、ここで登録されたユーザーがオートログインできます。本機にユーザー登録されているユーザーの中からオートログインユーザーを設定します。
初期設定：ADMIN

［簡易ログイン］
ログイン操作の際にログインユーザー名を入力するか選択するかを設定します。
Off：ユーザー名の入力が必要です。
On ： 表示されたユーザー名から選択します。
初期設定：Off

［オートログアウト］
ライブ画像表示中、操作しない状態になってから自動的にログアウトするまでの時間を設定します。
Off：自動的にログアウトしません。
1分後／ 3分後／ 5分後／ 30分後
初期設定：Off

メモ
- 「オートログイン」が「On」に設定されている場合、「オートログアウト」を「Off」以外に設定しても自動的にログアウトしません。
- 不正操作を防止するために「オートログアウト」を「Off」以外に設定して運用することをお勧めします。

ユーザー管理に関する設定を行う［ユーザー管理］（つづき）

■ネットワーク操作
PCから本機を操作する際、ユーザー認証を行うかどうかを設定します。

［ユーザー認証］
ユーザー認証を行うかどうかを設定します。
On：ユーザー認証操作後にログインします。
Off：ユーザー認証なしでログインします。
初期設定：On

■ユーザーレベル設定
各ユーザーレベル（管理者/マネージャー／オペレーター／ビューワー）でできるようにしたい操作を選択しチェックを入れます。操作出来ないように設定する場合は、空欄のままにします。管理者の設定は変更できません。また、ログアウト時にはライブ操作（画像の切り換え）のみ操作できるよう設定できます。

メモ
- ユーザーレベル設定の変更ができるのは「管理者」でログインしたときだけです。
- 各ユーザーレベルでできる操作は、初期設定では次のようになっています。
  管理者/マネージャー
  ：本機やカメラの設定などすべての操作ができる本機の管理者
  オペレーター
  ：本機の設定の一部、アラーム復帰などができる権限の高いオペレーター
  ビューワー
  ：監視や再生のみ行う一般のオペレーター
  ※管理者とマネージャーは、すべての操作が可能です。管理者とマネージャーの違いは、管理者の方がマネージャーより優先度が高く、同時に同じ操作を行った場合は、管理者の操作が優先されます。
- 前ページの画面は初期設定状態です。
- チェックの入っていない操作（制限されている操作）をそのレベルのユーザーが実行しようとした場合、ログイン画面を表示して、操作可能なレベルのユーザーがログインするよう促すことがあります。

設定対象の操作について

ユーザーごとに操作の可否を設定できるのは、以下の操作です。

操作	説明
ライブ操作（表示カメラ切換）	メインモニターに表示するカメラを変更できます。
カメラ制御	パン／チルトなどカメラの制御が行えます。
サーチ・再生	録画した画像の再生や動作検知サーチができます。
コピー	録画された画像をSDカードなどのメディアにコピーできます。
アラーム復帰	アラーム動作を解除できます。
エラー復帰	エラー動作を解除できます。
設定	設定メニューを表示して、設定内容を変更できます。
カメラ画像表示	各カメラの画像表示と音声出力ができます。カメラ画像表示の設定をするには、［設定>］ボタンをクリックしてください（☞次ページ）。

※「設定」は管理者のみが操作可能とすることをお勧めします。

カメラごとのユーザーレベルを設定する

各ユーザーレベル（オペレーター、ビューワー、ログアウト時）で画像表示できるカメラを選択し、チェックを入れます。
表示しないように設定する場合は、チェックを外して空欄にします。管理者／マネージャーの設定は変更できません。

［戻る］ボタン
設定を終了したらクリックします。［基本］タブに戻ります。

ユーザー情報を登録／変更／削除する［ユーザー登録］

ユーザー名やパスワードの新規登録／変更／削除を行います。

■新規ユーザー情報の登録
ユーザー名やパスワード、操作レベルなど、本機を使用するユーザー情報を登録します。
登録できるユーザー数は16ユーザーまでです。

［ユーザー名］
ソフトキーボード（☞37ページ）からユーザー名を入力します。ユーザー名は半角英数字5文字以上14文字以内で設定してください。

ユーザー管理に関する設定を行う［ユーザー管理］（つづき）

［パスワード］
ソフトキーボード（☞37ページ）からパスワードを入力します。パスワードは半角英数字5文字以上8文字以内で設定してください。登録したパスワードは、内容にかかわらず「*****」と表示されます。

重要
- パスワードはセキュリティを確保するために、定期的に変更してください。

［レベル］
操作レベルを選択します。
操作できる機能は［基本］タブ（☞71ページ）で設定します。
　マネージャー／オペレーター／ビューワー
※管理者とマネージャーは同じレベルですが、優先度は管理者の方が高くなります。
初期設定：オペレーター

［スタートモニター］
ログイン直後に表示するライブ画像の表示画面を選択します。
　カメラ1 ～ 16：選択したカメラの画像を1画面表示します。
　4分割画面A ／ 4分割画面B ／ 4分割画面C ／
　4分割画面D ／ 9分割画面／ 16分割画面
（各設定値の詳細は取扱説明書　操作編（PDFファイル）をお読みください）
初期設定：4分割画面A

メモ
- スタートモニターの設定範囲はカメラのライセンス数によって変わります。
- 9分割画面／ 16分割画面を設定していると、PCのウェブブラウザーでログインしたとき、カメラ1 ～ 4の4画面表示でライブ画像が表示されます。

［登録］ボタン
設定されたユーザー情報を新規登録します。

■登録済みユーザー情報の変更／削除
すでに登録したユーザー情報を変更または削除します。［ユーザー名］で変更または削除するユーザーを選択してください。変更する項目については、新規登録の場合と同じです。

［変更］ボタン
変更したユーザー情報を登録します。

［削除］ボタン
選択したユーザーを削除します。

管理者情報を変更する［管理者設定］

管理者のパスワードやスタートモニターなど、管理者情報を変更します。

［管理者名］
管理者名をソフトキーボード（☞37ページ）から入力します。管理者名は半角英数字5文字以上14文字以内で設定してください。
初期設定：ADMIN

［パスワード］
管理者用のパスワードをソフトキーボード（☞37ページ）から設定します。パスワードは半角英数字5文字以上8文字以内で設定してください。
登録したパスワードは、内容にかかわらず「*****」と表示されます。
初期設定：12345

重要
- 管理者名とパスワードはセキュリティを確保するために、初期設定から必ず変更してください。また、パスワードは定期的に変更してください。

［パスワード（再入力）］
確認のため、「パスワード」で入力したパスワードを再度入力します。

［レベル］
操作レベルを表示します。管理者は「管理者」に設定されており、変更できません。

［スタートモニター］
ログイン直後に表示するライブ画像の表示画面を選択します。（☞74ページ）

［変更］ボタン
変更した管理者情報を登録します。

メンテナンスに関する設定を行う［メンテナンス］

設定メニュー［詳細設定］のメンテナンスページでは、本機のバージョン情報やシステム情報の表示、HDDに関する設定などを行います。また、設定メニューでの設定内容の初期化、各種ログの確認、ライセンスの登録などもこのメンテナンスページで行います。
メンテナンスページは［システム情報］タブ、［HDD情報］タブ、［システム管理］タブで構成されています。

バージョンなどシステム情報を確認する［システム情報］

本機のバージョン情報（ソフトウェア、ハードウェア）、シリアル番号、ネットワーク情報（MACアドレス、IPアドレス、通信速度）、本体内部の温度情報、最高温度記録などが表示されます。

メモ
- メンテナンスページ表示中は、システム情報は更新されません。
- 通信速度は、設定値と（）内に実際の通信速度が表示されます。
- 温度情報は、電源を入れて約1時間経過してから表示されます。1時間経過するまでは［－－］と表示されます。

ディスク情報を確認する［HDD情報］

本機のHDDの容量や稼働時間、録画画像の日時範囲などを表示します。

メモ
- メンテナンスページ表示中は、HDD情報は更新されません。
- DG-NV200/2Mは、「HDD1」と「HDD2」が表示されます。

[容量]
HDDの容量を表示します。

[稼働時間]
HDDの稼働時間を表示します。

[ステータス]
本機のHDDの状態を表示します。
正常　　：正常に動作しています。
再生専用：再生専用のHDD（録画はされません）
切り離し：HDD でエラーが発生し、運用から切り離されたHDD
エラー　：フォーマット中にエラーが発生したHDD
空欄　　：HDD未接続

[録画画像の日時範囲]
HDDに録画されている日時の範囲を表示します。

[推定上書き周期]
現在までの録画実績（最も古い録画データの日時、現在日時、HDD容量）に基づいて、HDDの上書き周期を算出し、目安表示します。

メモ
- 上書き録画中は最も古い録画データ日時と最も新しい録画データ日時から上書き周期を算出します。
- 録画実績が多いほど上書き周期の算出精度が高まります。
- 録画条件を変更した場合や、データ自動消去でデータが消去された場合などは、正しい上書き周期が表示されません。

システムに関する設定や操作を行う [システム管理]

障害発生時の動作設定やHDD内のデータの自動消去の設定、ログの表示などを行います。また、ライセンスの登録、設定の初期化、ソフトウェアのバージョンアップなど、全般的なメンテナンス作業をここで行います。

■システム設定

[障害ブザー鳴動時間]
本機に障害が発生したとき、ブザーを鳴らす時間を選択します。「0秒」に設定するとブザーを鳴らしません。
0秒／ 2秒／ 5秒／ 10秒／ 20秒／ 30秒／ 1分
Ext.：障害ブザー鳴動停止の操作をするまでブザー鳴動し続けます。
初期設定：2秒

メモ
- ブザー鳴動の停止方法については、取扱説明書 操作編（PDFファイル）をお読みください。

［障害出力時間］

本機に障害（HDD異常、カメラ異常、機器異常、録画異常、ネットワーク異常）が発生したときに外部に異常を知らせる信号を出力する時間を設定します。「0秒」に設定すると信号を出力しません。

0秒／ 2秒／ 5秒／ 10秒／ 20秒／ 30秒／ 1分
Ext.：障害復帰操作をするまで信号を出力し続けます。

初期設定：2秒

メモ

●障害復帰操作については、取扱説明書　操作編（PDFファイル）をお読みください。

［ネットワークリンク外れ検出］

本機のネットワークポートのネットワーク回線切断を検出するかどうかを選択します。

On　：ネットワーク回線切断を検出します。
Off　：ネットワーク回線切断を検出しません。

初期設定：Off

［HDD稼働時間警告］

HDD の稼働時間が設定値に達すると、警告動作を行うよう設定します。「Off」に設定すると、警告動作を行いません。

Off ／ 10000時間／ 20000時間／ 30000時間／ 40000時間／ 50000時間

初期設定：20000時間

［データ自動消去］

本機のHDD 内のデータを録画されてから経過した日数により自動的に消去するように設定します。

Off ／ 1日／ 2日／ 3日／ 4日／ 5日／ 6日／ 7日／ 8日／ 9日／ 10日／ 14日／ 30日／ 45日／ 60日／ 90日／ 120日／ 150日／ 180日

初期設定：Off（データを自動消去しません）

■ログ情報

以下の履歴を確認できます。

●アクセスログ　　：本機へのアクセス履歴
●ネットワークログ ：ネットワークの障害履歴

それぞれの履歴を確認するには、［表示>］ボタンをクリックしてください。

アクセスログについて

本機にログイン／ログアウトした際の日時とユーザー名、またはIPアドレスを一覧で表示します。
履歴は100件まで記録されます。
100件を超えると、古い履歴から上書きされます。

**LOGIN ／ **LOGOUT
：ユーザーがログイン／ログアウト
CONFIG LOGIN ／ CONFIG LOGOUT
：HDD管理へログイン／ログアウト
UPDATE SETTINGS
：設定を変更したとき
POWER ON
：本機を起動したとき
POWER ON（UPDATE）
：ソフトウェアの更新後に再起動したとき
POWER ON（RESTART SWITCH）
：リスタートボタンで再起動したとき

**にはユーザー名またはIPアドレスが表示されます。

ネットワークログについて
ネットワーク障害の発生日時と障害内容を一覧で表示します。
履歴は100件まで記録されます。100件を超えると、古い履歴から上書きされます。ログの詳細については92ページをお読みください。

メモ
●ログ情報画面表示中は、情報更新はされません。

■保守・サービス用機能
本機の運用やカメラ追加のためのライセンス登録や、メンテナンスに必要な操作・設定を行います。

メモ
●SDカードが未フォーマットの場合は、本機でフォーマットしてからご使用ください。フォーマットのしかたは、取扱説明書 操作編（PDFファイル）をお読みください。

[ライセンス登録]
本機を使用するには、キー管理システムより解除キー番号を取得して登録する必要があります。また、カメラ拡張のライセンスを追加登録することで最大16台のカメラが使用できるようになります。
カメラの追加はお買い上げの販売店にご相談ください。
[設定>]ボタンをクリックするとライセンス登録画面が表示されます。（☞80ページ）

[設定の初期化]
設定メニューの設定内容を初期化します。[実行]ボタンをクリックして表示された確認画面から初期化を実行します。

メモ
●以下の設定項目は初期化、読み込みされません。
- HTTPポート番号
- FTPポート番号
- ネットワークポート
- DNS設定
- ライセンス関連の各種番号

[設定データの保存（SDカードへ）]
設定メニューの設定内容をSDカードに保存します。[実行]ボタンをクリックして表示された確認画面から保存します。

[設定データの読み込み（SDカードから）]
SDカードに保存されている設定メニューの設定内容を本機に読み込みます。[実行]ボタンをクリックして表示された確認画面から読み込みます。

[顔照合データの保存（SDカードへ）]
顔照合データをSDカードに保存します。[実行]ボタンをクリックして表示された確認画面から保存します。（顔照合機能搭載モデルのみ）

[顔照合データの読み込み（SDカードから）]
SDカードに保存されている顔照合データを本機に読み込みます。[実行]ボタンをクリックして表示された確認画面から読み込みます。（顔照合機能搭載モデルのみ）

[ソフトウェアの更新]
SDカードに保存されている本機ソフトウェアを読み込み、バージョンアップします。
[実行]ボタンをクリックして表示された確認画面から更新処理を開始します。
ソフトウェア更新は管理者のみが実行できます。

メモ
●ソフトウェアの更新については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

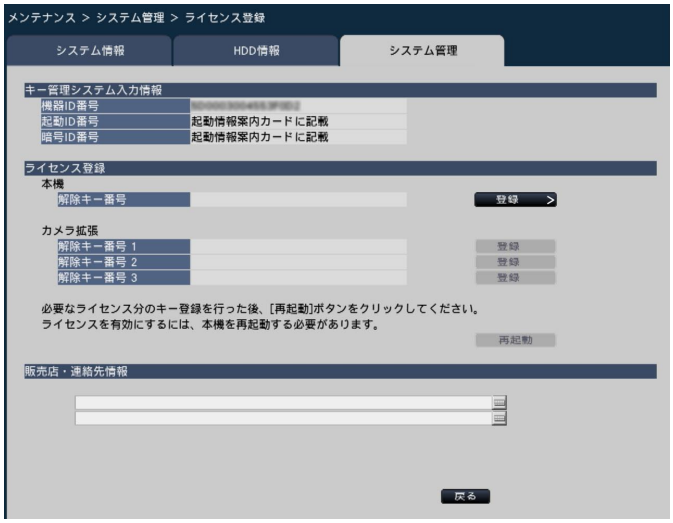
[その他の機能]
メンテナンス用データの保存画面が表示されます。（☞81ページ）

本機やカメラのライセンスを登録する［ライセンス登録］

本機を運用するためのライセンス登録のほか、カメラを追加するためのライセンスを登録します。本機購入時はカメラ4台分のライセンスが付属されています。ライセンスを追加することで、9台、12台、16台と、カメラを追加することができます。
なお、ライセンス登録には、キー管理システムから取得した解除キー番号が必要です。本機の解除キー番号の取得方法は、付属の「起動情報案内カード」をお読みください。また、カメラ拡張の解除キー番号の取得方法は、カメラ拡張キット（DG-NVE20：別売り）の「起動情報案内カード」をお読みください。

重要

- 以下の場合は必ず最後に［再起動］ボタンをクリックし、本機を再起動させてください。本機が再起動しないと各ライセンスが有効になりません。
  - 本機の解除キー番号を登録したとき
  - カメラ拡張の解除キー番号を登録したとき
- 追加したカメラは、「らくらくスタート」（☞39ページ）でカメラ登録してください。また、各設定値は初期設定となりますので、必要に応じて各種設定を行ってください。



［キー管理システム入力情報］
解除キー番号を取得するためのID番号です。本機に付属の「起動情報案内カード」には、キー管理システムへのアクセス方法が記載されています。

［ライセンス登録］
本機を運用したり、カメラを追加したりするための解除キー番号を登録します。

［本機－解除キー番号］
キー管理システムから取得した解除キー番号を入力します。入力欄右の［登録］ボタンをクリックすると、ライセンス登録画面が表示されます。本機を初めて起動したときは、必ず解除キー番号を登録してください。

［カメラ拡張－解除キー番号1 ～ 3］
カメラを追加する場合、カメラ拡張キットの解除キー番号を入力します。解除キー番号1を登録すると9台、解除キー番号2を登録すると12台、解除キー番号3を登録すると合計16台のカメラが接続できるようになります。解除キー番号の取得方法は、カメラ拡張キットに付属の「起動情報案内カード」をお読みください。入力欄右の［登録］ボタンをクリックすると、ライセンス登録画面が表示されます。

メモ
- ライセンスを登録したあとは、必ず［再起動］ボタンをクリックしてください。本機が再起動し、登録したライセンスが有効になります。

［販売店・連絡先情報］
販売店名や電話番号などの情報をソフトキーボード（☞37ページ）から2つまで登録できます。各欄とも、32文字まで入力できます。

登録が完了したら、［再起動］ボタンをクリックします。本機が再起動し登録した内容が、本機に反映されます。

［戻る］ボタン
ライセンスを有効にしない場合や、「販売店・連絡先情報」のみを変更した場合にクリックすると、［システム管理］タブに戻ります。

メンテナンス用データをSDカードに保存する

履歴データなどをSDカードに保存します。保存されるデータは、すべてのログになります。
SDカードが未フォーマットの場合は、本機でフォーマットしてからご使用ください。フォーマットのしかたは、取扱説明書　操作編（PDFファイル）をお読みください。

STEP1
［実行］ボタンをクリックして表示された確認画面から保存します。
→履歴データのSDカードへの保存が開始されます。

STEP2
保存が完了したら、［戻る］ボタンをクリックします。

HDDを管理する［HDD管理］

設定メニュー［詳細設定］のHDD管理ページでは、HDDの容量の確認や、HDDの初期化（フォーマット）など、HDDに関する操作を行います。

重要

- HDD管理ページを表示すると､HDD管理に関する操作以外のすべての動作（録画や再生など）は停止します。
- HDD管理ページを表示すると、本機にログインしている他のユーザーは強制的にログアウトします。

HDD管理ページの表示のしかた

STEP1

設定メニュー［詳細設定］の［HDD管理］ボタンを選択します。

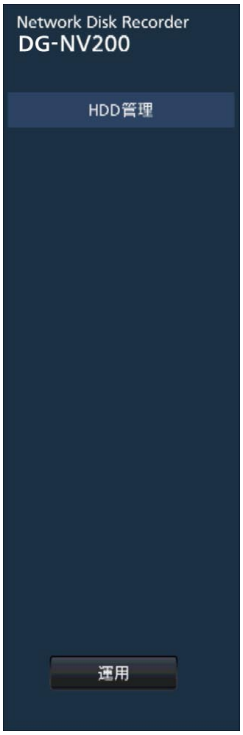
→管理者名とパスワードの入力画面が表示されます。すでに管理者でログインしていた場合にも表示されます。

STEP2

「管理者名」と「パスワード」を入力し、［OK］ボタンをクリックします。

→HDD管理ページが表示されます。

HDD管理ページから通常の運用画面に戻るには［運用］ボタンをクリックします。



HDDの情報を確認する［HDD情報］

本機のHDDの容量や稼働時間、ステータス情報を表示します。

「HDD情報」に表示される項目については、設定メニュー［詳細設定］の［メンテナンス］－［HDD情報］タブをお読みください。（☞76ページ）

HDDを初期化する［HDDのフォーマット］

HDDを初期化します。本機のHDDを交換／追加したとき、HDDの初期化を行う必要があります。

重要

●HDDを初期化すると、初期化したHDDに記録されていた録画画像はすべて消去されます。

STEP1

［HDDのフォーマット］で［実行>］ボタンをクリックします。

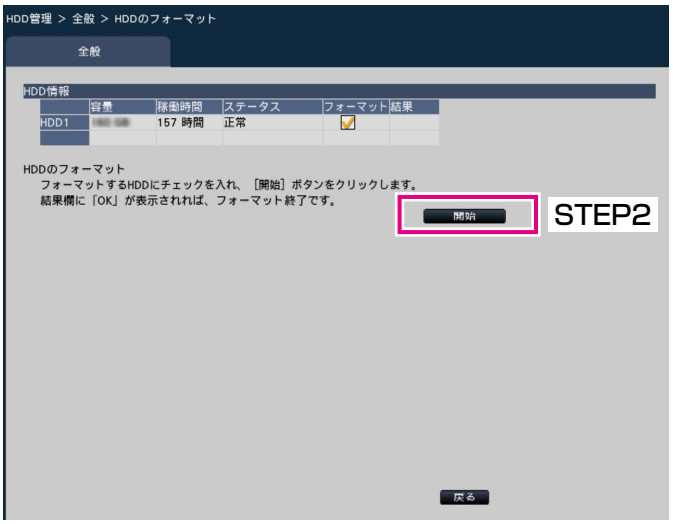
→HDDフォーマット画面が表示されます。

STEP2

フォーマット欄でフォーマットするHDDにチェックを入れ、［開始］ボタンをクリックします。

結果欄に「OK」が表示されたら、［戻る］ボタンをクリックしてください。

「エラー」が表示された場合は、再度フォーマットを行ってください。



HDDの取り外しと再生専用HDDの組み込みについて

HDDの交換を行う場合は取り外し処理を、再生専用のHDDを取り付ける場合は組み込み処理を行う必要があります。
HDDの取り外しおよび取り付けとその処理は、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

重要
●組み込み処理を行うと、HDDのデータは消去されます。

設定項目一覧（設定メニュー）

簡単設定（らくらくスタート）

タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）		設定範囲	初期設定
日付・時刻合わせ	—		2010/1/1 0:00 ～ 2034/12/31 23:59	20nn/mm/1 0:00 （nn, mm：本体シリアル番号から算出する）
録画設定	録画設定 （全カメラ同一設定）	フレームレート	1 ips、3 ips、5 ips、 10 ips、15 ips、30 ips	10ips
		画質	SF、FQ、NQ	FQ
		推定録画日数（参考値）	（計算結果を表示）	（計算結果を表示）

基本設定

（備考：●はらくらくスタートで設定できる項目）

メニュー名	タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）		設定範囲	初期設定	備考
日時・Language	日付・時刻合わせ	日付・時刻		2010/1/1 0:00 ～ 2034/12/31 23:59	20nn/mm/1 0:00 （nn, mm：本体シリアル番号から算出する）	●
	日時表示設定	表示形式	日付	yyyy/mm/dd、Mmm/dd/yyyy、 dd/Mmm/yyyy、mm/dd/yyyy、 dd/mm/yyyy	yyyy/mm/dd	
			時刻	24時間、12時間	24時間	
		タイムゾーン	タイムゾーン選択	GMT-12:00、GMT-11:00、 GMT-10:00、GMT-9:00、 GMT-8:00、GMT-7:00、 GMT-6:00、GMT-5:00、 GMT-4:30、GMT-4:00、 GMT-3:30、GMT-3:00、 GMT-2:00、GMT-1:00、 GMT、GMT+1:00、 GMT+2:00、GMT+3:00、 GMT+3:30、GMT+4:00、 GMT+4:30、GMT+5:00、 GMT+5:30、GMT+5:45、 GMT+6:00、GMT+6:30、 GMT+7:00、GMT+8:00、 GMT+9:00、GMT+9:30、 GMT+10:00、GMT+11:00、 GMT+12:00、GMT+13:00	GMT+9:00	
			サマータイム	Out、Auto	Out	
			サマータイム切換（In）	2010/1/1 0:00 ～ 2034/12/31 23:59	--	
			サマータイム切換（Out）	2010/1/1 0:00 ～ 2034/12/31 23:59	--	
		自動時刻合わせ		Off、On	Off	
	Language	Language		日本語、English、Français、 Español、Deutsch、Italiano、 Русский	日本語	
カメラ	カメラ登録	品番		（表示のみ）	（表示のみ）	
		IPアドレス		（表示のみ）	（表示のみ）	
		圧縮方式		（表示のみ）	（表示のみ）	
		障害情報		（表示のみ）	（表示のみ）	
		登録情報の変更	品番	対応するカメラの品番	（空欄）	
			IPアドレス	（IPアドレス）	（空欄）	●
			圧縮方式	H.264、MPEG-4、MJPEG、－	（空欄）	
			ユーザー名	（テキスト入力）	（空欄）	

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

メニュー名	タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）		設定範囲	初期設定	備考
カメラ	カメラ登録	登録情報の変更	パスワード	（テキスト入力）	（空欄）	
			ポート番号	（ポート番号）	80	
	カメラ設定	日時表示	設定送信（表示）	チェック　有／無	有	
			表示	Off、On	On	
			設定送信（位置）	チェック　有／無	有	
			位置	左上、左下、右上、右下	左上	
			送信するカメラの選択	チェック　有／無	（登録済みカメラは有）	
		画像内文字表示	設定送信（表示）	チェック　有／無	有	
			表示	Off、On	On	
			設定送信（画像内文字）	チェック　有／無	有	
			画像内文字	（テキスト入力）	（空欄）	
			送信するカメラの選択	チェック　有／無	（登録済みカメラは有）	
		リフレッシュ間隔	リフレッシュ間隔	0.2秒、0.5秒、1秒、2秒、3秒	1秒	
			送信するカメラの選択	チェック　有／無	（登録済みカメラは有）	
		動作検知アラーム	動作検知アラーム	Off、On	On	
			送信するカメラの選択	チェック　有／無	（登録済みカメラは有）	
録画・イベント	録画設定	録画する曜日	月、火、…、日	チェック　有／無	有	
		録画する時間帯	タイムテーブル1-スケジュール録画（時間帯）	--:--、00:00 ～ 24:00	時間帯1：00:00 ～ 24:00 時間帯2：--:-- ～ --:-- 時間帯3：--:-- ～ --:--	
			タイムテーブル1-スケジュール録画（HDD節約モード）	チェック　有／無	時間帯1：無 時間帯2：無 時間帯3：無	
		録画設定（全カメラ同一設定）	フレームレート	1 ips、3 ips、5 ips、10 ips、15 ips、30 ips	10ips	●
			画質	SF、FQ、NQ	FQ	●
			推定録画日数（参考値）	（計算結果を表示）	（計算結果を表示）	
		スケジュール詳細設定	録画する曜日（月、火、…、日）	タイムテーブル1、タイムテーブル2、Off	タイムテーブル1	
			イベント録画（イベント録画時間）	2秒、5秒、10秒、20秒、30秒、1分、2分、3分、5分、10分、15分、Manual、Ext.	30秒	
			イベント録画（プレ録画時間）	0秒、5秒、10秒、15秒	0秒	
			録画する時間帯（タイムテーブル1-スケジュール録画-時間帯）	--:--、00:00 ～ 24:00	時間帯1：00:00 ～ 24:00 時間帯2：--:-- ～ --:-- 時間帯3：--:-- ～ --:--	
			録画する時間帯（タイムテーブル1-スケジュール録画-HDD節約モード）	チェック　有／無	時間帯1：無 時間帯2：無 時間帯3：無	
			録画する時間帯（タイムテーブル1-イベント録画）	--:--、00:00 ～ 24:00	時間帯1：00:00 ～ 24:00 時間帯2：--:-- ～ --:-- 時間帯3：--:-- ～ --:--	
			録画する時間帯（タイムテーブル1-イベント録画-メール）	チェック　有／無	時間帯1：無 時間帯2：無 時間帯3：無	

メニュー名	タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）		設定範囲	初期設定	備考
録画・イベント	録画設定	スケジュール詳細設定	録画する時間帯（タイムテーブル1-イベント録画-独自アラーム）	チェック　有／無	時間帯1：無 時間帯2：無 時間帯3：無	
			録画する時間帯（タイムテーブル2-スケジュール録画-時間帯）	--:--、00:00 ～ 24:00	時間帯1：--:-- ～ --:-- 時間帯2：--:-- ～ --:-- 時間帯3：--:-- ～ --:--	
			録画する時間帯（タイムテーブル2-スケジュール録画-HDD節約モード）	チェック　有／無	時間帯1：無 時間帯2：無 時間帯3：無	
			録画する時間帯（タイムテーブル2-イベント録画）	--:--、00:00 ～ 24:00	時間帯1：--:-- ～ --:-- 時間帯2：--:-- ～ --:-- 時間帯3：--:-- ～ --:--	
			録画する時間帯（タイムテーブル2-イベント録画-メール）	チェック　有／無	時間帯1：無 時間帯2：無 時間帯3：無	
			録画する時間帯（タイムテーブル2-イベント録画-独自アラーム）	チェック　有／無	時間帯1：無 時間帯2：無 時間帯3：無	
		録画詳細設定（カメラ別）	圧縮方式	（登録情報を表示）	（登録情報を表示）	
			解像度	QVGA（320x240）、 VGA（640x480）、 SXVGA（1280x960）	VGA（640x480）	
			レート	1 ips、3 ips、5 ips、10 ips、 15 ips、30 ips	10 ips	●
			画質	SF、FQ、NQ	FQ	●
			録音	Off、On	Off	
			録画	Off、On	On	
			節約	適用、除外	適用	
			推定記録日数（参考値）	（計算結果を表示）	（計算結果を表示）	
	イベント設定	アラーム動作	出力時間	0秒、2秒、5秒、10秒、20秒、 30秒、1分、Ext.、Rec.	2秒	
			ブザー鳴動時間	0秒、2秒、5秒、10秒、20秒、 30秒、1分、Ext.、Rec.	2秒	
			自動復帰時間	2秒、5秒、10秒、20秒、30秒、 1分、3分、5分、Ext.	Ext.	
			メッセージ表示	Off、On	On	
		端子アラーム詳細設定	動作モード	Off、録画のみ、録画＋アラーム動作	録画＋アラーム動作	
			端子別設定（録画カメラ）	Off、カメラ1、･･･、カメラ16	端子番号と同じカメラ番号	
			端子別設定（プリセット）	001 ～ 256、---	---	
			端子別設定（端子出力）	Off、On	On	
			端子別設定（端子入力）	N.O.、N.C.	N.O.	
		カメラサイトアラーム詳細設定	動作モード	Off、録画のみ、録画＋アラーム動作	録画＋アラーム動作	
			カメラ別設定(録画カメラ)	Off、カメラ1、･･･、カメラ16	カメラ番号	
			カメラ別設定(プリセット)	001 ～ 256、---	---	
			カメラ別設定（端子出力）	Off、On	On	
		コマンドアラーム詳細設定	動作モード	Off、録画のみ、録画＋アラーム動作	録画＋アラーム動作	
			カメラ別設定(録画カメラ)	Off、カメラ1、･･･、カメラ16	カメラ番号	
			カメラ別設定(プリセット)	001 ～ 256、---	---	
			カメラ別設定（端子出力）	Off、On	On	
		顔照合アラーム詳細設定	動作モード	Off、アラーム動作	Off	
			カメラ別設定(顔照合出力)	Off、On	On	

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

メニュー名	タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）		設定範囲	初期設定	備考
録画・イベント	イベント設定	顔照合登録	顔照合登録リスト（照合感度）	1（低）、2、3、4、5（高）	3	
			顔照合登録リスト(顔画像)	未設定	未設定	
			顔照合登録リスト（登場日時）	（表示のみ）	（表示のみ）	
			顔照合登録リスト（名称）	（テキスト入力）	Person01、…、Person16	
			顔照合登録リスト（照合）	する、しない	しない	
			照合エリア設定	（画面上の任意のエリア）	照合エリア1：全エリア 照合エリア2 ～ 4 ：未設定	
	高度な設定	録画動作		Off、On	On	
		アラームマスク時間		2秒、3秒、5秒、10秒	2秒	
		サイトアラーム受信ポート番号		（ポート番号）	1818	

詳細設定

メニュー名	タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）		設定範囲	初期設定	備考
モニター	メインモニター	カメラタイトル	表示	Off、On	On	
			位置	左上、左下、右上、右下	右上	
			カメラタイトル	（テキスト入力）	CAM1、…、CAM16	
	ライブ専用モニター	ライブシーケンス	切換間隔	10秒、15秒、30秒	10秒	
			表示するカメラの選択	チェック　有／無	無	
			シークレットビュー	Off、On	Off	
	高度な設定	ECOモニター機能	輝度を低減	Off、1分後、3分後、5分後、10分後	Off	
			バックライト消灯	Off、15分後、30分後、1時間後、3時間後	Off	
			アラーム発生時に輝度を戻す	チェック　有／無	有	
			障害発生時に輝度を戻す	チェック　有／無	有	
		音声出力カメラ選択		表示カメラ、カメラ1、…、カメラ16	表示カメラ	
ネットワーク	基本	ネットワーク設定	IPアドレス	（IPアドレス）	192.168.0.250	
			サブネットマスク	（IPアドレス）	255.255.255.0	
			デフォルトゲートウェイ	（IPアドレス）	192.168.0.1	
			通信速度	Auto、100M-Full、100M-Half、10M-Full、10M-Half	Auto	
		DNS設定	DNS	Off、Manual	Off	
			プライマリーサーバーアドレス	（IPアドレス）	0.0.0.0	
			セカンダリーサーバーアドレス	（IPアドレス）	0.0.0.0	
			ドメイン名	（テキスト入力）	localdomain	
		詳細設定	HTTPポート番号	（ポート番号）	80	
			FTPポート番号	（ポート番号）	21	
	メール	メール設定	SMTPサーバーアドレス	（テキスト入力）	（空欄）	
			SMTPポート番号	（ポート番号）	25	
			POPサーバーアドレス	（テキスト入力）	（空欄）	
			認証方式	なし、POP before SMTP、SMTP	なし	
			ユーザー名	（テキスト入力）	（空欄）	

メニュー名	タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）		設定範囲	初期設定	備考
ネットワーク	メール	メール設定	パスワード	（テキスト入力）	（空欄）	
			送信元メールアドレス	（テキスト入力）	NWDR	
			送信先メールアドレス（通知先）	（テキスト入力）	（空欄）	
			送信先メールアドレス（障害）	チェック　有／無	有	
			送信先メールアドレス（アラーム）	チェック　有／無	有	
	独自アラーム	独自アラーム設定	ポート番号（本機→PC）	（ポート番号）	1818	
			リトライ回数	0、…、8	2	
			通知先アドレス（通知先）	（テキスト入力）	（空欄）	
	NTP/SNMP	NTP設定	NTP自動時刻合わせ	Off、On	Off	
			NTPサーバーアドレス	（テキスト入力）	（空欄）	
		SNMP設定	コミュニティー名	（テキスト入力）	（空欄）	
			機器名	（テキスト入力）	（空欄）	
			機器の物理的位置	（テキスト入力）	（空欄）	
			連絡先	（テキスト入力）	（空欄）	
ユーザー管理	基本	本体操作	オートログイン	Off、On	On	
			オートログインユーザー	（登録されているユーザー名から選択）	ADMIN	
			簡易ログイン	Off、On	Off	
			オートログアウト	Off、1分後、3分後、5分後、30分後	Off	
		ネットワーク操作	ユーザー認証	Off、On	On	
		ユーザーレベル設定	ライブ操作（表示カメラ切換）	チェック　有／無	マネージャー：（有、固定） オペレーター：（有、固定） ビューワー　：（有、固定） ログアウト時：有	
			カメラ制御	チェック　有／無	マネージャー：（有、固定） オペレーター：有 ビューワー　：無 ログアウト時：（無、固定）	
			サーチ・再生	チェック　有／無	マネージャー：（有、固定） オペレーター：有 ビューワー　：有 ログアウト時：（無、固定）	
			コピー	チェック　有／無	マネージャー：（有、固定） オペレーター：無 ビューワー　：無 ログアウト時：（無、固定）	
			アラーム復帰	チェック　有／無	マネージャー：（有、固定） オペレーター：有 ビューワー　：無 ログアウト時：（無、固定）	
			エラー復帰	チェック　有／無	マネージャー：（有、固定） オペレーター：有 ビューワー　：無 ログアウト時：（無、固定）	
			設定	チェック　有／無	マネージャー：（有、固定） オペレーター：無 ビューワー　：無 ログアウト時：（無、固定）	

設定項目一覧（設定メニュー）（つづき）

メニュー名	タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）		設定範囲	初期設定	備考
ユーザー管理	基本	ユーザーレベル設定	カメラ画像表示	チェック　有／無	マネージャー：（有、固定） オペレーター：有 ビューワー　：有 ログアウト時：有	
	ユーザー登録	新規ユーザー情報の登録	ユーザー名	（テキスト入力）	（空欄）	
			パスワード	（テキスト入力）	（空欄）	
			レベル	マネージャー、オペレーター、ビューワー	オペレーター	
			スタートモニター※	カメラ1、…、カメラ16、4分割画面A／B／C／D、9分割画面／16分割画面	4分割画面A	
		登録済みのユーザー情報の変更/削除	ユーザー名	（登録済みユーザー名から選択）	未設定	
			パスワード	（テキスト入力）	（空欄）	
			レベル	マネージャー、オペレーター、ビューワー	未設定	
			スタートモニター※	カメラ1、…、カメラ16、4分割画面A／B／C／D、9分割画面／16分割画面	（空欄）	
	管理者設定	管理者名		（テキスト入力）	ADMIN	
		パスワード		（テキスト入力）	12345	
		パスワード（確認）		（テキスト入力）	（空欄）	
		レベル		管理者	管理者	
		スタートモニター※		カメラ1、…、カメラ16、4分割画面A／B／C／D、9分割画面／16分割画面	4分割画面A	
メンテナンス	システム情報	ソフトウェアバージョン1		（表示のみ）	（表示のみ）	
		ソフトウェアバージョン2		（表示のみ）	（表示のみ）	
		ハードウェアバージョン		（表示のみ）	（表示のみ）	
		シリアル番号		（表示のみ）	（表示のみ）	
		ネットワークポート	MACアドレス	（表示のみ）	（表示のみ）	
			IPアドレス	（表示のみ）	（表示のみ）	
			通信速度	（表示のみ）	（表示のみ）	
		本体内部現在温度		（表示のみ）	（表示のみ）	
		最高温度記録		（表示のみ）	（表示のみ）	
	HDD情報	容量		（表示のみ）	（表示のみ）	
		稼働時間		（表示のみ）	（表示のみ）	
		ステータス		（表示のみ）	（表示のみ）	
		録画画像の日時範囲		（表示のみ）	（表示のみ）	
		推定上書き周期		（表示のみ）	（表示のみ）	
	システム管理	システム設定	障害ブザー鳴動	0秒、2秒、5秒、10秒、20秒、30秒、1分、Ext.	2秒	
			障害出力時間	0秒、2秒、5秒、10秒、20秒、30秒、1分、Ext.	2秒	
			ネットワークリンク外れ検出	Off、On	Off	
			HDD稼働時間警告	Off、10000時間、20000時間、30000時間、40000時間、50000時間	20000時間	
			データ自動消去	Off、1日、…、10日、14日、30日、45日、60日、90日、120日、150日、180日	Off	
		ログ情報	アクセスログ（日時、内容）	（表示のみ）	（表示のみ）	
			ネットワークログ（日時、内容）	（表示のみ）	（表示のみ）	

※スタートモニターの設定範囲はカメラのライセンス数によって変わります。4分割画面B、Cはライセンス数9以上、9分割画面はライセンス数9の場合、16分割画面はライセンス数12以上、4分割画面Dはライセンス数16の場合に選択できます。

メニュー名	タブ名称	設定項目（詳細設定画面も含む）		設定範囲	初期設定	備考
メンテナンス	システム管理	キー管理システム入力情報	機器ID番号	（なし）	（機器固有番号）	
			起動ID番号	（なし）	起動情報案内カードに記載	
			暗号ID番号	（なし）	起動情報案内カードに記載	
		ライセンス登録	本機－解除キー番号	（テキスト入力）	（空欄）	
		カメラ拡張	解除キー番号1	（空欄）	（なし）	
			解除キー番号2	（空欄）	（なし）	
			解除キー番号3	（空欄）	（なし）	
		販売店・連絡先情報		（テキスト入力）	（空欄）	
		保守・サービス用機能	設定の初期化	（なし）	（なし）	
			設定データの保存（SDカードへ）	（なし）	（なし）	
			設定データの読み込み（SDカードから）	（なし）	（なし）	
			顔照合データの保存（SDカードへ）	（なし）	（なし）	
			顔照合データの読み込み（SDカードから）	（なし）	（なし）	
			ソフトウェアの更新	（なし）	（なし）	
			その他の機能	（なし）	（なし）	
HDD管理	全般	HDD情報	容量	（表示のみ）	（表示のみ）	
			稼働時間	（表示のみ）	（表示のみ）	
			ステータス	（表示のみ）	（表示のみ）	
			録画画像の日時範囲	（表示のみ）	（表示のみ）	
		HDDフォーマット	HDD情報（容量）	（表示のみ）	（表示のみ）	
			HDD情報（稼働時間）	（表示のみ）	（表示のみ）	
			HDD情報（ステータス）	（表示のみ）	（表示のみ）	
			HDD情報（フォーマット）	チェック　有／無	無	
			HDD情報（結果）	（表示のみ）	（表示のみ）	
		HDD取り外し	HDD情報（容量）	（表示のみ）	（表示のみ）	
			HDD情報（稼働時間）	（表示のみ）	（表示のみ）	
			HDD情報（ステータス）	（表示のみ）	（表示のみ）	
			HDD情報（取り外し）	チェック　有／無	無	
			HDD情報（結果）	（表示のみ）	（表示のみ）	
		HDD組み込み	HDD情報（容量）	（表示のみ）	（表示のみ）	
			HDD情報（稼働時間）	（表示のみ）	（表示のみ）	
			HDD情報（ステータス）	（表示のみ）	（表示のみ）	
			HDD情報（組み込み）	チェック　有／無	有	
			HDD情報（結果）	（表示のみ）	（表示のみ）	

エラー履歴・ネットワークログについて

エラー履歴について

ここでは、メインモニターの状態表示パネルの表示と、障害発生の履歴（エラー履歴）の表示およびその内容について説明します。
エラー履歴の表示は、障害履歴（メインモニター）とエラーログ（ウェブブラウザー）で共通です。
●「x」はHDDの番号を表します。
●「f」はFANの番号を示します。
●「cc」はカメラ番号を示します。

エラーの内容	状態表示パネル表示	障害履歴／エラーログ	後面端子出力
温度異常警告	温度異常	温度異常	機器異常
FAN警告	ファン異常：Fanf	ファン異常：Fanf	機器異常
NWカメラ障害検出	通信エラー：カメラcc	通信エラー：カメラcc	カメラ異常
NWカメラ障害復旧	−	通信復旧：カメラcc	−
NWカメラ障害検出（音声）	音声通信エラー：カメラcc	音声通信エラー：カメラcc	カメラ異常
NWカメラ障害復旧（音声）	−	音声通信復旧：カメラcc	−
Video ロス（エンコーダーのカメラ接続断の通知）	ビデオロス：カメラcc	ビデオロス：カメラcc	カメラ異常
Video ロス復旧 （エンコーダーのカメラ接続断の復旧通知）	−	ビデオ復旧 :カメラcc	−
録画異常検出	録画異常	録画異常	録画異常
SMART警告	SMART警告：HDDx	SMART警告：HDDx	HDD異常
HDDアワーメーター警告	HDD稼働時間警告：HDDx	HDD稼働時間警告：HDDx	HDD異常
HDDスキップ※1	−	HDD書き込み先変更：HDDx	−
HDDライトエラー	−	書き込みエラー：HDDx	−
HDDリードエラー	−	読み込みエラー：HDDx	−
改ざん検出	改ざん検出：カメラcc	改ざん検出：カメラcc	機器異常
HDD自動リンク外し（HDD単位）	HDD故障：HDDx	HDD故障：HDDx	HDD異常
HDDフォーマット失敗	フォーマット失敗：HDDx	フォーマット失敗：HDDx	HDD異常
HDD取出エラー （正常認識HDDを正常操作なしで取り外し）	HDD取り外し警告：HDDx	HDD取り外し警告：HDDx	HDD異常
再起動（CPU関連）	−	システム再起動（CPU）	−
再起動（DEC関連）	−	システム再起動（DEC）	−
再起動（NW障害関連）	−	システム再起動（ネットワーク）	−
コピーメディアライトエラー	コピー失敗	書き込みエラー：SDカード 書き込みエラー：DVD※2	−
コピーメディアリードエラー	−	読み込みエラー：SDカード 読み込みエラー：DVD※2	−
コピーメディアフル	−	残容量無し：SDカード 残容量無し：DVD※2	−
NWリンク外れエラー	ネットワークリンクエラー	-	NW異常
通信速度警告（Auto設定時にHalfになったとき）	NW通信速度警告	NW通信速度警告	−
NTPサーバーとの時差が1000秒以上のため時刻を合わせなかったとき	NTP日時調整失敗	NTP日時調整失敗	−
DNSから独自通知先解決できず	−	独自アラーム アドレス解決エラー	NW異常
独自通知先応答なし	−	独自アラーム 応答なし	NW異常
独自通知先その他のエラー	−	独自アラーム その他のエラー	NW異常

※1　HDDスキップとは、HDDへの書き込みエラーなどが発生したときに、別のHDDに録画を継続する機能です。
※2　DVDに関する履歴は、DVDドライブ搭載モデルのみ

ネットワークログについて

ここでは設定画面の［メンテナンス］－［システム管理］－［ネットワークログ］と、本機に接続したPCのウェブブラウザーに表示される本機のネットワークに関する履歴表示とその内容について説明します。
表示内容はウェブブラウザーと共通です。

エラーの内容	ネットワークログ	後面端子出力
NWリンク外れエラー	NETWORK LINK ERROR	NW異常
電子メール送信	<SMTP>MAIL_SEND	―
SMTP認証エラー	<SMTP>SMTP_ATTEST_ERR	NW異常
POP3認証エラー	<SMTP>POP3_ATTEST_ERR	NW異常
DNSからPOP3サーバーアドレス解決できず	<SMTP>POP3_ADD_ERR	NW異常
POP3サーバー見つからず	<SMTP>POP3_SVR_ERR	NW異常
DNSからSMTPサーバーアドレス解決できず	<SMTP>SMTP_ADD_ERR	NW異常
SMTPサーバー見つからず	<SMTP>SMTP_SVR_ERR	NW異常
MAIL FROMコマンドエラー	<SMTP>MAIL_FROM_ERR	NW異常
RCPT TOコマンドエラー	<SMTP>RCPT_TO_ERR	NW異常
SMTPサーバーその他のエラー	<SMTP>OTHER_ERR	NW異常
FTPサーバー転送成功	<FTP>SVR_FWD_OK	―
FTPその他エラー	<FTP>OTHER_ERR	NW異常
NTPサーバーの時刻への同期成功	<NTP>GET_TIME_OK	―
DNSからNTPサーバーアドレス解決できず	<NTP>SVR_ADD_ERR	NW異常
NTP取得時刻異常（時計が同期していない）	<NTP>TIME_INVALID	NW異常
時刻設定失敗	<NTP>SET_TIME_ERR	NW異常
NTPサーバー見つからず	<NTP>SVR_ERR	NW異常
NTPその他のエラー	<NTP>OTHER_ERR	NW異常
SNMPユーザー名パスワードエラー	<SNMP>USER_PASS_ERR	NW異常
SNMPオブジェクト取得失敗	<SNMP>OBJ_ERR	NW異常
SNMPその他のエラー	<SNMP>OTHER_ERR	NW異常
HTTP ユーザー名パスワードエラー	<HTTP>USER_PASS_ERR	NW異常
HTTP ダウンロード失敗	<HTTP>DOWNLOAD_ERR	NW異常
HTTP 要求無効	<HTTP>REQUEST_ERR	NW異常
HTTP その他のエラー	<HTTP>OTHER_ERR	NW異常

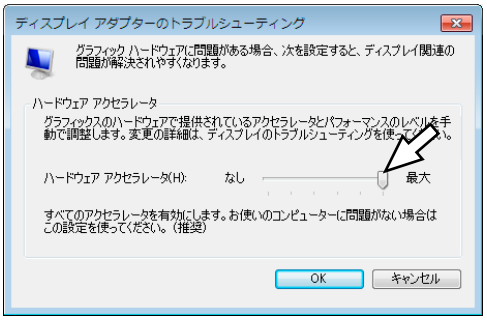
故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で現象を確かめてください。

これらの対策をしても直らないときやわからないとき、この表以外の現象が起きたときまたは工事に関係する内容のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

現　象	原 因 ・ 対 策	参照ページ
電源が入らない	●電源プラグがACコンセントに確実に接続されていますか? 接続されているか、確認してください。	–
	●付属の電源コードが、本機に確実に差し込まれていますか? 差し込まれているか、確認してください。	22
エラーランプが橙色点滅する 温度異常ですぐに停止してしまう	●ファンの故障で停止しています。 お買い上げの販売店に連絡してください。	20
	●本機の通風口、放熱ファンをふさいでいないか確認してください。	18
	●機器内部の温度が異常（低温／高温）です。 適切な温度環境下に設置してください。	16
	●エラーランプが橙色点滅する場合は、内部の温度上昇が原因の可能性があります。 通風口にほこりがたまっていないか確認してください。	20
モニターにカメラ画像が表示されない	●カメラのレンズキャップは外しましたか？ レンズキャップが外れているか、確認してください。	–
	●カメラや接続機器の電源は入っていますか？ 電源が入っているか、確認してください。	–
	●ケーブルは正しく接続されていますか？ 正しく接続されているか、確認してください。	26、27
	●モニターの輝度調整、コントラスト調整は正しくされていますか？ 設定を確認してください。	–
	●ログインしているユーザーはカメラ画像を表示できるユーザーレベルになっていますか？ ログインしているユーザーのユーザーレベル設定を確認してください。	72
画面が欠けて表示される	●モニターの表示／領域のばらつきによるもので、故障ではありません。	–
画像がぼやける	●カメラのレンズにゴミやほこりが付着していませんか? カメラのレンズを確認してください。	–
メニューを開けない	●ログインしているユーザーは設定メニューを表示できるユーザーレベルになっていますか? ログインしているユーザーのユーザーレベル設定を確認してください。	72
	●スポット出力端子を使用していませんか？ スポット出力端子に設定メニューは表示できません。	22
録画できない	●録画動作がONに設定されていますか？ 設定を確認してください。	62
	●スケジュールは正しく設定されていますか？ 設定を確認してください。	52
モニターに表示されるカメラの画像、文字がぶれて見える	●映している被写体や接続しているHDMIモニターによっては、画像、文字がぶれて見えることがありますが、機器仕様によるもので故障ではありません。	–
再生できない	●画像が録画されていますか？ HDD内に録画された画像があるか確認してください。	83
	●ログインしているユーザーは再生できるユーザーレベルに設定されていますか？ ログインしているユーザーのユーザーレベル設定を確認してください。	72
	●ログインしているユーザーはカメラ画像を表示できるユーザーレベルになっていますか？ ログインしているユーザーのユーザーレベル設定を確認してください。	72

現　象	原　因　・　対　策	参照ページ
カメラの音声が出力しない または音声にノイズがのる	●カメラの音声圧縮方式は「G.726（32kbps)」に設定されていますか？ 本機は「G.726（32kbps)」のみに対応しています。接続しているカメラの設定を確認してください。	–
カメラを制御できない	●設定メニュー［基本設定］の［カメラ］－［カメラ登録］で表示されているカメラ品番とIPアドレスが正しいか確認してください。	45
	●設定メニュー［基本設定］の［カメラ］－［カメラ登録］でユーザー名、パスワードが入力してあることを確認してください。	46
アラーム動作しない	●後面にあるアラーム／コントロール端子に正しく信号が入力されていますか？	29
	●アラーム端子は正しく設定されていますか？	29
	●動作モードが「Off」あるいは「録画のみ」に設定されていませんか？ 設定を確認してください。	57
メインモニターの画面上に 「通信エラー：cc」が表示される	●カメラは正しく接続されていますか？ カメラの接続を確認してください。	26
	●接続に問題がない場合は、ケーブルの断線またはカメラの故障が考えられますので、販売店にご相談ください。	–
メインモニターの画面上に 「温度異常」が表示される	●使用温度範囲は+5 ℃～+45 ℃です。本機の周囲温度が+45 ℃を超えたことを目安に「温度異常」が表示されます。「温度異常」が表示される場合は、HDD保護のために設置環境を見直し、周囲温度を+25 ℃程度とするようお勧めします。「温度異常」が頻繁に表示される場合は、販売店にご相談ください。	16
時刻がずれる	●内蔵バックアップ電池は充電されていますか？ 48時間以上の連続通電を行い、内蔵のバックアップ電池を充電してください。	16
	●内蔵バックアップ電池が消耗していませんか？ 内蔵バックアップ電池の寿命は約5年です（寿命は使用条件によって短くなることがあります)。	16
HDDランプが赤色に点灯／点滅している	●HDDが故障しています。お買い上げの販売店に連絡してください。	20
SDカードにコピーできない SDカードから検索・再生できない	●SDカードは推奨品を使用していますか？ ●SDカードによっては使用できない場合があります。推奨品を使用してください。 ●SDカードはフォーマットされていますか？ ●SDカードに正しくコピーできていますか？	97
ウェブブラウザーで表示されないポップアップ表示がある	●Internet Explorer 以外のポップアップブロッカーがはたらいている可能性があります。インストール状況を確認し、ポップアップブロッカーを解除してください。	–
ウェブブラウザーからアクセスできない	●ネットワークポートに10BASE-T、100BASE-TXまたは1000BASE-Tケーブルが接続されていますか？ 接続されているか、確認してください。	22
	●ネットワークポートのリンクランプ（橙色）が点灯していますか？点灯していない場合は、LANに接続されていないか、接続先のネットワークが正常に動作していません。 リンクランプが点灯していることを確認してください。点灯していない場合はシステムの管理者にご確認ください。	22
	●有効なIPアドレスが設定されていますか？ システムの管理者にご確認ください。	66
	●間違ったIPアドレスにアクセスしていませんか？ 次の方法で接続を確認してください。 ＞ ping “本機のIPアドレス” を実行し、本機からReplyが返ってくれば、正常に動作しています。Replyが返ってこない場合は、IP アドレス、サブネットマスクの設定を確認してください。	66
	●設定したIPアドレスが他の機器と重複していませんか？ システムの管理者にご確認ください。	66

現　象	原　因　・　対　策	参照ページ
ウェブブラウザーからアクセスできない	●設定したIPアドレスと設置先のネットワーク／サブネットマスクが矛盾していませんか？ 同一サブネット内に本機とクライアント（PC）が接続されている場合、本機とクライアント（PC）のIPアドレスは共通のサブネットに設定されていますか？また、ウェブブラウザーで「プロキシサーバーを使う」設定になっていませんか？同一サブネット内の本機にアクセスする場合は、本機のアドレスを「プロキシから外す」設定にすることをお勧めします。	66
ウェブブラウザー上でカメラ 画像を多画面表示したときに、1 つの画像表示エリアに複数のカメラ画像が切り換わり表示される	●PCのディスプレイアダプターならびにドライバーとの組み合わせにより、発生する場合があります。本現象が発生した場合は、最初にディスプレイアダプターのドライバーを最新バージョンに更新してください。 ・本対策でも解決しない場合は、以下の手順でハードウェアアクセラレータの機能を調節してください。ここでは、Windows 7 を例に説明します。 1. すべてのウェブブラウザーを閉じてからデスクトップ上でマウスを右クリックし、メニューから［画面の解像度］を選択します。 2. 画面の解像度画面で［詳細設定］をクリックします。 3. ［トラブルシューティング］タブを選択し、［設定の変更］ボタンをクリックします。 4. ディスプレイアダプターのトラブルシューティング画面で［ハードウェアアクセラレータ］のパフォーマンスレベルを調節し、DirectDrawのアクセラレータを無効にしてください。 	–

電源コード・コネクター・電源プラグは、ときどき点検してください。

現　象	原　因　・　対　策	参照ページ
電源コードの被ふくが傷んでいる **使用中、電源コード・コネクター・電源プラグの一部が熱い** **使用中、電源コードを曲げたり伸ばしたりすると、温かくなったり、ぬるくなったりする**	●電源コード・コネクター・電源プラグが傷んでいます。 そのままの状態で使い続けると、感電や火災の原因になります。 直ちに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。	–

仕様

● 基本仕様

電源	AC100 V 50 Hz/60 Hz
消費電力	45 W
使用温度範囲	本体　　：+5 ℃～+45 ℃ マウス（付属品）：+5 ℃～+40 ℃
使用湿度範囲	DG-NV200/1L　5 %～ 90 %（結露なきこと） DG-NV200V1M　10 %～ 80 %（結露なきこと） DG-NV200/2M　5 %～ 90 %（結露なきこと）
動作時許容高度	2000 m以下
寸法（ゴム足、突起部含まず）	幅　420 mm　高さ　88 mm　奥行き　300 mm
質量	DG-NV200/1L　約5.4 kg DG-NV200V1M　約5.6 kg DG-NV200/2M　約6.4 kg
仕上げ	前面パネル　ソリッドメタリック塗装 上カバー　ソリッドメタリック塗装 後面パネル　亜鉛メッキ処理

● HDD ／ DVD（DVDはDG-NV200V1Mのみ）

HDD ／ DVD	DG-NV200/1L　HDD（500 GB）×1 DG-NV200V1M　HDD（1TB）×1　DVDドライブ×1 DG-NV200/2M　HDD（1TB）×2
DVD対応ディスク	DVD-R、+R （未対応ディスク：DVD-R DL、+R DL、DVD-R for Authoring、8 cm ディスク）

●入出力

映像	スポット映像出力端子	1 V［p-p］/ 75 Ω、1系統（BNC）
	モニター（HDMI）端子	HDMI、1系統
音声	音声出力端子	−10 dBv　10 kΩ、不平衡、1系統（RCAピン）
その他	マウス接続ポート	1系統
	アラーム／ コントロール端子	1 ～ 9chアラーム入力※1、ネットワーク異常出力※2、アラーム復帰入力※1、顔照合出力※2、HDD異常出力※2、カメラ異常出力※2、機器異常出力※2、録画異常出力※2、時刻合わせ入力※1、アラーム出力※2、＋5 V出力※3、（D-sub25ピン）
	ネットワークポート	10BASE-T ／ 100BASE-TX ／ 1000BASE-T （RJ-45）、1系統
	SDHC ／ SD カードスロット	SDHC ／ SDメモリーカード対応 （miniSDカード、microSDカードには未対応）

※1　無停電メーク接点入力　50 kΩ、5 Vプルアップ
※2　オープンコレクタ出力　DV24 V−100 mA以内
※3　最大200 mA

●別売品

カメラ拡張キット	DG-NVE20
推奨SDHC ／ SDメモリーカード	パナソニック株式会社製 SDHCメモリーカード　：4 GB、8 GB、16 GB、32 GB SDメモリーカード　：256 MB、512 MB、1 GB、2 GB

保証とアフターサービス よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品の保有期間 7年

当社は、本製品の補修用性能部品を、製造打ち切り後 7 年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

94 ～ 96ページの表に従ってご確認のあと、なお異常のあるときは、ただちに販売店または保守契約店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定にしたがって、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	ネットワークディスクレコーダー
品　番	DG-NV200/1L、DG-NV200V1M、DG-NV200/2M
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客さまのご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。

本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障したり、事故につながることもあります。
下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。
特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。
詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？		直ちに使用を中止してください
● 煙が出たり、こげくさいにおいや異常な音がする。 ● 電源コード・電源プラグ・ACアダプターが異常に熱い。または割れやキズがある。 ● 製品に触るとビリビリと電気を感じる。 ● 電源を入れても、映像や音が出てこない。 ● その他の異常・故障がある。	▶	故障や事故防止のため、**電源を切り、**必ず販売店または施工業者に**点検**や**撤去**を依頼してください。

Panasonic

ネットワークディスクレコーダー　DG-NV200/1L、DG-NV200V1M、DG-NV200/2M　取扱説明書

本製品は、外国為替及び外国貿易法に定める規制対象貨物（または技術）に該当します。本製品を日本国外へ輸出する（技術の提供を含む）場合は、同法に基づく輸出許可など必要な手続きをおとりください。

■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック　システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル **0120-878-410**（パナハヨイワ）　**受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）**

ホームページからのお問い合わせは　https://sec.panasonic.biz/solution/info/

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱い】

パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報をパナソニック製品に関するご相談対応や修理サービスなどに利用させていただきます。併せて、お問い合わせ内容を正確に把握するため、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいておりますので、ご了承願います。当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

便利メモ	お買い上げ日	年　月　日	品　番	DG-NV200/1L, DG-NV200V1M, DG-NV200/2M
おぼえのため記入されると便利です	販売店名	電話（　）　－		

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687　東京都目黒区下目黒二丁目3番8号

© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2010

3TR006575BZA
Ns0710-1090
Printed in China